

# SonicWall<sup>®</sup> Secure Mobile Access 9.0

ユーザガイド

SMA 200/400

SRA 1600/4600

SMA 500v Virtual  
Appliance

SONICWALL<sup>®</sup>

# 目次

## 第1部 はじめに

このガイドについて .....	6
このガイドの構成 .....	6
表記上の規約 .....	7
<b>仮想オフィスとは .....</b>	<b>8</b>
仮想オフィスについて .....	8
仮想オフィス リソースへのアクセス .....	8
ブラウザの要件 .....	9
証明書について .....	11
仮想オフィスのウェブ インターフェースについて .....	12
仮想オフィスからログアウトする .....	15

## 第2部 セキュア リモート アクセス機能の使用

<b>Secure Mobile Access Connect Agent の使用 .....</b>	<b>17</b>
Secure Mobile Access Connect Agent とは .....	17
サポートされるオペレーティング システム .....	17
ダウンロードとインストール .....	18
SMA Connect Agent の設定 .....	19
<b>仮想オフィス認証の使用 .....</b>	<b>22</b>
証明書のインポート .....	22
二段階認証の使用 .....	23
ユーザの前提条件 .....	23
RSA 二段階ユーザ認証プロセス .....	23
VASCO 二段階ユーザ認証プロセス .....	25
ワンタイム パスワードの使用 .....	26
ユーザの前提条件 .....	27
電子メールのワンタイム パスワードでログインする .....	27
モバイル アプリの時刻ベースのワンタイム パスワードでログインする .....	28
電子メールのワンタイム パスワード設定を構成する .....	28
モバイル アプリのワンタイム パスワード設定を構成する .....	29
SMS 対応電話でのワンタイム パスワードの設定 .....	31
ユーザのワンタイム パスワード設定の確認 .....	31
<b>NetExtender の使用 .....</b>	<b>33</b>
ユーザの前提条件 .....	33
Mobile Connect の使用 .....	34
ユーザ設定タスク .....	35

Mozilla Firefox ブラウザによる NetExtender のインストール	36
インターネットエクスプローラブラウザによる NetExtender のインストール	38
Chrome ブラウザを使用した NetExtender のインストール	41
NetExtender をコンピュータから直接起動する	43
Microsoft インストーラによる NetExtender インストール時の サーバおよびドメイン フィールドの事前設定	44
NetExtender プロパティの設定	46
NetExtender の接続スクリプトの設定	48
バッチ ファイル コマンドの設定	49
プロキシの設定	50
NetExtender ログのプロパティの設定	51
NetExtender の詳細プロパティの設定	51
NetExtender 高速化プロパティの設定	52
NetExtender パケット キャプチャのプロパティの設定	53
言語プロパティの設定	53
NetExtender ログの表示	54
NetExtender の切断	55
NetExtender のアップグレード	56
パスワードの変更	56
認証方式	56
NetExtender のアンインストール	57
システムトレイで NetExtender の動作を確認する	57
NetExtender コマンド ライン インターフェースの使用	58
Linux での NetExtender のインストール	60
Linux での NetExtender の使用	62
<b>セキュア仮想アシストと仮想ミーティングの使用</b>	<b>66</b>
セキュア仮想アシストの使用	66
セキュア仮想アシストのインストールと開始	67
セキュア仮想アシストの設定の構成	68
セキュア仮想アシスト モードの選択	72
セキュア仮想アシストの技術者セッションの開始	73
セキュア仮想アシストの技術者タスクの実行	75
顧客側からのセキュア仮想アシスト セッションの開始	82
セキュア仮想アシストの使用	89
セキュア仮想アシストの不在モードでの使用	90
仮想アクセス モードの使用	91
セキュア仮想アクセス用のシステムの有効化	92
アシストの要求機能の使用	96
セキュア仮想ミーティングの使用	96
役割の概要	97
責任者の役割	98
参加者の役割	117

ファイル共有の使用 .....	119
ファイル共有アプレットの使用 .....	119
ユーザの前提条件 .....	119
設定の概要 .....	120
HTML ベースのファイル共有の使用 .....	121
<b>ブックマークの管理 .....</b>	<b>124</b>
ブックマークの追加 .....	124
RDP ブックマーク .....	127
VNC ブックマーク .....	133
Citrix ブックマーク .....	135
ウェブ ブックマーク .....	137
Mobile Connect ブックマーク .....	138
FTP ブックマーク .....	138
SSHv2 ブックマーク .....	138
ブックマークの編集 .....	139
ブックマークの削除 .....	139
ブックマークの使用 .....	139
リモート デスクトップ ブックマークの使用 .....	140
VNC ブックマークの使用 .....	142
Citrix ブックマークの使用 .....	144
ウェブ ブックマークの使用 .....	145
Mobile Connect ブックマークの使用 .....	145
ファイル共有ブックマークの使用 .....	146
FTP ブックマークの使用 .....	147
Telnet ブックマークの使用 .....	149
SSHv2 ブックマークの使用 .....	149
グローバル ブックマークのシングルサインオン オプション .....	151
ブックマークごとのシングルサインオン オプション .....	152

### 第3部 付録

保証およびライセンス管理 .....	155
GNU General Public License (GPL) のソースコード .....	155
ハードウェア限定保証 .....	155
エンド ユーザー ライセンス契約 .....	156
<b>SonicWall サポート .....</b>	<b>162</b>
このドキュメントについて .....	163

## はじめに

- このガイドについて
- 仮想オフィスとは

# このガイドについて

SonicWall® Secure Mobile Access (SMA) 9.0 ユーザガイドによろこそ。本ガイドでは、仮想オフィスと呼ばれる Secure Mobile Access ユーザポータルを使用して、ブックマークを作成したり SMA/SRA 装置を介してサービスを実行したりする方法を説明します。

すべての SonicWall 製品ドキュメントの最新版については、SonicWall ドキュメント ウェブサイト (<https://www.sonicwall.com/support/technical-documentation>) を参照してください。

① **メモ**：本書には、一部の国や地域ではリリースされていないプラットフォーム/バージョンに関する記述が含まれている場合があります。

## このガイドの構成

『SonicWall Secure Mobile Access ユーザガイド』は、以下の章で構成されています。

### 第1章 このガイドについて

ここでは、本ガイドを使用する上で役に立つ情報を提供します。表記上の規約、最新版ドキュメントの入手方法、SMA/SRA 装置を使う前に完成させるべきクイックアクセスワークシートを含みます。

### 第2章 仮想オフィスとは

ここでは、SMA/SRA 装置のユーザ機能、NetExtender、ファイル共有、セキュア仮想アシスト、セキュア仮想アクセス、セキュア仮想ミーティング、サービス、セッション、ブックマーク、サービストレイメニューオプションについて説明します。

### 第3章 Secure Mobile Access Connect Agent の使用

この章では、SMA Connect Agent をダウンロードする/インストールする/構成する手順を示します。EPC (エンドポイント制御)、PDA (個人機器認証)、サポート対象の SonicWall アプリケーションについて概要を説明します。

### 第4章 仮想オフィス認証の使用

この章では、SonicWall Secure Mobile Access (SMA) 仮想オフィスポータルの認証機能の使用方法について詳細に説明します。証明書のインポート、二段階認証の使用、ワンタイムパスワードの使用方法を説明します。

### 第5章 NetExtender の使用

この章では、NetExtender のインストール、構成、使用方法について説明します。

## 第6章 セキュア仮想アシストと仮想ミーティングの使用

この章では、セキュア仮想アシストとセキュア仮想ミーティングのインストールと使用方法について説明します。

## 第7章 ファイル共有の使用

この章では、ファイル共有の使用方法について説明します。

## 第8章 ブックマークの管理

この章では、ブックマークの設定方法について説明します。

## 付録 A 保証およびライセンス管理

この付録には、制限付きハードウェア保証、エンド ユーザ ライセンス契約、SonicWall サポート 連絡先情報が記載されています。

# 表記上の規約

このガイドの表記上の規約は以下のとおりです。

### 表記上の規約

表記	説明
太字	ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面の名前を強調表示します。ボタンも強調表示します。また、ファイル名やインターフェースに入力するテキストや値にも使用されます。
斜体	技術マニュアルの名前を示します。センテンス内の特定の単語を強調する場合にも使用されます。重要な用語または概念が初めて登場する場合に使用されることもあります。

# 仮想オフィスとは

このセクションでは、SonicWall Secure Mobile Access (SMA) ユーザ ポータル、すなわち仮想オフィスの概要について説明します。また、サポートするブラウザと関連要件についての情報も記載しています。

## トピック:

- [仮想オフィスについて \(8 ページ\)](#)
- [ブラウザの要件 \(9 ページ\)](#)
- [証明書について \(11 ページ\)](#)
- [仮想オフィスのウェブ インターフェースについて \(12 ページ\)](#)
- [仮想オフィスからログアウトする \(15 ページ\)](#)

## 仮想オフィスについて

Secure Mobile Access 仮想オフィスは、ネットワーク リソース (たとえば、アプリケーションやファイル、イントラネット ウェブ サイト、あるいは OWA (Microsoft Outlook Web Access) などのウェブ アクセス インターフェースによる電子メールなど) への保護されたリモート アクセスを提供します。これらのセッションで使用される基底のプロトコルは SSL です。

Secure Mobile Access によって、モバイル作業員、在宅勤務者、パートナー、顧客はイントラネット上もしくはエクストラネット上の情報やアプリケーションにアクセスできるようになります。ユーザにどの情報へのアクセスを許可するかは、Secure Mobile Access 管理者が設定するアクセス ポリシーによって決定されます。

## 仮想オフィス リソースへのアクセス

リモート ネットワーク リソースにアクセスするには次の方法があります。

- **標準ウェブブラウザを使う** - ネットワーク リソースにアクセスするには、Secure Mobile Access ポータルにログインする必要があります。認証後、イントラネットの HTTP および HTTPS サイト、オフロードされたポータル、ウェブベースのアプリケーション、ウェブベースの電子メールにアクセスすることができます。また、FTP または Windows ネットワーク ファイル共有を使用してファイルをアップロードしたりダウンロードしたりすることもできます。すべてのアクセスは標準ウェブ ブラウザを介して行われ、リモート ユーザのコンピュータにクライアント アプリケーションをダウンロードする必要はありません。
- **NetExtender Secure Mobile Access クライアントを使用する** - SonicWall Secure Mobile Access ネットワーク拡張クライアントである NetExtender は、Secure Mobile Access 仮想オフィス ポータルで、ActiveX コントロールを介して、または Windows、Linux、および Mac OS X プラットフォーム用のスタンドアロン アプリケーションを介して利用可能です。SMA/SRA クライアントを使



用して接続するには、ポータルにログインし、インストーラ アプリケーションをダウンロードし、NetExtender コネクタを起動して SSL VPN トンネルを確立します。[仮想オフィスのウェブ インターフェースについて \(12 ページ\)](#) .SSL VPN トンネルのセットアップ後は、ローカル ネットワーク上にいる感覚でネットワーク リソースにアクセスすることができます。

仮想オフィス ポータル内の NetExtender リンクを最初に選択した際に、クライアント システム上に NetExtender スタンドアロン アプリケーションが自動的にインストールされます。このスタンドアロン クライアントはユーザのコンピュータから直接起動することができ、起動の前に Secure Mobile Access ポータルにログインする必要はありません。

- **SonicWall Mobile Connect アプリケーションを使用する** - SonicWall Mobile Connect は iOS、Android、Mac OS X、Windows Phone、Windows 10、および ChromeOS 用アプリで、NetExtender と同様に SSL VPN を用いて SonicWall セキュリティ装置によって保護されたプライベート ネットワークへの安全なモバイル接続を可能にします。SonicWall Mobile Connect のインストールと使用方法については、以下のページで提供されている『*SonicWall Mobile Connect ユーザガイド*』を参照してください。<https://www.sonicwall.com/support/technical-documentation>

このガイドに説明されているように、保護されたリモート アクセスを動作させるためには、ご利用のモデルの導入ガイドに示されている手順に従って、SonicWall SMA/SRA セキュリティ装置をインストールして設定する必要があります。

❶ **メモ**：管理者によって修復が有効化されている場合は、リモート ネットワーク リソースにアクセスしようとする時、"地域 IP とポットネット フィルタによってアクセスが拒否されました" という警告メッセージが表示されます。CAPTCHA 画像と入力フィールドを表示するブラウザウィンドウが自動的に開きます。ログインするためには、指定された制限時間内に修復を完了する必要があります。詳細については、『*SonicWall Secure Mobile Access 管理ガイド*』を参照してください。

## ブラウザの要件

[クライアント オペレーティング システムごとのブラウザのバージョン](#) 表に、さまざまなクライアント オペレーティング システム上でサポートされているブラウザの情報を示します。

























































































### クライアント オペレーティング システムごとのブラウザのバージョン

ブラウザ	オペレーティング システム	
Internet Explorer 11	Windows 7	
Internet Explorer 10	Windows 10	
Internet Explorer 11	Windows 10	
Mozilla Firefox (最新バージョン)	Windows Vista	Windows 10
	Windows 7	Linux
	Windows 10	Mac OS X
Google Chrome (最新バージョン)	Windows Vista	Windows 10
	Windows 7	Linux
	Windows 10	Mac OS X
Apple Safari (最新バージョン)	Mac OS X	

管理者向けの管理インターフェース ブラウザの互換性については、『*SonicWall Secure Mobile Access 管理ガイド*』を参照してください。















次の仮想オフィスの機能に対するブラウザのサポート表に、仮想オフィスの個別の機能に対するブラウザ要件を示します。

### 仮想オフィスの機能に対するブラウザのサポート

アプリケーション プロキシ	Windows 7	Windows 10	Linux	Mac OS X
機能とブラウザ要件				
NetExtender	  	  	ブラウザ非 依存	
RDP5	  	  	 	 
VNC	  	  	 	  
Telnet	  	  		  
SSHv2	  	  		  
HTTP、HTTPS、FTP (ブラウザ)	  	  	 	  
ファイル共有 (ブラウザ)	  	  	 	  
ファイル共有	  	  	 	 
Citrix	  	  		 

## 仮想オフィスの機能に対するブラウザのサポート (続き)

### アプリケーション プロキシ

	Windows 7	Windows 10	Linux	Mac OS X
<b>機能とブラウザ要件</b>				
仮想アシスト	  	  	ブラウザ非 依存	ブラウザ 非依存
HTML5 (Internet Explorer 11 以降)	  	  		 

仮想アシストは、Windows プラットフォーム上でフル サポートされています。仮想アシストは、Windows 7、および Windows Vista での動作が検証されています。Mac OS 上ではサポートされる機能に制限があり、顧客はウェブ要求を通してアシストを要求できます。

- ① **メモ** : Internet Explorer で HTML5 クライアントを使用する場合は、IE11 以降を使用する必要があります。それ以前のバージョンの Internet Explorer は、HTML5 をサポートしていません。  
**メモ** : Internet Explorer では、ブラウザの制限のためにサポートされていない HTML5 機能もあります (オーディオリダイレクションなど)。
- ① **メモ** : Firefox または Chrome ブラウザでは、NPAPI サポートがなくなったため、プラグインがサポートされない場合があります。NetExtender、仮想アシストなどのクライアントを起動するには、ファイルを手動でダウンロードして開きます。

## 証明書について

SMA/SRA 装置が自己署名 SSL 証明書を HTTPS 認証で使用している場合は、NetExtender 接続を確立する前に証明書をインストールすることをお勧めします。証明書が自己署名証明書か信頼済みルート認証局証明書か不確かな場合、SonicWall としては証明書をインポートすることをお勧めします。証明書をインポートする最も簡単な方法は、「システム > 証明書」ページで「証明書のインポート」を選択することです。

証明書が許可された組織によって発行されていない場合は、ユーザに危険を通知するメッセージが表示されます。ユーザは詳細情報を確認してから接続の継続か終了を選択できます。

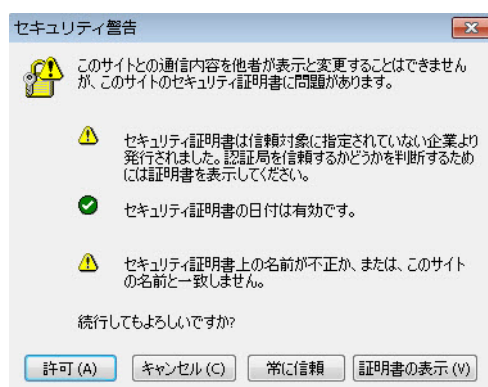
Windows のログイン画面からネットワーク ログオン方式を使用している場合、NetExtender では証明書ベースの認証にシステム ストアを使用します。ユーザが既に Windows にログインしている場合、NetExtender では証明書ベースの認証にユーザ ストアを使用します。ネットワーク ログオン方式を使用するユーザは、証明書の認証も有効になっている場合、自分のユーザ証明書をユーザ ストアだけでなくシステム ストアにもインポートする必要があります。

# 仮想オフィスのウェブ インターフェースについて

仮想オフィス ポータルには、ネットワーク管理者から提供された URL でアクセスできます。

## 仮想オフィスにログインするには:

- 1 リモートに位置するワークステーションから、承認されたブラウザを起動し、仮想オフィスポータルの IP アドレスを「場所」または「アドレス」フィールドに入力します。既定では、これは SMA/SRA 装置の既定の LAN IP アドレス (<https://192.168.200.1>) です。
- 2 セキュリティの警告が表示されます。「許可」を選択して続行します。



- 3 SonicWall Secure Mobile Access のログイン ページが表示され、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。既定の管理者の資格情報を使用してログインするには、「ユーザ名」フィールドに **admin** と入力し、「パスワード」フィールドに **password** と入力し、「ドメイン」ドロップダウン リストからドメインを選択して、「ログイン」をクリックします。「LocalDomain」のみが管理者権限を受け入れます。

① **メモ** : 管理者が既に、ユーザ権限しかない別のログインとパスワードを設定している可能性があります。



表示された既定のページが仮想オフィスのホームページです。既定のページは SonicWall のロゴを表示しますが、自社のロゴやイメージに合った外観を表示するように、既にシステム管理者がこのページをカスタマイズしているかもしれません。仮想オフィスのホームページについて詳しくは、[仮想オフィスについて](#) (8 ページ) を参照してください。

仮想オフィスポータル ホームページからは、管理者の環境に移動できません。管理者の権限を持っていて、管理者の環境に入りたい場合は、ログインページに戻り、管理者権限が割り当てられているユーザ名とパスワードを入力し、「LocalDomain」ドメインに再度ログインする必要があります。管理インターフェースに管理者アクセスできるのはLocalDomainだけです。また、ドメインはユーザに割り当てられた権限と無関係であることに注意してください。

ユーザとしてログインして、仮想オフィスに直接入る方法もあります。仮想オフィスのホームページが次のように表示されます。

### Welcome to the SonicWall Virtual Office

SonicWall's Virtual Office provides easy and secure remote access to the corporate network from anywhere on the Internet.

Click a pre-defined bookmark or create your own to securely access a corporate network resource.

Launch NetExtender to create a secure network connection to the corporate network for full network access.

**NetExtender** ④  
切断  
選択すると接続します

**ファイル共有** ④  
ネットワーク上の共有ファイルを操作します。

**仮想アシスト** ④  
ユーザのコンピュータの制御を得ることでアシストします。

**仮想ミーティング** ④  
ウェブ ミーティングを開催します。

ブックマークの表示:  [編集コントロールを表示する](#)

**rdweb-2017**  
セキュア ウェブ (HTTPS)

**Win2012\_broker@rdsfarm**  
ターミナル サービス (RDP)

### ヒント/ヘルプ

**自身のパスワードをどうやって変更できますか?**  
リモート デスクトップ セッションまたはウェブ ページを通してパスワードを変更できます。細かい手順については、管理者にお問い合わせください。

**NetExtender とは何ですか?**  
NetExtender は保護されたネットワーク接続を作成し、ローカル ネットワーク上でアクセスしているかのように、ネットワーク資源 (サーバおよびウェブ サイト) へのアクセスを可能にします。

**ファイル共有とは何ですか?**  
ファイル共有は、ローカル ネットワーク内のファイルへリモートからアクセスすることを可能にします。また、リモートコンピュータからローカル ネットワークにファイルをコピーすることもできます。

**セキュア仮想アシストとは何ですか?**  
セキュア仮想アシストは、顧客のコンピュータの制御を行うことで、顧客の監視下でのリモート サポートを可能にします。

**どうやってブックマークを追加できますか?**  
「編集コントロールを表示する」(ブックマーク テーブルの上の右側) を選択して、「新しいブックマーク」を選択します。これらのオプションが無い場合は、管理者がブックマークを追加する権限を与えていません。

仮想オフィスの内容は、ネットワーク管理者の設定によって変化します。SMA/SRA セキュリティ装置にログインしたときに、『SonicWall Secure Mobile Access ユーザガイド』に記載されているブックマークとサービスが、一部表示されないこともあります。

仮想オフィスには、**仮想オフィスのノードの説明表**に記載したノードを含めることができます。

## 仮想オフィスのノードの説明

ノード	説明
ファイル共有	セキュアなウェブ インターフェースを持ったリモート ユーザに、CIFS (Common Internet File System) プロトコルまたは SMB (Server Message Block) プロトコルを用いた Microsoft ファイル共有を提供する、ファイル共有ユーティリティにアクセスします。ファイル共有では、Microsoft のネットワーク コンピュータやマイ ネットワークによく似たスタイルのウェブ インターフェースが採用されており、適切な権限を持つユーザがネットワーク共有を参照して、ファイルの名前変更、削除、取得、アップロードを行ったり、ブックマークを作成して後で参照したりすることができます。
NetExtender	Windows または Linux ユーザのためのトランスペアレントな SSL VPN クライアントであり、リモート ネットワークで任意のアプリケーションをセキュアに実行できる、NetExtender ユーティリティへアクセスします。仮想インターフェースの提供する IP レベルの機構として動作し、ポイント ツー ポイント プロトコル (PPP) アダプタ インスタンスを使用して ActiveX コンポーネント (Windows 上の IE) とネゴシエートします。Windows 以外のプラットフォームでは、Java コントロールが自動的に使用され、仮想オフィス ポータルから NetExtender をインストールします。インストール後に、NetExtender が自動的に起動して仮想アダプタに接続し、内部ネットワーク上の許可されたホストおよびサブネットに対する、SSL で保護されたポイント ツー ポイント アクセスを提供します。
セキュア仮想アシスト	SonicWall Secure Mobile Access ユーザがリモートの場所から顧客をサポートするために顧客の使用しているコンピュータの制御を取得できる、使いやすい仮想アシストへアクセスします。仮想アシストは Java を使用して Secure Mobile Access 仮想オフィスから自動的にインストールされる軽量なシン クライアントであり、外部ソフトウェアのインストールは一切必要としません。Java 未対応のコンピュータでは、仮想オフィスから仮想アシストの実行可能ファイルをダウンロードして、手動でインストールできます。
セキュア仮想ミーティング	複数のユーザがインターネット接続によって実質的に任意の場所から 1 つのデスクトップを表示し、対話形式でミーティングに参加することができる仮想ミーティングにアクセスします。仮想ミーティングは、複数のユーザがデスクトップを共有できることを除けば、仮想アシストが提供している一対一のデスクトップ共有に似ています。
セキュア仮想アクセス (管理者が設定している場合)	仮想アクセスにより、技術者は SMA/SRA 装置の LAN の外のシステムへのアクセスが可能になります。仮想アクセス モードのためのシン クライアントをダウンロードしてインストールすると、そのシステムは Secure Mobile Access 管理インターフェース内で、その技術者の仮想アシスト サポート 待ち行列にのみ表示されます。
すべてのブックマーク	利用可能なブックマークのリストが表示されています。ブックマークは、特定の場所や各種サービスへのアクセスを、素早く容易に実現するためのオブジェクトです。
ダウンロード	ダウンロード可能なクライアントとアプリケーションのリストが表示されています。
オプション	管理者によって許可されている場合に、ユーザのパスワードを変更したり、シングル サインオンを使用したりするためのオプションです。
ヘルプ	仮想オフィスのオンライン ヘルプを表示します。

## 仮想オフィスのノードの説明 (続き)

ノード	説明
ヒント/ヘルプ	仮想オフィスについての一般的な質問とヒントの短いリストを提供します。
ログアウト	仮想オフィス環境からログアウトします。

ホーム ページには、ネットワーク リソースの個別のコンテンツやリンクが表示されます。連絡先、VPN 手順、社内ニュース、テクニカル更新などの情報も掲載されます。

ウェブ ブラウザさえあれば、イントラネット ウェブ サイト、ファイル共有、そして FTP サイトにはアクセスできます。VNC と Telnet には、Java が必要です。SSHv2 の暗号化は強力ですが、Oracle JRE 1.4 以降が必須です。また、SSHv2 をサポートするサーバにしか接続できません。ターミナル サービスには、クライアント マシンに Java が必要です。

以下に、仮想オフィスから実行できるタスクと使用可能な環境の例を示します。

- イン트라ネット ウェブ サイトまたは HTTPS サイト - 会社がアウトルック ウェブ アクセスなどのウェブベース電子メールをサポートしていれば、ウェブベース電子メールも使用できる
- ネットワーク全体 - NetExtender を起動して接続する
- FTP サーバ - ファイルのアップロードやダウンロードに使用
- 社内ネットワークの近くのコンピュータ - ファイル共有として使用
- Telnet および SSH サーバ
- デスクトップおよびデスクトップ アプリケーション - ターミナル サービスまたは VNC でアクセスする
- 電子メール サーバ - NetExtender クライアントでアクセスする

管理者は、SonicWall Secure Mobile Access 仮想オフィスでユーザが使用できるリソースを決定します。ユーザ、グループ、グローバル ポリシーを作成し、社内ネットワークの特定のコンピュータやアプリケーションへのアクセスを禁止することができます。

管理者はブックマークを定義することもできます。これは事前設定されたリンクで、イントラネット上のコンピュータやウェブ サイトへのアクセスを可能にします。エンドユーザが追加ブックマークを定義することもできます。

SonicWall NetExtender は、リモート ユーザがリモート ネットワークにセキュアな方法で接続できるようにするソフトウェア アプリケーションです。NetExtender によって、リモート ユーザはリモート ネットワークに仮想的に参加することができます。ネットワーク ドライブをマウントする、ファイルをアップロード/ダウンロードする、リソースにアクセスするなどの作業をローカル ネットワークにいる感覚で実行することができます。

## 仮想オフィスからログアウトする

セッションを終了するには、ポータル内の現在の場所から仮想オフィスのホームページに戻り、「ログアウト」をクリックします。

仮想オフィスを「admin」のユーザ名で使用しているとき、「ログアウト」ボタンは表示されません。これは、管理者が管理インターフェースからログアウトしても仮想オフィスからはログアウトしないようにするための安全対策です。

# セキュア リモート アクセス機能の使用

- Secure Mobile Access Connect Agent の使用
- 仮想オフィス認証の使用
- NetExtender の使用
- セキュア仮想アシストと仮想ミーティングの使用
- ファイル共有の使用
- ブックマークの管理



# Secure Mobile Access Connect Agent の使用

このセクションでは、SonicWall Secure Mobile Access (SMA) Connect Agent ポータルの機能の使用方法について詳細を説明します。

トピック:

- [Secure Mobile Access Connect Agent とは \(17 ページ\)](#)

## Secure Mobile Access Connect Agent とは

ブラウザ プラグイン (NPAPI および ActiveX) は、NetExtender、仮想アシスト、EPC などのネイティブアプリケーションを起動するために使用されます。セキュリティ上の理由から、普及度の高いブラウザでは、これらのプラグインが遮断されています。たとえば、Chrome ブラウザではすべての NPAPI プラグインが無効になっており、最新の Microsoft Edge ブラウザは ActiveX をサポートしていません。そのため、ブラウザからの直接起動という便利な方法はもう機能せず、シームレスな起動を行うための新しい方法が必要になります。

特定のスキーマの URL を開くことで、異なるアプリケーションを起動することができます。Windows/OS X では、*mailto* などのいくつかのスキーマが既に定義されています。SMA Connect Agent は、ブラウザ プラグインの代わりにスキーマ URL を使用します。SMA Connect Agent は、スキーマ URL リクエストを受け取って特定のネイティブ アプリケーションを開くブリッジのようなものです。

Citrix ブックマークから Citrix Receiver を起動するには、最初に SMA Connect Agent をインストールする必要があります。

トピック:

- [サポートされるオペレーティング システム \(17 ページ\)](#)
- [ダウンロードとインストール \(18 ページ\)](#)
- [SMA Connect Agent の設定 \(19 ページ\)](#)

## サポートされるオペレーティング システム

SMA Connect Agent は、Windows (7、8、10) と Macintosh (OS X) オペレーティング システムをサポートします。

# ダウンロードとインストール

ようこそページで EPC または PDA 機能を使用する必要がある場合、ダウンロードとインストールの通知が表示されます。



「ポータル」ページでは、ユーザが Net Extender、仮想アシスト、仮想ミーティング、RDP ブックマーク (ネイティブ)、または Citrix ブックマーク (ネイティブ) を起動しようとする時、次のようなダウンロードとインストールに関する通知が表示されます。



- 「ダウンロード」 - 「ダウンロード」をクリックし、SMA 接続エージェントをダウンロードしてインストールします。その後、ユーザは「インストール済み」をクリックして、SMA 接続エージェントがインストールされたことをブラウザに「記憶」させることができます。または、「続行」をクリックしてページをバイパスし、StoreFront にログインすることもできます。
- インストール済み - この通知が再び表示されることはありません。
- 続行 - 通知を閉じ、操作を続行します。

- [詳細] - SMA Connect Agent を説明するウィンドウを開きます。

ダウンロード完了後には、インストーラが表示されます。Windows 用インストーラは「SMAConnectAgent.msi」、Macintosh 用インストーラは「SMAConnectAgent.dmg」です。Windows のインストーラには、インストールの権限が必要です。Macintosh のインストーラでは、SMA Connect Agent を /Application ディレクトリに入れるよう表示されます。

## SMA Connect Agent の設定

### プロキシの設定

SMA はプロキシの配備をサポートしています。その場合、装置がクライアント ブラウザとプロキシ サーバの間に存在し、すべてのクライアント ブラウザがプロキシ サーバにリダイレクトされるよう設定されます。このシナリオでは、ドメインが仮想ホスティング サーバに含まれる場合のドメイン除外や同じサーバ IP を複数のドメインで使用できるクラウド配備のサポートなど、すべての SMA 機能がサポートされています。

また、通常のデータ センター サーバファームでは、サーバ上の SSL 処理の負荷を軽減するために、前面に負荷分散装置やリバース SSL プロキシを配置しています。サーバの前面に位置して復号化を行っている負荷分散装置の場合、通常、装置には負荷分散装置の IP しかわかりません。負荷分散装置は、内容を復号化し、この接続の割り当て先となる特定のサーバを決定します。今回、DPI-SSL には IP ベースの除外キャッシュを無効にするためのグローバル ポリシー オプションが用意されました。IP ベースの除外キャッシュがオフの場合でも、除外の動作は継続します。SMA Connect Agent では、ユーザによるプロキシ設定が可能です。

次の 4 つのプロキシ設定オプションが用意されています。

- 「プロキシなし」 - プロキシ サーバが設定されていない場合は、IPv6 属性は破棄されます。
- 「システム プロキシ設定を使用」
- 「手動のプロキシ設定」
- 「自動プロキシ設定 URL」

The image shows a 'Proxy Configuration' dialog box with the following elements:

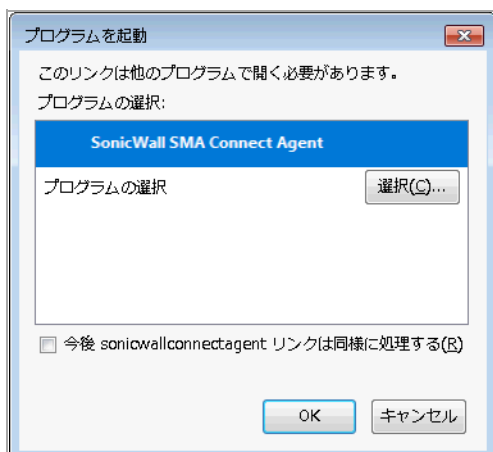
- Radio button:  No Proxy
- Radio button:  Use system proxy settings
- Radio button:  Manual proxy configuration:
  - SSL Proxy: [text box]
  - Port: [text box]
  - Username: [text box]
  - Password: [text box]
  - No proxy for: [text area]
  - Example: www.google.com, 192.168.1.0/24
- Radio button:  Automatic proxy configuration URL: [text box]
- Buttons: Cancel, OK

## ログ

システム ツール バーにはログトレイがあります。このトレイを右クリックし、該当するポップアップメニューを選択すると、ログを表示できます。

## ブラウザによる警告

スキーム URL から SMA Connect Agent を起動しようとする場合、ブラウザから SMA Connect Agent を起動するかどうかを確認する警告メッセージがポップアップで表示される場合があります。

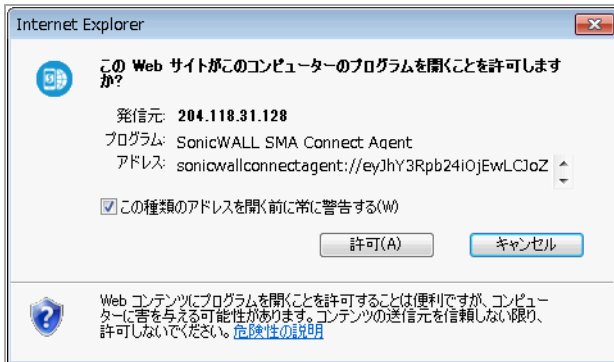


Firefox の警告ウィンドウでは、「OK」を押すと SMA Connect Agent が起動されます。

Citrix ネイティブ ブックマークを起動する場合は、StoreFront にログインした後で Citrix デスクトップまたはその他の Citrix ブックマークなどのアプリケーションを起動します。ブラウザの確認メッセージが表示される場合があります。



Chrome では、警告ウィンドウで「アプリケーションの起動」を押して Citrix または SMA Connect Agent を起動します。



Internet Explorer では、警告ウィンドウで「許可」を押して SMA Connect Agent を起動します。

## エンドポイント制御 (EPC)

SMA Connect Agent では、ブラウザからの EPC チェックがサポートされています。ログイン ページで EPC チェックを有効にすると、ブラウザは SMA Connect Agent に EPC チェックを行わせて特定のスキーマ URL を起動します。

SMA Connect Agent は、マシン上の EPC サービスをチェックします。EPC サービスがローカル マシン上にない場合や、装置に新しいバージョンがある場合、SMA Connect Agent は EPC サービスをダウンロードしてインストールするか、アップグレードします。インストールやアップグレードの完了後、SMA Connect Agent は EPC チェックを行います。

EPC 機能 (装置側) でクライアント側に EPC 失敗メッセージを詳細に表示する設定が有効な場合、SMA Connect Agent は詳細な失敗メッセージをログに記録します。その後、ログのトレイを表示することができます。

## PDA (個人機器認証)

PDA は新機能です。SMA Connect Agent は、PDA 機能によるローカル マシンの情報取得をサポートします。ログイン ページでユーザが PDA 機能を有効にしている場合、ブラウザは SMA Connect Agent を起動します。SMA Connect Agent はローカル マシンの情報を取得し、その情報を装置に送信します。

## SonicWallアプリケーション

ポータル ページには、サポート対象の SonicWall アプリケーション (NetExtender、仮想アシスト、仮想ミーティングなど) を起動するためのボタンがあります。



## 仮想オフィス認証の使用

このセクションでは、SonicWall Secure Mobile Access (SMA) 仮想オフィス ポータルの認証機能の使用方法について詳細を説明します。

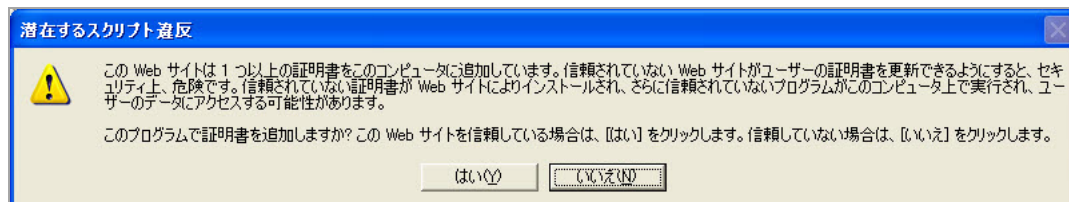
### トピック:

- [証明書インポート \(22 ページ\)](#)
- [二段階認証の使用 \(23 ページ\)](#)
- [ワンタイムパスワードの使用 \(26 ページ\)](#)

## 証明書のインポート

SMA/SRA 装置が自己署名 SSL 証明書を HTTPS 認証で使用している場合は、NetExtender 接続を確立する前に証明書をインストールすることをお勧めします。証明書が自己署名証明書か信頼済みルート認証局証明書が不確かな場合、SonicWall としては証明書をインポートすることをお勧めします。

Internet Explorer を使っている場合に証明書をインポートする一番簡単な方法は、仮想オフィス ホームページの下部にある「[証明書のインポート](#)」をクリックすることです。次の警告メッセージが表示されることがあります。



「はい」を選択します。証明書がインポートされます。

- ① **メモ:** Internet Explorer を使っている場合は、この方法でのみ証明書をインポートできます。その他の Chrome や Firefox といったブラウザに対しては、証明書は手動でインポートする必要があります。

Windows のログイン画面からネットワーク ログオン方式を使用している場合、NetExtender では証明書ベースの認証にシステム ストアを使用します。ユーザが既に Windows にログインしている場合、NetExtender では証明書ベースの認証にユーザ ストアを使用します。ネットワーク ログオン方式を使用するユーザは、証明書の認証も有効になっている場合、自分のユーザ証明書をユーザ ストアだけでなくシステム ストアにもインポートする必要があります。

# 二段階認証の使用

以下のセクションでは、二段階認証を用いて Secure Mobile Access 仮想オフィス ポータルにログインする方法を説明します。

- [ユーザの前提条件](#) (23 ページ)
- [RSA 二段階ユーザ認証プロセス](#) (23 ページ)
- [VASCO 二段階ユーザ認証プロセス](#) (25 ページ)

## ユーザの前提条件

二段階認証を用いてログインするためには、以下の条件を満たしていなければなりません。

- 管理者によって、ユーザ アカウントが作成されていること
- RFC 標準に適合している二段階認証サーバのアカウントがあること

## RSA 二段階ユーザ認証プロセス

以下のセクションでは、RSA 二段階認証を用いて Secure Mobile Access 仮想オフィスにログインするときのユーザのタスクについて説明します。

- [RSA 二段階認証を用いて仮想オフィスにログインする](#) (23 ページ)
- [新しいパスワードの作成](#) (24 ページ)
- [次のトークンを待つ](#) (24 ページ)

## RSA 二段階認証を用いて仮想オフィスにログインする

**RSA 二段階認証を用いて SonicWall Secure Mobile Access 仮想オフィスにログインするには**

- 1 ブラウザに SMA/SRA 装置の IP アドレスを入力します。認証ウィンドウが表示されます。



- 2 「ユーザ名」フィールドにユーザ名を入力します。
- 3 仮想オフィスに初めてログインするときに「パスワード」フィールドに入力する内容は、ご使用のシステムが PIN を要求するかどうかによって異なります。

- 既に PIN を持っている場合は、「パスワード」フィールドにパスコードを入力します。パスコードとは、ユーザの PIN と SecurID トークン コードを組み合わせたものです。たとえば、ユーザの PIN が 8675 で、トークン コードが 30966673 なら、パスコードは 867530966673 となります。
- PIN が要求されるが、未だ PIN を持っていない場合は、SecurID トークン コードを「パスワード」フィールドに入力します。PIN を作成するように表示されます。
- RSA サーバが PIN を要求しない場合は、SecurID トークン コードを入力するだけです。

① | **メモ**：設定に PIN が必要かどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。

- 4 適切な「ドメイン」を選択します。ドメインを手動で入力する場合は、大文字と小文字を区別して入力する必要があります。
- 5 「ログイン」を選択します。

## 新しいパスワードの作成

新規 PIN の作成が必要なユーザかどうかは、RSA Authentication Manager が自動的に判断します。SMA/SRA 装置からユーザに対して、新規 PIN を入力するよう要求されます。

**新しい PIN を作成するには:**

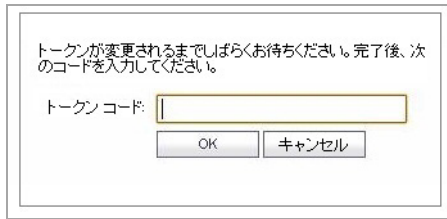
- 1 PIN を「パスワード」フィールドに入力し、「パスワードの再入力」フィールドにもう一度入力して「OK」を選択します。PIN は 4 から 8 文字の長さである必要があります。

- 2 RSA Authentication Manager は、新規 PIN が基準を満たしているか確認します。PIN が基準を満たしている場合、ユーザは新しいパスコードを用いてログインするよう要求されます。

## 次のトークンを待つ

ユーザ認証が 3 回続けて失敗した場合、RSA サーバは新規のトークンを入力するようユーザに求めてきます。認証を完了するため、ユーザはトークンが変更されるのを待ってから新規のトークンを入力するよう要求されます。





## VASCO 二段階ユーザ認証プロセス

以下のセクションでは、RSA 二段階認証を使用するときのユーザのタスクについて説明します。

- [VASCO 二段階認証を用いて仮想オフィスにログインする \(25 ページ\)](#)
- [その他の RADIUS サーバの二段階認証プロセス \(25 ページ\)](#)

## VASCO 二段階認証を用いて仮想オフィスにログインする

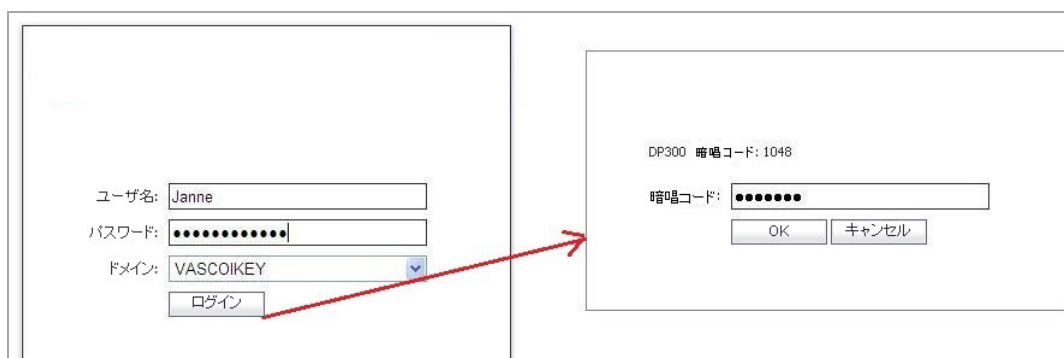
**VASCO 二段階認証を用いて Secure Mobile Access 仮想オフィスにログインするには:**

- 1 ブラウザに SMA/SRA 装置の IP アドレスを入力します。認証ウィンドウが表示されます。
  - 2 「ユーザ名」フィールドにユーザ名を入力します。
  - 3 パスコードを「パスワード」フィールドに入力します。「パスワード」フィールドに入力する内容は、あなたのシステムが PIN を要求するかどうかによって依存します。
    - 既に PIN を持っている場合は、「パスワード」フィールドにパスコードを入力します。パスコードとは、ユーザの PIN と VASCO Digipass トークン コードを組み合わせたものです。たとえば、ユーザの PIN が 8675 で、トークン コードが 30966673 なら、パスコードは 867530966673 となります。
    - PIN が要求されるが、未だ PIN を持っていない場合は、VASCO Digipass コードを「パスワード」フィールドに入力します。PIN を作成するように表示されます。
    - VASCO サーバが PIN を要求しない場合は、VASCO Digipass コードを入力するだけです。
- ① | **メモ:** 設定に PIN が必要かどうかは、ネットワーク管理者に確認してください。
- 4 適切な「ドメイン」を選択します。ドメインを手動で入力する場合は、大文字と小文字を区別して入力する必要があります。
  - 5 「ログイン」を選択します。

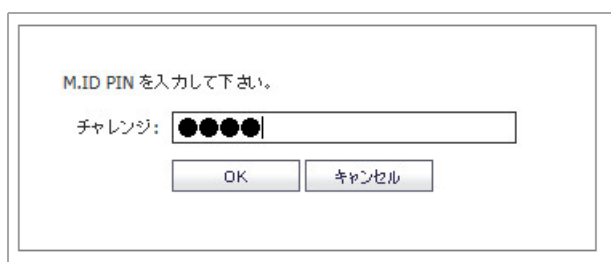
## その他の RADIUS サーバの二段階認証プロセス

**二段階認証のために別のタイプの RADIUS サーバを用いて仮想オフィスにログインするには:**

- 1 ブラウザに SMA/SRA 装置の IP アドレスを入力します。認証ウィンドウが表示されます。



- 2 「ユーザー名」フィールドにユーザー名を入力します。
- 3 「パスワード」フィールドにパスワードを入力します。
- 4 適切な「ドメイン」を選択します。ドメインを手動で入力する場合は、大文字と小文字を区別して入力する必要があります。
- 5 「ログイン」を選択します。
- 6 追加情報を入力するように要求されます。その詳細は使用している RADIUS サーバのタイプに依存します。下記は M.ID RADIUS サーバの例で、最初に「M.ID PIN を入力して下さい」と要求されます。「チャレンジ」フィールドに PIN を入力してから、「OK」を選択します。



- 7 すると、「M.ID Passcode を入力してください」と要求されます。電子メールやテキスト メッセージで受け取ったパスコードを「暗唱コード」フィールドに入力してから、「OK」を選択します。

## ワンタイムパスワードの使用

ワンタイムパスワードの使用方法については、以下のセクションで説明します。

- [ユーザの前提条件 \(27 ページ\)](#)
- [電子メールのワンタイムパスワードでログインする \(27 ページ\)](#)
- [モバイルアプリの時刻ベースのワンタイムパスワードでログインする \(28 ページ\)](#)
- [モバイルアプリの時刻ベースのワンタイムパスワードでログインする \(28 ページ\)](#)
- [モバイルアプリのワンタイムパスワード設定を構成する \(29 ページ\)](#)
- [ユーザのワンタイムパスワード設定の確認 \(31 ページ\)](#)

## ユーザの前提条件

Secure Mobile Access 管理インターフェースで当該ユーザのユーザアカウントが有効になっていなければなりません。管理者によってワンタイムパスワード機能の使用が有効化されたユーザだけが次の手順でログインする必要があります。管理者はワンタイムパスワード機能を有効化し、以下の認証方式のいずれかを選択しなければなりません。

- **ユーザ裁量** - ワンタイムパスワードを編集できるようにします。管理者は、電子メール、モバイルアプリ、またはワンタイムパスワードの両方の方式を選択します。
- **電子メールを使用する** - ワンタイムパスワードの認証に電子メールアドレスを使用できるようにします。
- **モバイルアプリを使用する** - ワンタイムパスワードの認証にサードパーティのモバイルアプリコードを使用できるようにします。

① **メモ** : ユーザは、適合二段階認証アプリ (Google Authenticator、Duo Mobile など) をダウンロードする必要があります。

## 電子メールのワンタイムパスワードでログインする

電子メールのワンタイムパスワード機能を使用するには:

- 1 Secure Mobile Access 仮想オフィス ユーザ インターフェースにログインしていない場合は、ウェブブラウザを開き、仮想オフィス インターフェースの URL を「場所」または「アドレス」バーに入力して、Enter キーを押します。
- 2 ユーザ名を「ユーザ名」フィールドに、パスワードを「パスワード」フィールドに入力し、適切なドメインを「ドメイン」ドロップダウンメニューから選択します。
- 3 「ログイン」を選択します。
- 4 "仮パスワードがあなたのアドレス user@email.com に送信されました" (送信先は事前に設定された電子メールアカウント) というメッセージが表示されます。

- 5 電子メールアカウントにログインしてワンタイムパスワードを取得します。
- 6 ワンタイムパスワードを「パスワード」フィールドに入力するか貼り付け、「ログイン」を選択します。

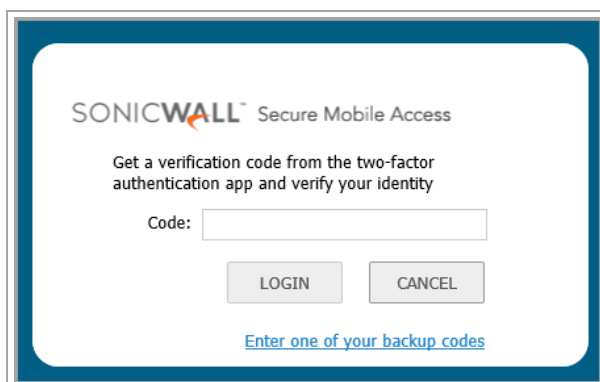
仮想オフィスへのログインが行われます。

① **メモ** : ワンタイムパスワードは、ログインが成功すると直ちに削除され、再び使うことはできません。未使用のワンタイムパスワードは、各ユーザのタイムアウトポリシーに従って失効します。

# モバイルアプリの時刻ベースのワンタイムパスワードでログインする

モバイルアプリの時刻ベースのワンタイムパスワード機能を使用するには:

- 1 Secure Mobile Access 仮想オフィス ユーザ インターフェースにログインしていない場合は、ウェブブラウザを開き、仮想オフィス インターフェースの URL を「場所」または「アドレス」バーに入力して、Enter キーを押します。
- 2 ユーザ名を「ユーザ名」フィールドに、パスワードを「パスワード」フィールドに入力し、適切なドメインを「ドメイン」ドロップダウン メニューから選択します。
- 3 「ログイン」を選択します。
- 4 プロンプト「二段階認証アプリから確認コードを取得し、本人確認を行ってください」が表示されます。



- 5 選択した二段階認証アプリを開き、確認コードを取得します。
- 6 ワンタイムパスワードを「Code (コード)」フィールドに入力するか貼り付け、「LOGIN (ログイン)」をクリックします。

仮想オフィスへのログインが行われます。

- ① **メモ:** ワンタイムパスワードは、ログインが成功すると直ちに削除され、再び使うことはできません。未使用のワンタイムパスワードは、各ユーザのタイムアウト ポリシーに従って失効します。

- 7 必要に応じて、「Enter one of your backup codes (いずれかのバックアップコードを入力する)」をクリックして、個人的に生成したバックアップコードを使用します。

## 電子メールのワンタイムパスワード設定を構成する

電子メールのワンタイムパスワード設定を構成するには:

- 1 資格情報を使用して仮想オフィス ホームページにログインします。

- 2 右上隅にある「オプション」をクリックします。「ユーザオプション」ページが表示されます。

シングルサインオン設定

自動的にブックマークにログイン

ワンタイムパスワード設定

ワンタイムパスワード

電子メール

電子メール アドレス:

モバイル アプリを使用する

保存      キャンセル

- 3 「ワンタイムパスワード設定」を選択します。
- 4 「電子メール」を選択し、ワンタイムパスワードの電子メールアドレスを入力します。複数の電子メールアドレスがある場合はコロン「;」で区切ります。  
**① | メモ**：この設定は他の電子メールアドレスよりも優先されます。
- 5 「保存」を選択します。

## モバイルアプリのワンタイムパスワード設定を構成する

モバイルアプリのワンタイムパスワード設定を構成するには:

- 1 資格情報を使用して仮想オフィス ホームページにログインします。
- 2 右上隅にある「オプション」をクリックします。「ユーザオプション」ページが表示されます。

シングルサインオン設定

自動的にブックマークにログイン

ワンタイムパスワード設定

ワンタイムパスワード

電子メール

モバイル アプリを使用する

保存      キャンセル

- 3 「ワンタイムパスワード設定」を選択します。
- 4 「モバイルアプリを使用する」を選択し、2番目の認証方式として Google Authenticator、Duo、またはその他の適合アプリケーションを入力します。
- 5 「保存」を選択します。

- 6 ページの表示を更新します。「**バインド**」または「**バックアップコードの生成**」のオプションが表示されます。

### シングル サインオン設定

自動的にブックマークにログイン

### ワンタイム パスワード設定

ワンタイム パスワード

電子メール

モバイル アプリを使用する **バインド** ⓘ

バックアップ コードの生成

保存 キャンセル

- 7 必要に応じて、「**バインド**」を選択してスキャン可能な QR コードを生成します。

### シングル サインオン設定

自動的にブックマークにログイン

### ワンタイム パスワード設定

ワンタイム パスワード

電子メール

モバイル アプリを使用する **バインド** ⓘ



1. 「**Google 認証システム**」または「**Duo**」を携帯にインストールします  
2. アプリでスキャンするか、または、**テキストコード**を入力します  
3. アプリからのコードを入力します

コードの確認  **確認**

バックアップ コードの生成

保存 キャンセル

- 適合モバイル認証アプリを使用して QR コードをスキャンします。モバイルアプリは、QR コードを正常にスキャンした後、6桁のコードを生成します。
- アプリから取得した6桁のコードを「**コードの確認**」フィールドに入力します。
- 「**確認**」をクリックします。コードが受け入れられ、バインドが成功したことを示すメッセージが表示されます。

- 8 必要に応じて、「バックアップ コードの生成」を選択してバックアップ コード生成リストをダウンロードします。
  - a 将来の使用に備えて、このファイルを保存してください。
  - b 「コードの確認」フィールドに生成リストのいずれかのバックアップ コードを入力します。
    - ① | **メモ**：個々のバックアップ コードは1回しか使用できません。
- 9 「確認」をクリックします。コードが受け入れられ、バインドが成功したことを示すメッセージが表示されます。
- 10 「保存」を選択します。

## SMS 対応電話でのワンタイムパスワードの設定

ワンタイムパスワードをSMS対応電話に電子メールで直接送信するように設定することができます。SMSを有効にする方法の詳細については、携帯電話サービス会社にお問い合わせください。

以下に、主な電話会社のSMS電子メールフォーマットを示します。ここで、4085551212は10桁の電話番号と局番を表します。

① | **メモ**：これらのSMS電子メールフォーマットは参考用です。これらの電子メールフォーマットは変更される可能性があります。SMSを使用する前に、サービス会社から追加的なサービスまたは情報を入手しなければならないこともあります。これらのフォーマットと、SMSのサービス、オプション、機能の詳細については、SMSを提供する会社に直接問い合わせてください。

- Verizon: 4085551212@vtext.com
- Sprint: 4085551212@messaging.sprintpcs.com
- AT & T: 4085551212@mobile.att.net
- Cingular: 4085551212@mobile.mycingular.com
- T-Mobile: 4085551212@tmomail.net
- Nextel: 4085551212@messaging.nextel.com
- Virgin Mobile: 4085551212@vmobl.com
- Qwest: 4085551212@qwestmp.com

詳細については、『SonicWall Secure Mobile Access 管理ガイド』を参照してください。

## ユーザのワンタイムパスワード設定の確認

仮想オフィスへのログインが成功した場合は、ワンタイムパスワード機能を正しく使用したことになります。

ワンタイムパスワード機能を使用してログインできない場合は、以下を確認してください。

- 電子メールでワンタイムパスワードを取得するように求めるメッセージが表示されずに仮想オフィスにログインできましたか? ログインできた場合、ワンタイムパスワード機能を使うように設定されていません。設定されていないことが間違いであると考えられる場合は、Secure Mobile Accessの管理者にお問い合わせください。

- 電子メール アドレスは正しく設定されていますか? 電子メール アドレスの指定に誤りがある場合は、Secure Mobile Access の管理者に連絡して訂正してください。
- ワンタイム パスワードの記載された電子メールを確実に受信しましたか? 電子メールが届いていない場合は、数分待ってから受信ボックスを更新してください。スパム フィルタも確認してください。数分待っても電子メールが届かない場合は、再度ログインして新しいワンタイム パスワードを生成してみてください。
- ワンタイム パスワードを所定のフィールドに正確に入力しましたか? ワンタイム パスワードを再入力するか、コピーして貼り付けてください。
- QR コードをスキャンできますか? 認証アプリをダウンロードしましたか? 認証アプリ (Google Authenticator、Duo Mobile など) をダウンロードしてください。
- 認証アプリをモバイル機器にバインドしましたか? 認証アプリをモバイル機器にバインドできない場合は、管理者にお問い合わせください。
- ワンタイム パスワードの期限が切れていませんか? パスワードが受け入れられない場合は、認証アプリを開き、パスワードが最新か確認します。古いパスワードの期限が切れると、新しいパスワードが表示されます。



# NetExtender の使用

このセクションでは、SonicWall NetExtender の設定方法と使用方法について説明します。Mobile Connect の使用に関する情報も紹介します。

トピック:

- [ユーザの前提条件](#) (33 ページ)
- [Mobile Connect の使用](#) (34 ページ)
- [ユーザ設定タスク](#) (35 ページ)

## ユーザの前提条件

### Windows クライアントの前提条件:

Windows クライアントで NetExtender を使用するには、以下の前提条件を満たさなければなりません。

- 次のいずれかのプラットフォーム:
  - Windows 10、Windows 7、Windows 2012、Windows Server 2008 R2
- 次のいずれかのブラウザ:
  - Internet Explorer 9.0 以上
  - Mozilla Firefox 16.0 以上
  - Google Chrome 22.0 以降
- NetExtender クライアントを最初にインストールするには、PC に管理者権限でログインする必要があります。
- Internet Explorer で ActiveX スクリプト ファイルのダウンロードと実行を有効にしておく必要があります。
- SMA/SRA ゲートウェイが自己署名 SSL 証明書を HTTPS 認証で使用している場合は、NetExtender 接続を確立する前に証明書をインストールする必要があります。証明書が自己署名証明書か信頼済みルート認証局証明書か不確かな場合、SonicWall としては証明書をインポートすることをお勧めします。証明書を最も簡単にインポートするには、仮想オフィス ホームページの「**証明書のインポート**」をクリックします。

Windows のログイン画面からネットワーク ログオン方式を使用している場合、NetExtender では証明書ベースの認証にシステム ストアを使用します。ユーザが既に Windows にログインしている場合、NetExtender では証明書ベースの認証にユーザ ストアを使用します。ネットワーク ログオン方式を使用するユーザは、証明書の認証も有効になっている場合、自分のユーザ証明書をユーザ ストアだけでなくシステム ストアにもインポートする必要があります。

## Mac OS X クライアントの前提条件:

Mac OS X クライアントで NetExtender を使用するには、以下の前提条件を満たさなければなりません。

- Mac OS X 10.7 ~ 10.10
  - ① **メモ:** Mac NetExtender は、El Capitan (10.11) 以降、サポートが終了します。SMA/SRA ファームウェアの今後のリリースでは、ユーザが NetExtender を起動しようとするエラーが表示され、App Store から Mobile Connect をインストールするよう求められます。Secure Mobile Access 8.1 は、Mac NetExtender をサポートする最後のバージョンです。SonicWall では、現在のリリースでも今後のリリースでも、Mac OS X 機器には NetExtender ではなく SonicWall Mobile Connect を使用することを強くお勧めします。
- PowerPC Mac と Intel Mac は両方ともサポート

## Linux クライアントの前提条件:

Linux 32 ビットまたは 64 ビット クライアントは、以下のディストリビューション (32 ビットまたは 64 ビット) の 1 つが動作している場合に NetExtender をサポートします。

- Linux Fedora Core 20 以降、Ubuntu 12.04, 13.10 以降、または OpenSUSE 10.3 以降

NetExtender クライアントは他のディストリビューションでも同様に動作することがわかっていますが、公式にはサポートしていません。

- ① **メモ:** オープン ソースの Java 仮想マシン (VM) は現在はサポートされていません。Java 1.5 以降がインストールされていない場合でも、コマンドライン インターフェイス バージョンの Java 1.5 は使用できます。

# Mobile Connect の使用

SonicWall Mobile Connect は、iOS、Android、Mac OS X、Windows Phone、Windows 10、および ChromeOS 上で NetExtender と同じ機能を提供します。Mobile Connect は、NetExtender と同様に SSL VPN を用いて、SonicWall セキュリティ装置によって保護されたプライベート ネットワークへの安全なモバイル接続を実現するアプリです。SonicWall Mobile Connect のインストールと使用方法については、ご使用の機器向けの『SonicWall Mobile Connect ユーザガイド』を以下のリンクより参照してください。

<https://www.sonicwall.com/support/technical-documentation>。

Mobile Connect は、Secure Mobile Access と互換性があり、機器の種別ごとにアプリ ストアから無料でダウンロードできます。

Mobile Connect は Secure Mobile Access への接続時に、NetExtender クライアントとして動作します。Mobile Connect のアクセスを正常に行うには、NetExtender 接続を許可するようにポータルが設定され、ユーザアカウントとグループに NetExtender を使用する権限が与えられている必要があります。

## Apple iOS クライアントの前提条件

Mobile Connect は、Apple iOS が動作している Apple iPhone、iPad、および iPod Touch 機器上でサポートされます。サポートされる具体的な機器のリストについては、『SonicWall Mobile Connect iOS ユーザガイド』を参照してください。

- Mobile Connect 3.1 の場合、機器に iOS 6 以上の搭載が必要です。
- Mobile Connect 4.0 の場合、機器に iOS 7 以上の搭載が必要です。

## Android スマートフォン クライアントの前提条件

SonicWall Mobile Connect アプリは、Android が動作しているスマートフォンに使用できます。

- Mobile Connect 3.1 の場合、機器に Android 4.0 以上の搭載が必要です。
- Mobile Connect 4.0 の場合、機器に Android 4.1 以上の搭載が必要です。

## ユーザ設定タスク

SonicWall NetExtender は、リモート ユーザがリモート ネットワークにセキュアな方法で接続できるようにするソフトウェア アプリケーションです。NetExtender によって、リモート ユーザはリモート ネットワークに仮想的に参加することができます。ネットワークドライブをマウントする、ファイルをアップロード/ダウンロードする、リソースにアクセスするなどの作業をローカル ネットワークにいる感覚で実行することができます。

以下のセクションでは、サポートされる各種プラットフォームでの NetExtender の使用方法について説明します。

### Windows プラットフォームでのインストール

- [Mozilla Firefox ブラウザによる NetExtender のインストール \(36 ページ\)](#)
- [インターネットエクスプローラブラウザによる NetExtenderのインストール \(38 ページ\)](#)
- [Chrome ブラウザを使用した NetExtender のインストール \(41 ページ\)](#)

### Windows プラットフォームでの使用

- [NetExtender をコンピュータから直接起動する \(43 ページ\)](#)
- [NetExtender プロパティの設定 \(46 ページ\)](#)
- [NetExtender の接続スクリプトの設定 \(48 ページ\)](#)
- [バッチ ファイル コマンドの設定 \(49 ページ\)](#)
- [プロキシの設定 \(50 ページ\)](#)
- [NetExtender ログのプロパティの設定 \(51 ページ\)](#)
- [NetExtender の詳細プロパティの設定 \(51 ページ\)](#)
- [NetExtender 高速化プロパティの設定 \(52 ページ\)](#)
- [NetExtender パケット キャプチャのプロパティの設定 \(53 ページ\)](#)
- [言語プロパティの設定 \(53 ページ\)](#)
- [NetExtender ログの表示 \(54 ページ\)](#)
- [NetExtender の切断 \(55 ページ\)](#)
- [NetExtender のアップグレード \(56 ページ\)](#)
- [パスワードの変更 \(56 ページ\)](#)
- [認証方式 \(56 ページ\)](#)
- [NetExtender のアンインストール \(57 ページ\)](#)

- システムトレイで NetExtender の動作を確認する (57 ページ)
- NetExtender コマンド ライン インターフェースの使用 (58 ページ)

## Linux プラットフォーム

- Linux での NetExtender のインストール (60 ページ)
- Linux での NetExtender の使用 (62 ページ)

# Mozilla Firefox ブラウザによる NetExtender のインストール

Firefox ブラウザで NetExtender を初めてインストールするには:

- 1 Secure Mobile Access 仮想オフィス ポータルにログインします。
- 2 「NetExtender」をクリックします。



- 3 「クライアントのダウンロード」ウィンドウが現れ、NetExtender クライアントのダウンロードとインストールの手順が表示されます。その手順は次のとおりです。

クライアントは自動的にダウンロードされます。ダウンロードが自動的に開始されない場合は、プラットフォームを選択して手動でダウンロードします。

ダウンロード後にクライアントをインストールするには、アプリケーションを実行し、インストーラの説明に従います。

ダウンロード完了後にクライアントをインストールするには、アプリケーションを起動し、インストーラの指示に従ってください。

Secure Mobile Access Connect Agent

Windows .exe    Mac .dmg

NetExtender クライアント

Windows .exe    Linux 32-bit .tgz

セキュア仮想アシスト クライアント

ヒント/ヘルプ

自身のパスワードか？

リモート デスクトップ ページを通してバカい手順についてください。

NXSetupU.exe を開く

次のファイルを開こうとしています:

NXSetupU.exe

ファイルの種類: Binary File

ファイルの場所: https://204.118.31.128


このファイルを保存しますか？

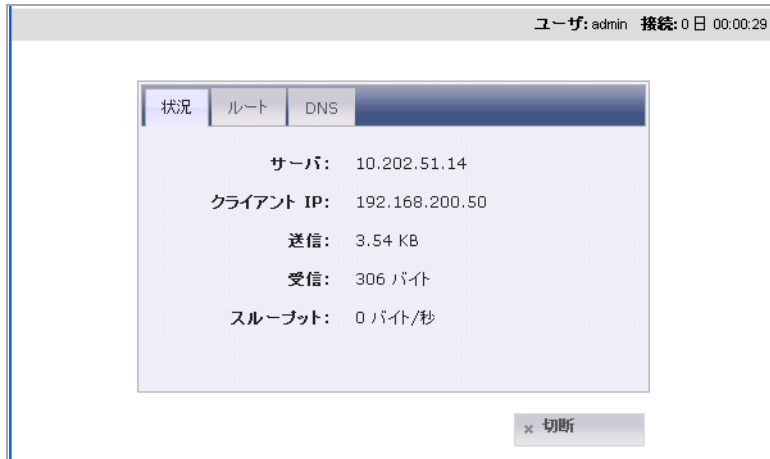
ファイルを保存    キャンセル

セキュア仮想アシスト クライアント

セキュア仮想アシスト クライアントの制御を行うことサポートを可能

- 4 自動ダウンロードにより、「NXSetupU.exe を開く」ダイアログ ボックスが表示されます。「**ファイルを保存**」をクリックして、コンピュータへの NetExtender クライアントのダウンロードを許可します。ファイルが「ダウンロード」フォルダに保存されます。
- 5 「ダウンロード」フォルダに移動し、NXSetupU.exe をダブルクリックしてインストーラを実行します。
- 6 「ユーザ アカウント制御」ダイアログが表示されます。"次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?" という質問に、「はい」を選択します。
- 7 SonicWall NetExtender セットアップ ウィザードが起動されます。「ようこそ」画面で、セットアップを開始する前に他のすべてのアプリケーションを閉じて、インストール後にコンピュータを再起動する必要性をなくすことが推奨されます。準備ができたなら、「次へ」をクリックします。
- 8 「ライセンス規約」画面で、規約を読み、「**ライセンス規約に同意する**」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 9 「インストール場所の選択」画面で、必要に応じて、「参照」を使用して「**インストール先フォルダ**」フィールドを変更します。「次へ」ボタンを選択します。
- 10 「ショートカット」画面では、次のショートカット オプションが既定で選択されています。
  - スタート メニューにショートカットを作成する
  - クイック起動バーにショートカットを作成する
  - デスクトップにショートカットを作成する必要のないショートカット オプションがあれば、対応するチェック ボックスをオフにします。
- 11 「**インストール**」をクリックします。
- 12 「Windows セキュリティ」ダイアログ ボックスに"このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?" と表示されたら、「インストール」をクリックします。
- 13 「SonicWall NetExtender セットアップ ウィザードの完了」画面で、「**SonicWall NetExtender の実行**」チェック ボックスをオンのままにして NetExtender をすぐに起動するか、またはチェック ボックスをオフにして、NetExtender を起動せずにインストールを完了します。
- 14 「**完了**」をクリックします。
- 15 NetExtender が起動されたら、SMA/SRA 装置の IP アドレスまたは FQDN を「**サーバ**」フィールドに入力します。これは、ポータル ページにアクセスして NetExtender をダウンロードするとき、ブラウザでアクセスするサーバと同一です。
- 16 「**ユーザ名**」フィールドにユーザ名を入力します。
- 17 「**パスワード**」フィールドにパスワードを入力します。
- 18 「**ドメイン**」フィールドにドメインを入力します。これは、ブラウザでポータルにアクセスするときに、ログイン ページの「**ドメイン**」フィールドに表示されるドメインと同一です。
- 19 「**接続**」を選択します。NetExtender は数秒でサーバに接続し、資格情報を確認します。

NetExtender の状況を示すウィンドウが表示され、NetExtender の接続が正常に確立されたことが示されます。タスク バーに NetExtender アイコン  が表示されます。



「状況」タブには、以下の情報が表示されます。

### 「状況」タブのフィールドの説明

フィールド	説明
サーバ	NetExtender クライアントが接続しているサーバの名前
クライアント IP	NetExtender クライアントに設定された IP アドレス
送信	NetExtender クライアントが最初の接続以降に送信したトラフィック量
受信	NetExtender クライアントが最初の接続以降に受信したトラフィック量
スループット	現在の NetExtender のスループット

① **ヒント** : このウィンドウを閉じる (ウィンドウ右上隅の X アイコンを選択する) 操作を行っても NetExtender セッションは終了せず、最小化されてシステムトレイに格納されるだけです。

20 NetExtender を切断するには、「切断」をクリックします。

## インターネットエクスプローラブラウザによる NetExtender のインストール

Secure Mobile Access NetExtender は、Microsoft Windows 7 の 32 ビット版および 64 ビット版に完全に適合しており、その他の Windows オペレーティングシステムの場合と同じ機能をサポートしています。また、NetExtender は、Mac OS X Lion 10.7 にも対応しています。

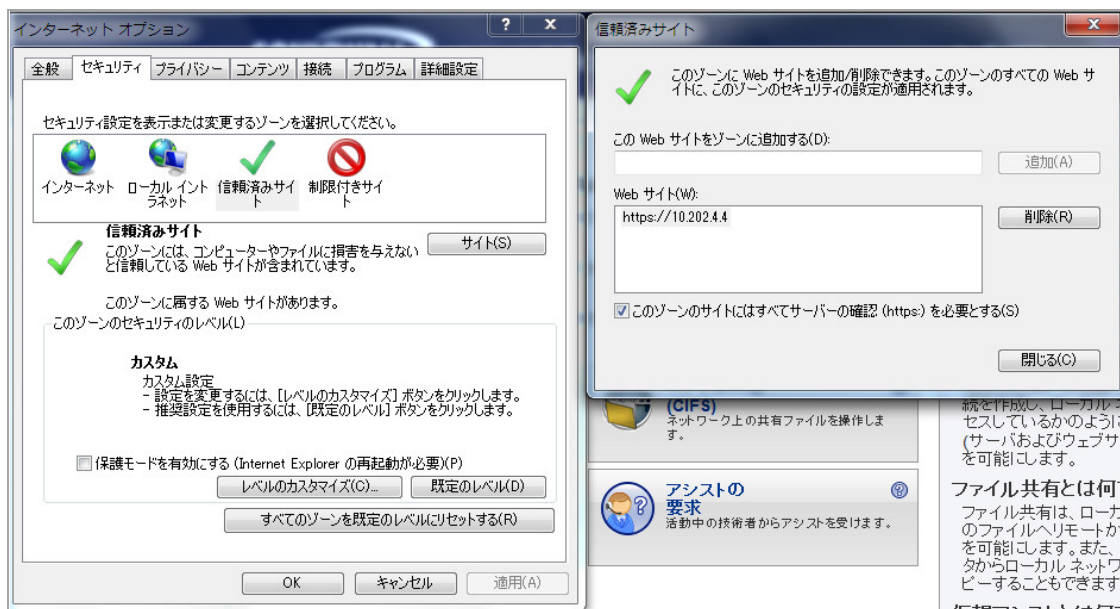
① **メモ** : Windows 7 に NetExtender をインストールする場合は、コンピュータの再起動が必要になることがあります。

## Internet Explorer の前提条件

Internet Explorer の信頼済みサイトの一覧に SMA/SRA サーバの URL またはドメイン名を追加することをお勧めします。これで、セキュリティに関する警告が表示される回数が減るので、NetExtender をインストールしてログインする手順が簡単になります。

## Internet Explorer の信頼済みサイトの一覧にサイトを追加するには:

- 1 Internet Explorer の「ツール> インターネット オプション」を選択します。
- 2 「セキュリティ」タブを選択します。
- 3 「信頼済みサイト」を選択し、「サイト」をクリックして「信頼済みサイト」ウィンドウを開きます。



- 4 SMA/SRA サーバの URL またはドメイン名を「この Web サイトをゾーンに追加する」フィールドに入力し、「追加」を選択します。
- 5 「信頼済みサイト」ウィンドウと「インターネット オプション」ウィンドウで「OK」を選択します。

## Internet Explorer からの NetExtender のインストール

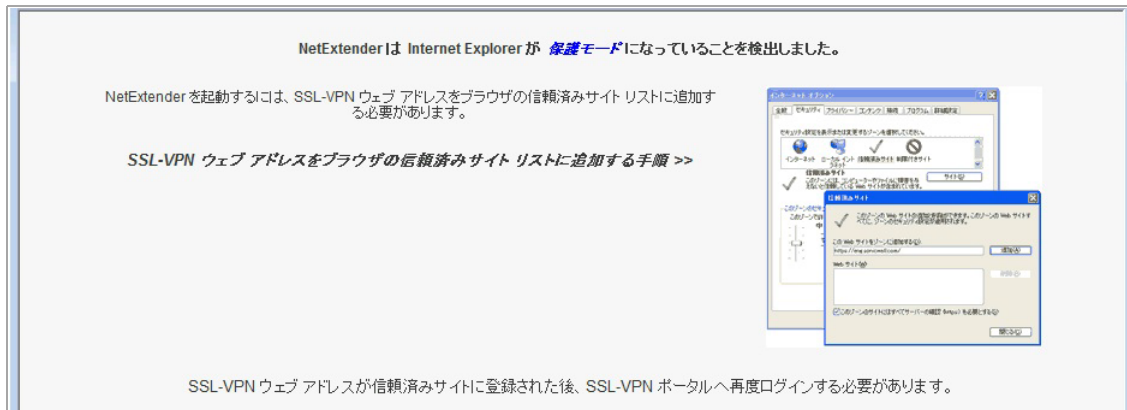
### Internet Explorer ブラウザを用いて NetExtender を初めてインストールして起動するには:

- 1 Secure Mobile Access 仮想オフィス ポータルにログインします。
- 2 「NetExtender」をクリックします。



- 3 「ユーザ アカウント制御」ウィンドウが表示され、「次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?」と確認されることがあります。「はい」を選択します。

- 4 NetExtender を初めて起動するときは、まず Secure Mobile Access ポータルを信頼済みサイトの一覧に追加する必要があります。この設定をまだ行っていない場合は、次のメッセージが表示されます。

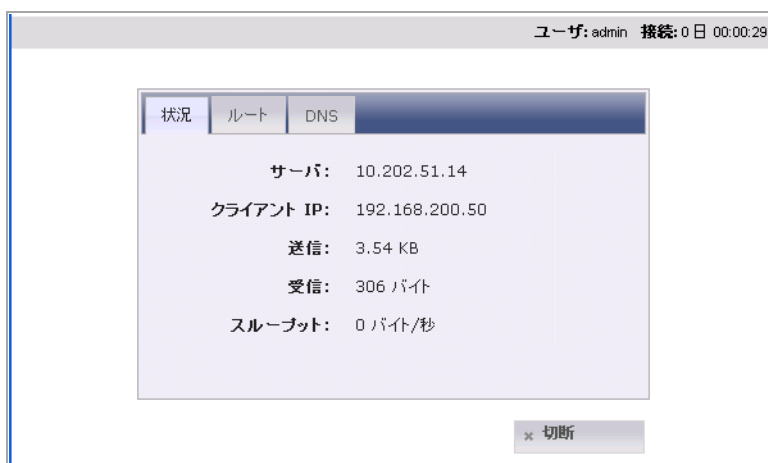


- 5 仮想オフィスを信頼されたサイトに追加する方法の詳細については、[Internet Explorer の前提条件 \(38 ページ\)](#) を参照してください。
- 6 Secure Mobile Access ポータルに戻り、「NetExtender」をクリックします。NetExtender スタンドアロン アプリケーションがコンピュータに自動的にインストールされます。NetExtender インストーラが開きます。



コンピュータに以前のバージョンの NetExtender がインストールされている場合は、以前のバージョンが削除されてから新しいバージョンがインストールされます。

- 7 NetExtender のインストールが完了すると、「NetExtender 状況」ウィンドウが表示され、NetExtender の接続が正常に確立されたことが示されます。



この「NetExtender 状況」ウィンドウに表示される情報については、[Mozilla Firefox ブラウザによる NetExtender のインストール \(36 ページ\)](#) の「状況」タブのフィールドの説明表を参照してください。



# Chrome ブラウザを使用した NetExtender のインストール

Chrome ブラウザを用いて NetExtender を初めてインストールして起動するには:

- 1 Secure Mobile Access 仮想オフィス ポータルにログインします。
- 2 「NetExtender」をクリックします。



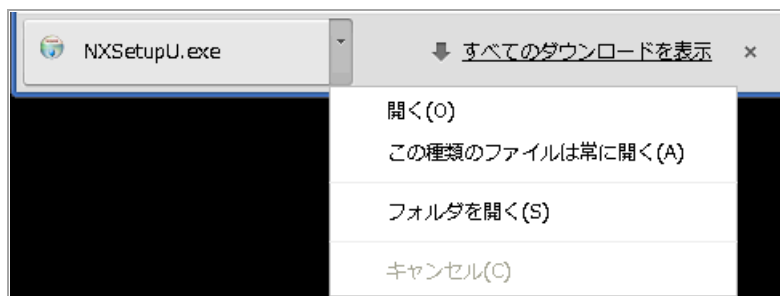
- 3 「クライアントのダウンロード」ウィンドウが現れ、NetExtender クライアントのダウンロードとインストールの手順が表示されます。その手順は次のとおりです。

クライアントは自動的にダウンロードされます。ダウンロードが自動的に開始されない場合は、プラットフォームを選択して手動でダウンロードします。

ダウンロード後にクライアントをインストールするには、アプリケーションを実行し、インストーラの説明に従います。




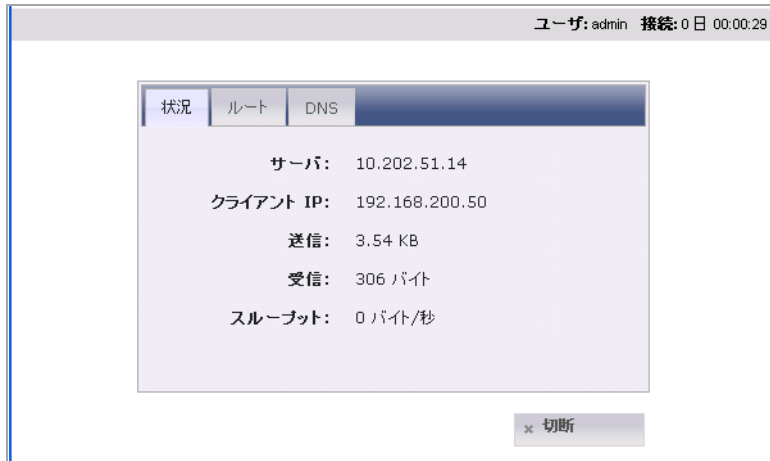
- 4 自動ダウンロードにより、ウィンドウの下部に NXSetupU.exe ファイルが表示されます。小さい矢印をクリックして、利用できる操作を表示します。



- 5 「開く」を選択して NetExtender インストーラを起動するか、または「フォルダを開く」を選択して Downloads フォルダのファイルを表示します。「フォルダを開く」を選択した場合は、そこにある NXSetupU.exe をダブルクリックしてインストーラを実行します。

- 6 「ユーザ アカウント制御」ダイアログが表示されます。"次のプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか?" という質問に、「はい」を選択します。
- 7 SonicWall NetExtender セットアップ ウィザードが起動されます。「ようこそ」画面で、セットアップを開始する前に他のすべてのアプリケーションを閉じて、インストール後にコンピュータを再起動する必要性をなくすことが推奨されます。これはオプションです。最初にすべてのアプリケーションを閉じない場合、システムの再起動が必要になる場合も、ならない場合もあります。準備ができれば、「次へ」をクリックします。
- 8 「ライセンス規約」画面で、規約を読み、「**ライセンス規約に同意する**」を選択して、「次へ」をクリックします。
- 9 「インストール場所の選択」画面で、必要に応じて、「参照」を使用して「**インストール先フォルダ**」フィールドを変更します。「次へ」ボタンを選択します。
- 10 「ショートカット」画面では、次のショートカット オプションが既定で選択されています。
  - スタート メニューにショートカットを作成する
  - クイック起動バーにショートカットを作成する
  - デスクトップにショートカットを作成する
- 11 必要のないショートカット オプションがあれば、対応するチェック ボックスをオフにします。
- 12 「**インストール**」をクリックします。
- 13 「Windows セキュリティ」ダイアログ ボックスに "このデバイス ソフトウェアをインストールしますか?" と表示されたら、「**インストール**」をクリックします。
- 14 「SonicWall NetExtender セットアップ ウィザードの完了」画面で、「**SonicWall NetExtender の実行**」チェック ボックスをオンのままにして NetExtender をすぐに起動するか、またはチェック ボックスをオフにして、NetExtender を起動せずにインストールを完了します。
- 15 「**完了**」をクリックします。
- 16 NetExtender が起動されたら、SMA/SRA 装置の IP アドレスまたは FQDN を「**サーバ**」フィールドに入力します。これは、ポータル ページにアクセスして NetExtender をダウンロードするとき、ブラウザでアクセスするサーバと同一です。
- 17 「**ユーザ名**」フィールドにユーザ名を入力します。
- 18 「**パスワード**」フィールドにパスワードを入力します。
- 19 「**ドメイン**」フィールドにドメインを入力します。これは、ブラウザでポータルにアクセスするとき、ログイン ページの「**ドメイン**」フィールドに表示されるドメインと同一です。
- 20 「**接続**」を選択します。NetExtender は数秒でサーバに接続し、資格情報を確認します。

NetExtender の状況を示すウィンドウが表示され、NetExtender の接続が正常に確立されたことが示されます。タスク バーに NetExtender アイコン  が表示されます。



「状況」タブには、以下の情報が表示されます。

### 「状況」タブのフィールドの説明

フィールド	説明
サーバ	NetExtender クライアントが接続しているサーバの名前
クライアント IP	NetExtender クライアントに設定された IP アドレス
送信	NetExtender クライアントが最初の接続以降に送信したトラフィック量
受信	NetExtender クライアントが最初の接続以降に受信したトラフィック量
スループット	現在の NetExtender のスループット

① **ヒント** : このウィンドウを閉じる (ウィンドウ右上隅の X アイコンを選択する) 操作を行っても NetExtender セッションは終了せず、最小化されてシステムトレイに格納されるだけです。

## NetExtender をコンピュータから直接起動する

NetExtender に初めてアクセスしてインストールを済ませた後は、最初に Secure Mobile Access ポータルに入らなくてもコンピュータから直接 NetExtender を起動することができます。

### NetExtender を起動するには:

- 1 「スタート > すべてのプログラム」を選択します。
- 2 「SonicWall NetExtender」フォルダを選択し、「SonicWall NetExtender」を選択します。NetExtender のログイン ウィンドウが表示されます。

- 3 前回接続した SMA/SRA サーバの IP アドレスが「サーバ」フィールドに表示されています。最近接続した SMA/SRA サーバの一覧を表示するには、矢印を選択します。

サーバ: 10.202.51.14  
ユーザ名: u1  
パスワード:  
ドメイン: testDomain  
接続  
ユーザ名とパスワードを保存 サーバが許可する場合  
ユーザ名のみ保存 サーバが許可する場合  
常にユーザ名とパスワードを入力

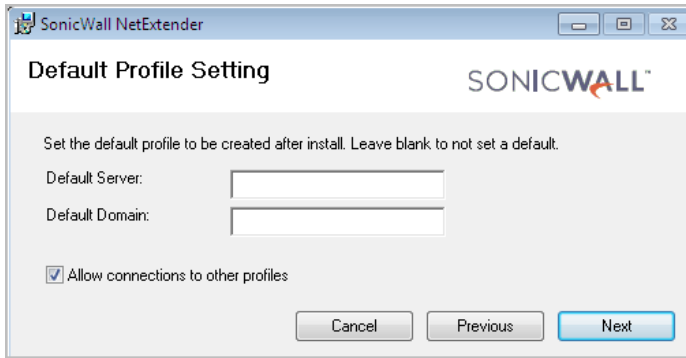
- 4 ユーザ名とパスワードを入力します。
- 5 前回接続したドメインが「ドメイン」フィールドに表示されます。
- ① **メモ**：指定されているドメインが無効で接続できない場合は、エラーメッセージが表示されます。ドメイン名は大文字と小文字が区別されることに注意してください。
- 6 ウィンドウ下部のドロップダウンメニューには、ユーザ名とパスワードの保存に関する次の3つのオプションがあります。
- ユーザ名とパスワードを保存 サーバが許可する場合
  - ユーザ名のみ保存 サーバが許可する場合
  - 常にユーザ名とパスワードを入力
- ① **ヒント**：ユーザ名とパスワードを NetExtender で保存する設定はセキュリティリスクとなるおそれがあるので、他人が自分のコンピュータを使用してネットワーク上の機密情報にアクセスする可能性がある場合は、使用しないでください。

## Microsoft インストーラによる NetExtender インストール時のサーバおよびドメインフィールドの事前設定

Microsoft インストーラ (MSI) による NetExtender のインストールで、デフォルト プロファイル設定をインストール プロセスで使用できるようになりました。デフォルト サーバとデフォルト ドメインに加え、サーバおよびドメインフィールドの編集を標準ユーザに許可するかどうかを制御するその他のオプションを、事前に設定しておくことができます。これは、インストール プロセスにおいてデフォルトのサーバとドメインを事前に設定しておきたい管理者用の機能です。

**Microsoft インストーラによる NetExtender のインストール時に、デフォルトのサーバとドメインを設定するには:**

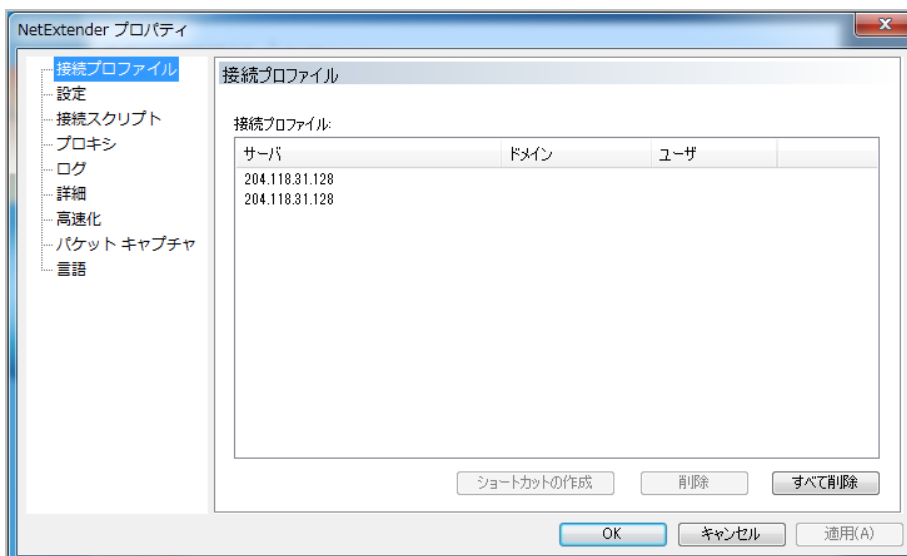
- 1 「デフォルト プロファイル設定」ページで、「デフォルト サーバ」のフィールドに IP アドレス、「デフォルト ドメイン」のフィールドにドメインを入力します。



- 2 ユーザが他のプロファイルに接続できないようにするには、「他のプロファイルへの接続を許可する」をオフにします。この設定により、NetExtender のログイン ページで「サーバ」と「ドメイン」のフィールドを編集することはできなくなります。



- 3 その接続を許可する場合は、このオプションをオンにします。このオプションがオフの場合、ユーザは NetExtender のプロパティ ページでプロファイルを追加または削除することはできません。



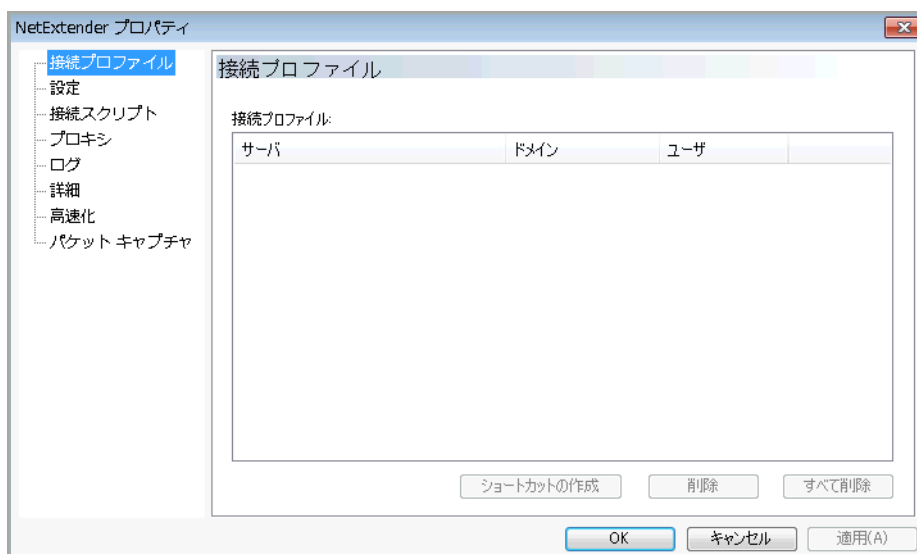
# NetExtender プロパティの設定

NetExtender プロパティを設定するには:

- 1 システムトレイ内のアイコン  を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「NetExtender プロパティ」ウィンドウが表示されます。

## 「接続プロファイル」タブ

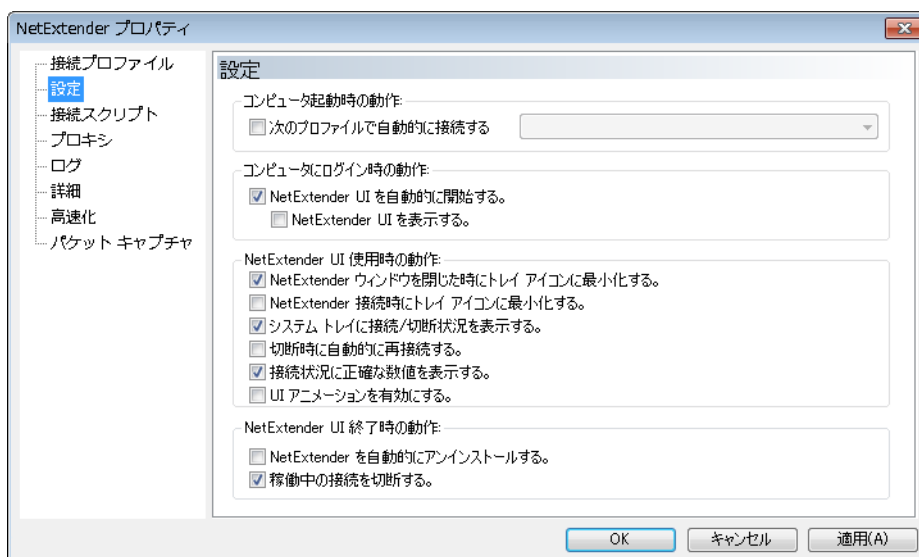
「接続プロファイル」タブに、これまで使用した Secure Mobile Access 接続のプロファイル (SMA/SRA サーバの IP アドレス、ドメイン、ユーザ名など) が表示されます。



- 2 デスクトップ上に、指定したプロファイルで NetExtender を起動するショートカットを作成するには、プロファイルを強調表示して「ショートカットの作成」を選択します。
- 3 特定のプロファイルを削除するには、強調表示にして「削除」を選択します。すべての接続プロファイルを削除するには、「すべて削除」を選択します。
- 4 「適用」ボタンを選択して変更を保存します。

## 「設定」タブ

「設定」タブでは、NetExtender の動作をカスタマイズできます。




- 5 コンピュータの起動時に NetExtender が特定のプロファイルに接続されるようにするには、「**次のプロファイルで自動的に接続する**」チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストからプロファイルを選択します。
- 6 コンピュータへのログイン時に NetExtender が起動されるように設定するには、「**NetExtender UI を自動的に開始する**」チェックボックスをオンにします。この場合、起動された NetExtender はシステムトレイ内のアイコンとしてのみ表示されます。NetExtender のログイン ウィンドウを表示するには、「**NetExtender UI を表示する**」をオンにします。
- 7 NetExtender アイコンがシステムトレイに表示されるようにするには、「**NetExtender ウィンドウを閉じた時にトレイアイコンに最小化する**」チェックボックスをオンにします。このオプションがオフの場合、NetExtender UI にアクセスする手段は Windows のプログラム メニューのみとなります。
- 8 接続時に、NetExtender アイコンがシステムトレイに表示されるようにするには、「**NetExtender 接続時にトレイアイコンに最小化する**」チェックボックスをオンにします。
- 9 マウス ポインタを NetExtender アイコンの上に移動したときに接続/切断の情報がツール ヒントとして表示されるように設定するには、「**システムトレイに接続/切断状況を表示する**」チェックボックスをオンにします。
- 10 接続が途絶えたときに NetExtender が再接続を試行するように設定するには、「**切断時に自動的に再接続する**」チェックボックスをオンにします。
- 11 コンピュータがスリープまたはロック モードから復旧したときに NetExtender が再接続するように設定するには、「**コンピュータが復旧したときに自動的に再接続する**」チェックボックスをオンにします。
- 12 接続状況に厳密なバイト値を表示するには、「**接続状況に正確な数値を表示する**」チェックボックスをオンにします。
- 13 UI 内で動くアニメーションを有効にするには、「**UI アニメーションを有効にする**」をオンにします。
- 14 セッションを終了するたびに NetExtender がアンインストールされるように設定するには、「**NetExtender を自動的にアンインストールする**」チェックボックスをオンにします。

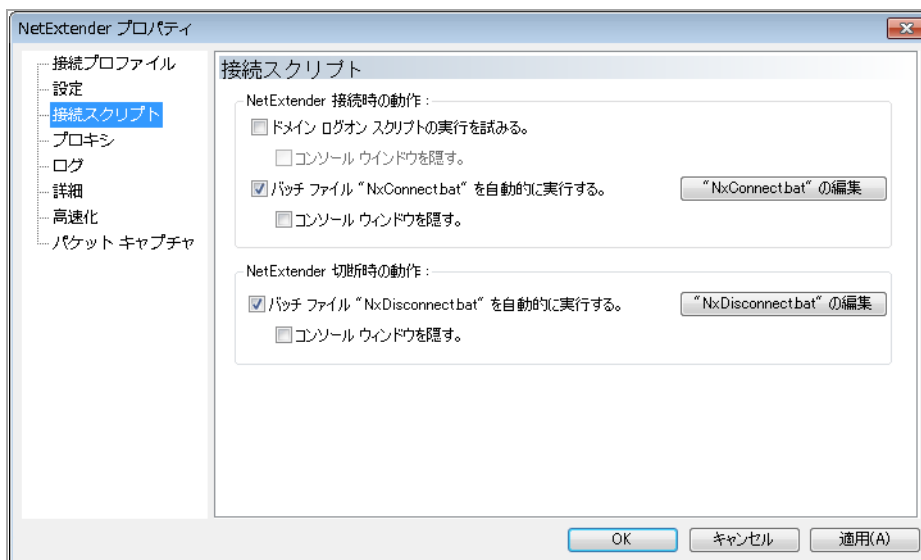
- 15 NetExtender セッションの終了時に NetExtender がすべての SSL VPN セッションからログアウトするように設定するには、「稼働中の接続を切断する」チェックボックスをオンにします。
- 16 NetExtender がシステムからアンインストールされたときにエンド ポイント制御エージェントもアンインストールするには、「EPC エージェントを自動的にアンインストールする」チェックボックスをオンにします。
- 17 「OK」を選択して変更を保存します。

## NetExtender の接続スクリプトの設定

Secure Mobile Access では、NetExtender の接続が確立されたときと切断されたときにバッチ ファイル スクリプトを実行する機能を提供しています。これらのスクリプトを使って、ネットワークドライブやプリンタのマッピングおよび切断、アプリケーションの起動、ファイルやウェブサイトの表示などを行うことができます。

**NetExtender の接続スクリプトを設定するには:**

- 1 タスクバー内のアイコン  を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「NetExtender の設定情報」ウィンドウが表示されます。
- 2 「接続スクリプト」を選択します。



- 3 ドメイン ログイン スクリプトを有効にするには、「ドメイン ログオン スクリプトの実行を試みる」チェックボックスをオンにします。このオプションがオンの場合、NetExtender はドメイン コントローラとの通信を行ってログイン スクリプトの実行を試みます。オプションで、「コンソール ウィンドウを隠す」をオンにすることもできます。このチェックボックスをオンにしないと、スクリプトの実行中に DOS コンソール ウィンドウが開いたままになります。

**① メモ:** この機能を有効にすると、リモート クライアントのプリンタとドライブのマッピングに要する時間のために接続の確立が遅くなる場合があります。NetExtender ルート経由で、ドメイン コントローラおよびログイン スクリプトで使われるすべてのコンピュータにアクセスできることを確認してください。

- 4 NetExtender の接続確立時に実行されるスクリプトを有効にするには、「バッチ ファイル "NxConnect.bat" を自動的に実行する」チェックボックスをオンにします。オプションで、「コ



ンソール ウィンドウを隠す」をオンにすることもできます。このチェックボックスをオンにしないと、スクリプトの実行中に DOS コンソール ウィンドウが開いたままになります。

- 5 NetExtender の切断時に実行されるスクリプトを有効にするには、「**バッチ ファイル "NxDisconnect.bat" を自動的に実行する**」をオンにします。
- 6 「**適用**」ボタンを選択して変更を保存します。

## バッチ ファイル コマンドの設定

NetExtender の接続スクリプトでは任意の有効なバッチ ファイル コマンドを使用できます。バッチ ファイルの詳細については、Wikipedia の項目<http://en.wikipedia.org/wiki/.bat> を参照してください。以下では、頻繁に使われるバッチ ファイル コマンドを紹介します。

- 1 NetExtender の接続確立時に実行されるスクリプトを設定するには、「**"NxConnect.bat" の編集**」を選択します。NxConnect.bat ファイルが表示されます。
- 2 NetExtender の切断時に実行されるスクリプトを設定するには、「**"NxDisconnect.bat" の編集**」を選択します。NxConnect.bat ファイルが表示されます。
- 3 既定の NxConnect.bat ファイルには設定可能なコマンドの例が記載されていますが、実際のコマンドは含まれていません。コマンドを追加するときは、ファイルの一番最後までスクロールしてください。

- 4 ネットワークドライブをマッピングするには、次の形式のコマンドを入力します。

```
net use drive-letter\\server\share password /user:Domain\name
```

たとえば、ドライブ文字が Z で、サーバ名が engineering、共有が docs、パスワードが 1234、ユーザのドメインが eng、ユーザ名が admin なら、コマンドは次のようになります。

```
net use z:\\engineering\docs 1234 /user:eng\admin
```

- 5 ネットワークドライブを切断するには、次の形式のコマンドを入力します。

```
net use drive-letter: /delete
```

たとえば、ネットワークドライブ Z を切断するには、次のコマンドを入力します。

```
net use z: /delete
```

- 6 ネットワーク プリンタをマッピングするには、次の形式のコマンドを入力します。

```
net use LPT1 \\ServerName\PrinterName /user:Domain\name
```

たとえば、サーバ名が engineering で、プリンタ名が color-print1、ドメイン名が eng、ユーザ名が admin のとき、コマンドは次のようになります。

```
net use LPT1 \\engineering\color-print1 /user:eng\admin
```

- 7 ネットワーク プリンタを切断するには、次の形式のコマンドを入力します。

```
net use LPT1 /delete
```

- 8 アプリケーションを起動するには、次の形式のコマンドを入力します。

```
C:\Path-to-Application\Application.exe
```

- 9 たとえば、Microsoft アウトルックを起動するには、次のコマンドを入力します。

```
C:\Program Files\Microsoft Office\OFFICE11\outlook.exe
```

- 10 既定のブラウザでウェブサイトを開くには、次の形式のコマンドを入力します。

```
start http://www.website.com
```

11 コンピュータ上のファイルを開くには、次の形式のコマンドを入力します。


C:\Path-to-file\myFile.doc

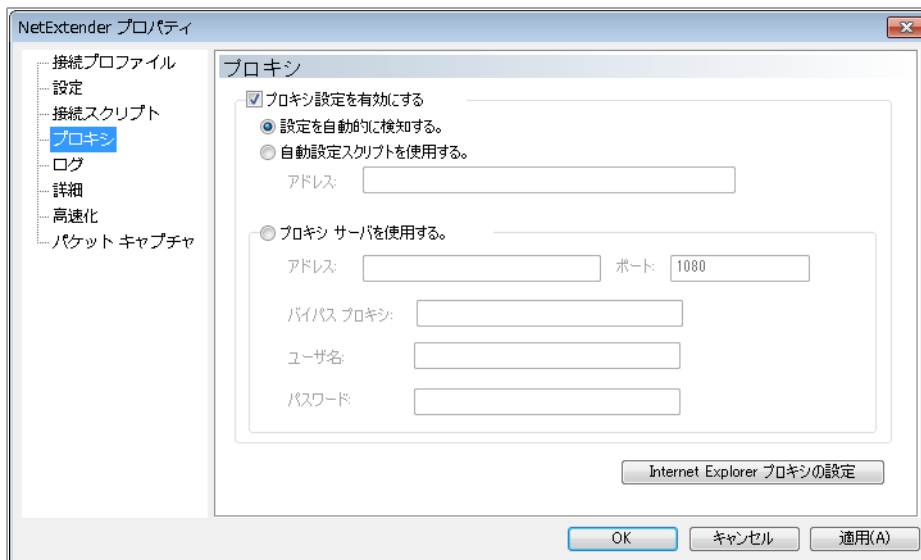
12 スクリプトの編集が完了したら、ファイルを保存して閉じます。

## プロキシの設定

Secure Mobile Access では、プロキシ設定を使用する NetExtender セッションがサポートされています。現在サポートされているのは、HTTPS プロキシのみです。NetExtender をウェブ ポータルから起動する場合、プロキシ アクセスを行うようにブラウザが既に設定されているときは、NetExtender が自動的にそのプロキシ設定を継承します。

### NetExtender プロキシ設定を手動で構成するには:

- 1 タスクバー内のアイコン  を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「NetExtender の設定情報」ウィンドウが表示されます。
- 2 「プロキシ」を選択します。



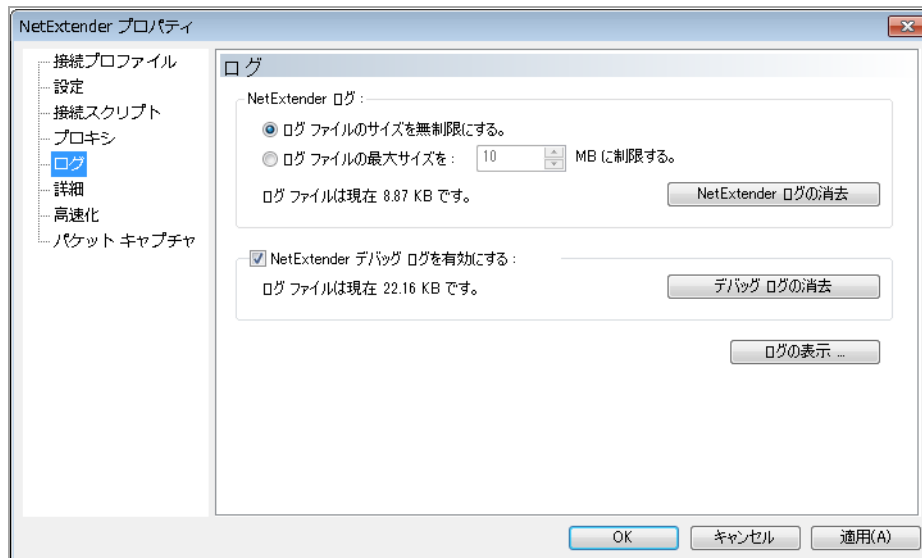
- 3 「プロキシ設定を有効にする」をオンにします。
- 4 NetExtender には、次の 3 つのプロキシ設定オプションが用意されています。
  - **設定を自動的に検知する** - この設定を使用するには、プロキシ サーバが、クライアントにプロキシ設定スクリプトを自動的にプッシュできる Web Proxy Auto Discovery Protocol (WPAD) をサポートしている必要があります。
  - **自動設定スクリプトを使用する** - プロキシ設定スクリプトの場所がわかっている場合は、このオプションを選択し、スクリプトの URL を「アドレス」フィールドに入力します。
  - **プロキシ サーバを使用する** - このオプションを選択した場合は、使用するプロキシ サーバのアドレスとポートをそれぞれのフィールドに入力します。また、「バイパス プロキシ」フィールドに IP アドレスまたはドメインを入力することで、プロキシ サーバをバイパスするそれらのアドレスに直接接続できます。必要に応じて、プロキシ サーバ用のユーザー名とパスワードも入力できます。プロキシ サーバがユーザー名とパスワードを必要としているにもかかわらず、「プロパティ」ウィンドウにそれらを入力しない場合は、

初回の接続時に、ユーザ名とパスワードの入力を要求する NetExtender のポップアップウィンドウが表示されます。

- 5 「Internet Explorer プロキシの設定」をクリックし、Internet Explorer のプロキシ設定を表示します。
- 6 「適用」ボタンを選択して変更を保存します。

## NetExtender ログのプロパティの設定

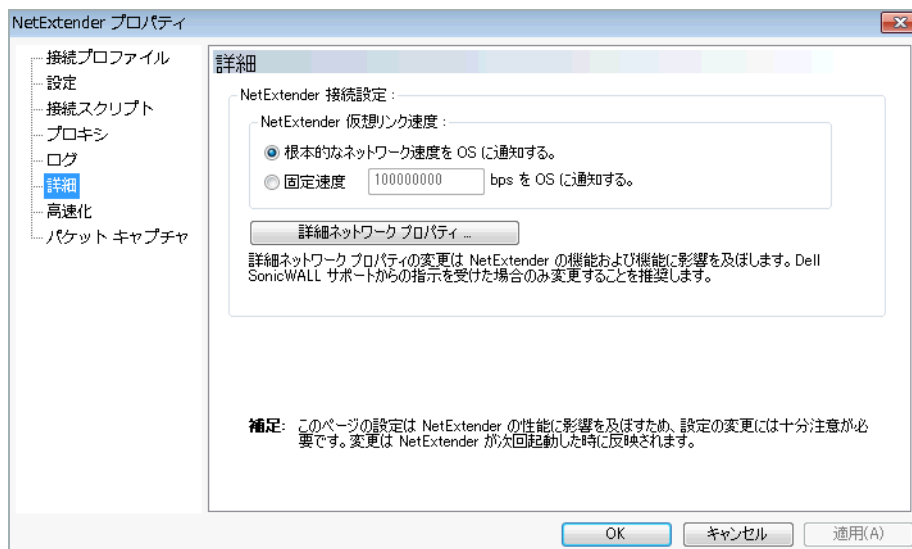
「NetExtender プロパティ」ダイアログボックスで、左パネルのメニューの「ログ」を選択します。用意されているオプションによって、NetExtender ログとデバッグ ログに対して基本的な制御が行えます。



- 1 NetExtender ログのサイズを設定するには、「ログ ファイルのサイズを無制限にする」または「ログ ファイルの最大サイズを:」を選択します。最大サイズを設定する場合は、上向きまたは下向き矢印を使用してください。NetExtender ログを消去するには、「NetExtender ログの消去」を選択します。
- 2 NetExtender デバッグ ログを有効にするには、対応するチェックボックスをオンにします。デバッグ ログを消去するには、「デバッグ ログの消去」を選択します。
- 3 現在の NetExtender ログを表示するには、「ログの表示...」を選択します。
- 4 「適用」ボタンを選択して変更を保存します。

## NetExtender の詳細プロパティの設定

「NetExtender プロパティ」ダイアログボックスで、左パネルのメニューの「詳細」を選択します。用意されているオプションによって、NetExtender ネットワークのプロパティとプロトコルに関する詳細設定を調整できます。



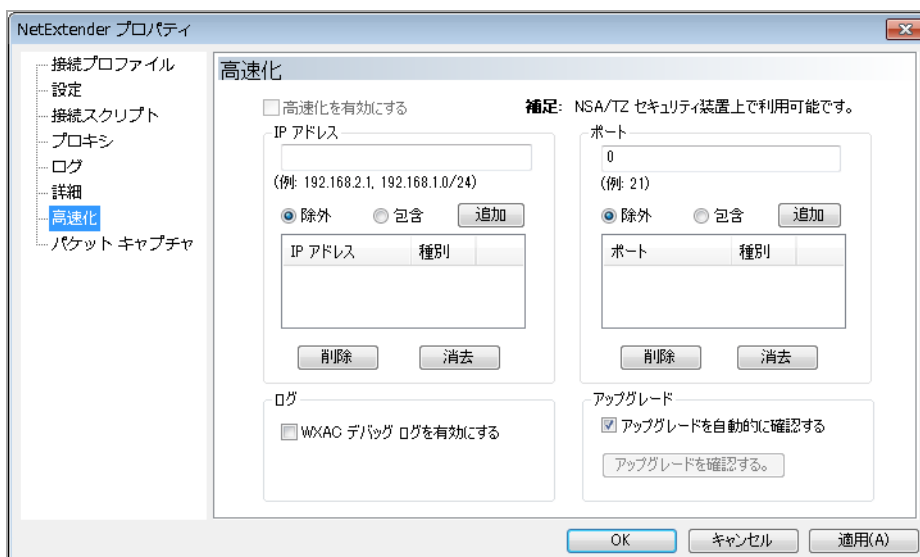
NetExtender では、NetExtender アダプタがオペレーティング システムに報告するリンク速度をカスタマイズできます。

- 1 報告する仮想リンク速度を選択するには、「**根本的なネットワーク速度を OS に通知する**」を選択するか、「**固定速度**」を選択して速度を指定します。

**① メモ：**「詳細ネットワークプロパティ...」を選択すると、プロパティを調整できます。ただし、これらの設定を変更すると、NetExtender のパフォーマンスや機能に影響することがあります。これらのプロパティの変更は、SonicWall サポートから指示がない限り、行わないでください。

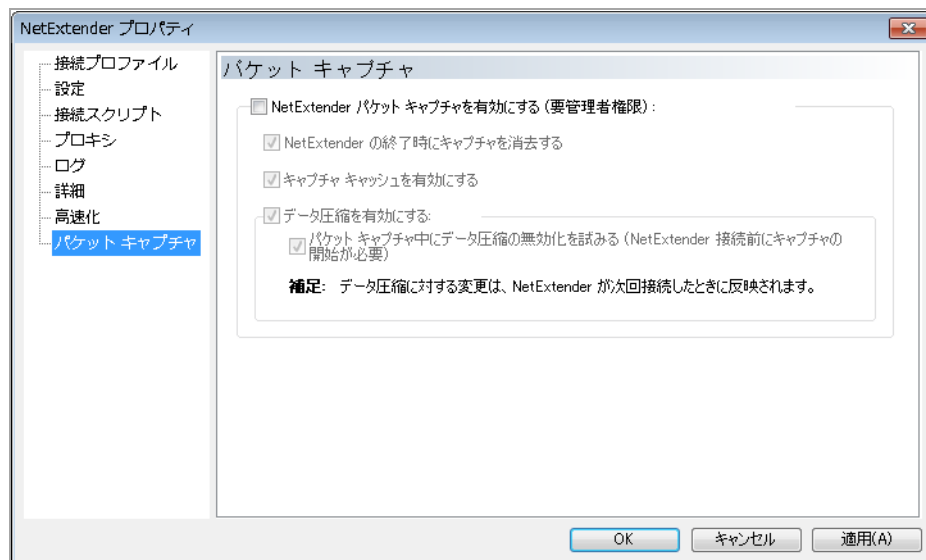
- 2 「OK」を選択して変更を保存します。

## NetExtender 高速化プロパティの設定



# NetExtender パケット キャプチャのプロパティの設定

「NetExtender プロパティ」ダイアログ ボックス内で、左パネルのメニューの「パケット キャプチャ」を選択します。用意されているオプションによって、NetExtender でのパケット キャプチャとデータ圧縮を有効および無効にできます。



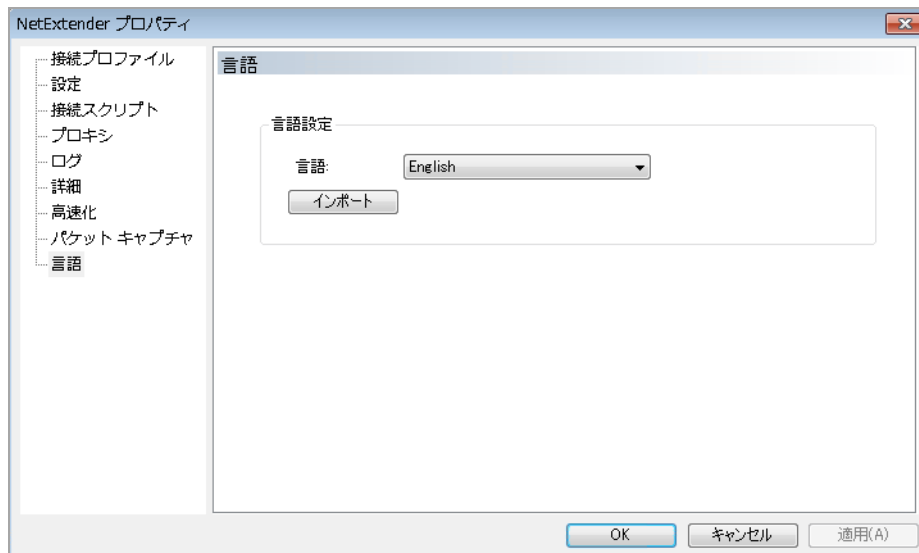
❶ | **メモ:** パケット キャプチャの設定を変更するには、管理者権限が必要です。

パケット キャプチャを設定するには、以下の手順を実行します。

- 1 パケット キャプチャを有効にするには、「NetExtender パケット キャプチャを有効にする (要管理者権限)」をオンにします。
- 2 パケット キャプチャが有効になっている場合、「NetExtender の終了時にキャプチャを消去する」をオンにすると、NetExtender の終了時に、キャプチャしたすべてのパケット データが消去されます。パケット キャプチャを無効にするには、このチェックボックスをオフにします。
- 3 パケット キャプチャが有効になっている場合、「NetExtender の終了時にキャプチャを消去する」をオンにすると、NetExtender の終了時に、キャプチャしたすべてのパケット データが消去されます。パケット データを残すには、このチェックボックスをオフにします。
- 4 キャプチャしたパケットのデータ圧縮を有効にするには、「データ圧縮を有効にする」をオンにします。次の NetExtender 接続時にデータ圧縮を無効にするには、このチェックボックスをオフにします。NetExtender の接続時にパケット キャプチャが有効になっていて、すぐに (次の NetExtender 接続まで待たずに) データ圧縮を無効にしたい場合は、「パケット キャプチャ中にデータ圧縮の無効化を試みる」をオンにします。
- 5 「適用」ボタンを選択して変更を保存します。

## 言語プロパティの設定

「NetExtender Properties」ダイアログ ボックスで、左パネルのメニューの「Language」を選択します。表示されるオプションを使用して、言語設定を選択したり、その他の言語パックを NetExtender にインポートしたりできます。

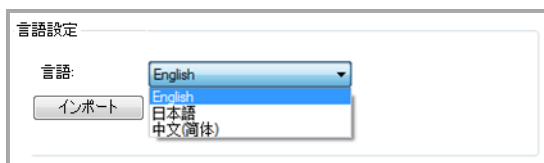


**言語プロパティを設定するには、以下の手順を実行します。**

- 1 「言語」ドロップダウン リストを使用して、NetExtender で利用可能な言語を選択できます。既定の言語は英語です。ドロップダウン リストから言語を選択したら、「OK」を選択します。新しい言語を適用するため、NetExtender を再起動します。
- 2 「インポート」を使用して、新しい言語パックを NetExtender にアップロードできます。「インポート」を選択します。インポートする言語パックを選択します。「開く」を選択します。

① | **メモ**：言語パックは .ZIP 形式でなければなりません。

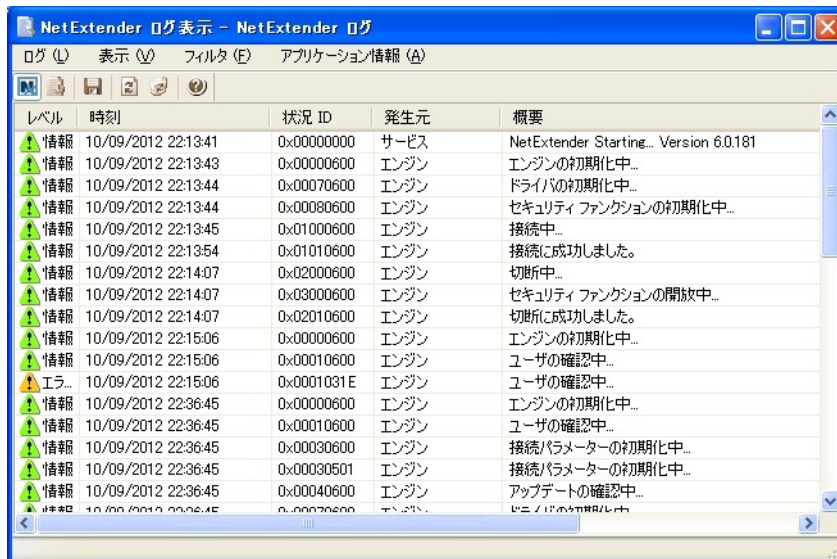
インポートされた言語が、「言語」ドロップダウン リストに表示されます。



- 3 「適用」ボタンを選択して変更を保存します。

## NetExtender ログの表示

NetExtender のログには、NetExtender セッションのイベントに関する情報が表示されます。ログは **NetExtender.dbg** という名前のファイルに記録されます。このファイルが保存されているディレクトリは、C:\Program Files\SonicWall\SSL VPN\NetExtender です。NetExtender ログを表示するには、システムトレイ内の NetExtender アイコンを右クリックし、「**ログの表示**」を選択し、メインの状況ページにある「ログ」アイコンを選択します。



ログメッセージの詳細を表示するには、表示するログ エントリをダブルクリックするか、「表示 > ログの詳細」を選択して、「ログの詳細」ペインを開きます。

ログを保存するには、「エクスポート」アイコンを選択するか、または「ログ > エクスポート」を選択します。

ログにフィルタを適用して特定期間のエントリのみを表示するには、「フィルタ」メニューで表示対象とする期間を選択します。

ログにフィルタを適用して特定タイプのエントリのみを表示するには、「フィルタ > レベル」を選択し、いずれかのレベルの種別を選択します。選択可能な種別は、重大度の高いものから順に「致命的」、「エラー」、「警告」、「情報」です。重大度レベルを選択した場合、ログには、そのレベルに一致するすべてのエントリと、そのレベルより重大度が高いすべてのエントリが表示されます。たとえば、「エラー」のレベルを選択した場合は、「エラー」および「致命的」のすべてのエントリがログに表示されますが、「警告」または「情報」のエントリは表示されません。

デバッグ ログを表示するには、「デバッグ ログ」アイコンを選択するか、または「ログ > デバッグ ログ」を選択します。

**メモ**：デバッグ ログは読み込みに数分かかる場合があります。この読み込み中は、ログ ウィンドウを使用する操作は実行できません。ただし、デバッグ ログの読み込み中に別の新しいログ ウィンドウを開くことは可能です。

ログを消去するには、「ログ > ログの消去」を選択します。

## NetExtender の切断

**NetExtender を切断するには:**

- 1 システムトレイ内の NetExtender アイコンを右クリックして NetExtender アイコン メニューを表示し、「切断」を選択します。
- 2 数秒待ちます。NetExtender セッションが切断されます。

NetExtender アイコンをダブルクリックして「NetExtender」ウィンドウを開き、「切断」を選択して切断することもできます。

NetExtender が切断されると NetExtender ウィンドウが表示され、NetExtender を「再接続」するか「閉じる」かを選択できる状態になります。

# NetExtender のアップグレード

最新バージョンの NetExtender が利用可能になると、ユーザに自動的に通知されます。表示されるメッセージの指示に従って「OK」を選択すると、アップデートが SMA/SRA セキュリティ装置からダウンロードされてインストールされます。

## パスワードの変更

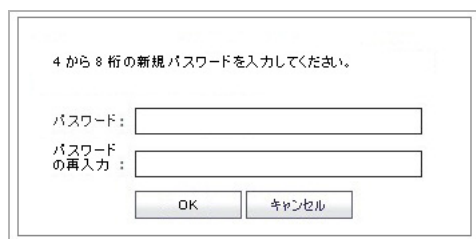
新しいバージョンの NetExtender に接続する前に、パスワードのリセットが要求される場合があります。パスワードをリセットするには、元のパスワードを入力し、新しいパスワードを入力して、確認のためにパスワードを再度入力します。

## 認証方式

NetExtender は、ワンタイムパスワード、RSA、Vasco など、さまざまな二段階認証方式をサポートしています。NetExtender を介した接続に必要な認証として、管理者がワンタイムパスワードを設定している場合は、接続する前に、ワンタイムパスワードを入力する必要があります。



NetExtender を介した接続に必要な認証として、管理者が RSA PIN モード認証を設定している場合は、ユーザは独自に PIN を生成するか、システムが生成した PIN を受け取るかを選択する必要があります。

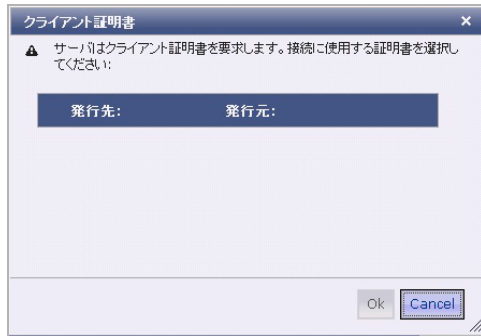


PIN が受け付けられると、新しいパスコードを使用して NetExtender にログインする前に、トークンが変更されるのを待つ必要があります。



管理者によって、SMA/SRA サーバがクライアント証明書を要求するように設定されていることがあります。その場合、ユーザは接続に使用するクライアント証明書を選択する必要があります。






## NetExtender のアンインストール

NetExtender ユーティリティはコンピュータに自動的にインストールされます。NetExtender を削除するには、「スタート > すべてのプログラム」を選択し、「SonicWall NetExtender」を選択して、「アンインストール」を選択します。

セッションの切断時に NetExtender を自動的にアンインストールするように設定することもできます。

**セッションの切断時に NetExtender を自動的にアンインストールするように設定するには:**

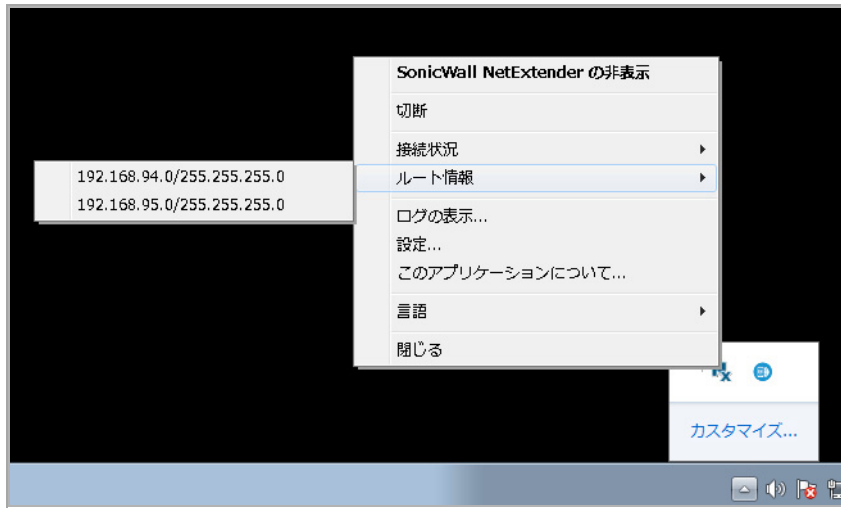
- 1 システムトレイ内の NetExtender アイコン  を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「NetExtender プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「設定」タブを選択します。
- 3 セッションを終了するたびに NetExtender がアンインストールされるように設定するには、「NetExtender を自動的にアンインストールする」チェックボックスをオンにします。
- 4 「適用」を選択します。

## システムトレイで NetExtender の動作を確認する

システムトレイに NetExtender のオプションを表示するには、システムトレイ内の NetExtender アイコンを右クリックします。以下では、システムトレイから実行可能なタスクの一部について説明します。

### ルート情報の表示

NetExtender がどのルートでシステムにインストールされたか表示するには、システムトレイメニューで「ルート情報」オプションを選択します。既定のルートと、それに関連付けられているサブネットマスクがシステムトレイメニューに表示されます。



## 接続情報の表示

システムトレイ内の NetExtender アイコンをマウスでポイントすると、接続情報が表示されます。



## NetExtender コマンド ライン インターフェースの使用

- ① **メモ** : NetExtender コマンド ライン インターフェースは、Windows プラットフォームでのみ使用できます。

### NetExtender CLI を起動するには:

- 1 「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」を選択します。次に、cmd と入力し、「OK」を選択して、Windows コマンド プロンプトを起動します。
- 2 NetExtender がインストールされているディレクトリに移動します。最初にルート ドライブに移動する必要があります。そのためには、`cd ..` コマンドを入力します。ルート ドライブに移動するまで、このコマンドを繰り返します。ルート ドライブに移動したら、`cd Program Files\SonicWall\SSL-VPN\NetExtender` と入力します。

- ① **メモ** : 指定するコマンド ディレクトリは、コンピュータによって異なる場合があります。NetExtender がインストールされているディレクトリパスは、Windows エクスプローラを使用して探してください。

次の**NetExtender CLI コマンドとオプション**表に、NetExtender CLI で使用できるコマンドとそのオプションの説明を示します。

## NetExtender CLI コマンドとオプション

コマンド	オプション	説明
NECLI addprofile		NetExtender プロファイルを作成します。
	<b>-s</b> <i>server</i>	SMA/SRA サーバの IP アドレスまたはホスト名。
	<b>-u</b> <i>user-name</i>	アカウントのユーザ名。
	<b>-p</b> <i>password</i>	アカウントのパスワード。
	<b>-d</b> <i>domain-name</i>	接続先のドメイン。
NECLI connect		NetExtender セッションを開始します。
	<b>-s</b> <i>server</i>	SMA/SRA サーバの IP アドレスまたはホスト名。
	<b>-u</b> <i>user-name</i>	アカウントのユーザ名。
	<b>-p</b> <i>password</i>	アカウントのパスワード。
	<b>-d</b> <i>domain-name</i>	接続先のドメイン。
	<b>- clientcertificatethumb thumb</b>	SSL クライアント証明書のフィンガープリント値。
	<b>- clientcertificatename name</b>	SSL クライアント証明書の名前。
NECLI deleteprofile		NetExtender プロファイルを削除します。
	<b>-s</b> <i>server</i>	SMA/SRA サーバの IP アドレスまたはホスト名。
	<b>-u</b> <i>user-name</i>	アカウントのユーザ名。
	<b>-d</b> <i>domain-name</i>	接続先のドメイン。
NECLI disconnect		切断します。
	<b>timeout</b>	(オプション) タイムアウトまでの待機時間。この時間を経過すると、セッションは切断されます。
NECLI displayprofile		すべての NetExtender プロファイルを表示します。
	<b>-s</b> <i>server</i>	(オプション) 指定のサーバ用に保存されたプロファイルのみを表示します。
	<b>-u</b> <i>user-name</i>	(オプション) 指定のユーザ名用に保存されたプロファイルのみを表示します。
	<b>-d</b> <i>domain-name</i>	(オプション) 指定のドメイン名用に保存されたプロファイルのみを表示します。
NECLI queryproxy		プロキシ サーバへの接続をチェックします。
NECLI reconnect		サーバへの再接続を試みます。
NECLI showstatus		現在の NetExtender セッションの状況を表示します。

## NetExtender CLI コマンドとオプション (続き)

コマンド	オプション	説明
NECLI setproxy		NetExtender のプロキシ設定を構成します。
	-t [0   1   2   3]	次の 3 つのプロキシ設定オプションが用意されています。 0 - プロキシを無効にします。 1 - プロキシ設定を自動的に検知します。プロキシサーバが Web Proxy Auto Discovery Protocol (WPAD) をサポートしている必要があります。 2 - プロキシ設定スクリプトを使用します。 3 - プロキシサーバを手動で設定します。
	-s proxy address	プロキシスクリプトまたはプロキシサーバのアドレス。
	-o port	ポート番号。
	-u user name	プロキシサーバのユーザ名。
	-p password	プロキシサーバのパスワード。
	-b bypass-proxy	これまでに設定されているプロキシ設定を適用しません。
	-save	プロキシ設定を保存します。
NECLI viewlog		NetExtender ログを表示します。

## Linux での NetExtender のインストール

Secure Mobile Access は、Linux 上で NetExtender をサポートしています。Linux システムで NetExtender を使用するには、システムが以下の条件を満たしていなければなりません。

- Linux の i386 互換ディストリビューション
- Linux Fedora Core 15 以降、Ubuntu 11 以降、または OpenSUSE 10.3 以降

**Linux システムに NetExtender をインストールするには:**

- 1 SonicWall 仮想オフィスにログインします。

- 「NetExtender」をクリックします。tgz ファイルを開こうとしていることを示すポップアップ ウィンドウが表示されます。「ファイルを保存」を選択し、ファイルを既定のダウンロード ディレクトリに保存します。



- ① **メモ** : NetExtender をインストールするには root としてログインしている必要があります。ただし、多くの Linux システムでは、root としてログインしていない場合でも、`sudo ./install` コマンドを使用してインストールを実行することが可能です。

- NetExtender を CLI からインストールするには、.tgz ファイルが保存されているディレクトリに移動して、`tar -zxf NetExtender.tgz` コマンドを入力します。

```

mk~/netExtenderClient - Shell - Konsole
[mk ~]$ tar -zxf NetExtender.tgz
[mk ~]$ cd netExtenderClient
[mk netExtenderClient]$ ./install
--- SonicWALL NetExtender 2.5.17 Installer ---
Please run the NetExtender installer as root.
On many systems, you can use the sudo command:

[mk netExtenderClient]$ sudo ./install
Password:
--- SonicWALL NetExtender 2.5.17 Installer ---
Checking library dependencies...
Checking pppd...
Copying files...

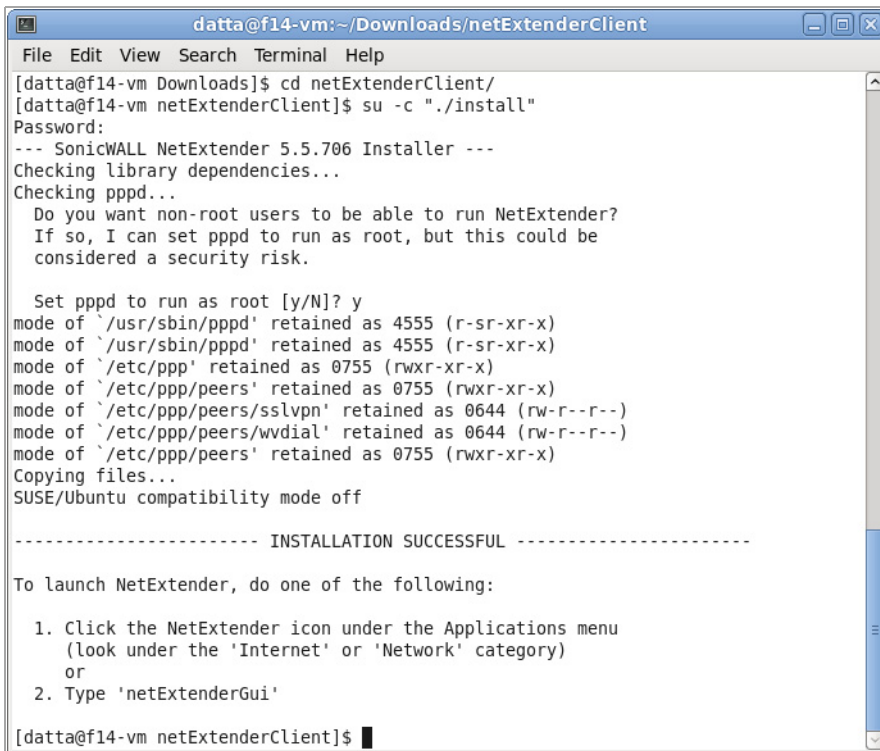
----- INSTALLATION SUCCESSFUL -----

Type 'netExtenderGui' to launch NetExtender.
Look in /usr/share/netExtender for a desktop shortcut and icon files.
[mk netExtenderClient]$

```

- `cd netExtenderClient/` コマンドを入力します。

- 5 su -C “ ./install” コマンドを入力して NetExtender をインストールします。



```
datta@f14-vm:~/Downloads/netExtenderClient
File Edit View Search Terminal Help
[datta@f14-vm Downloads]$ cd netExtenderClient/
[datta@f14-vm netExtenderClient]$ su -c "./install"
Password:
--- SonicWALL NetExtender 5.5.706 Installer ---
Checking library dependencies...
Checking pppd...
Do you want non-root users to be able to run NetExtender?
If so, I can set pppd to run as root, but this could be
considered a security risk.

Set pppd to run as root [y/N]? y
mode of `/usr/sbin/pppd' retained as 4555 (r-sr-xr-x)
mode of `/usr/sbin/pppd' retained as 4555 (r-sr-xr-x)
mode of `/etc/ppp' retained as 0755 (rwxr-xr-x)
mode of `/etc/ppp/peers' retained as 0755 (rwxr-xr-x)
mode of `/etc/ppp/peers/sslvpn' retained as 0644 (rw-r--r--)
mode of `/etc/ppp/peers/wvdial' retained as 0644 (rw-r--r--)
mode of `/etc/ppp/peers' retained as 0755 (rwxr-xr-x)
Copying files...
SUSE/Ubuntu compatibility mode off

----- INSTALLATION SUCCESSFUL -----

To launch NetExtender, do one of the following:

1. Click the NetExtender icon under the Applications menu
   (look under the 'Internet' or 'Network' category)
   or
2. Type 'netExtenderGui'

[datta@f14-vm netExtenderClient]$
```

- 6 システムのパスワードを入力します。
- 7 非 root ユーザに NetExtender の実行を許可するかどうかを確認するメッセージが表示されます。許可する場合は y、許可しない場合は n を入力します。

**① メモ**：非 root ユーザに NetExtender の実行を許可する場合、PPPD が root として実行されるように設定されます。これはセキュリティ上のリスクと判断されることがあります。

## Linux での NetExtender の使用

**Linux システムで NetExtender を使用するには:**

- 1 NetExtender のインストール後、NetExtender は 2 つの方法で起動できます。
  - 「アプリケーション」メニュー（「インターネット」または「ネットワーク」カテゴリ）内の NetExtender アイコンを選択します。
  - netExtenderGui コマンドを入力します。

- 2 初回の接続時には、SMA/SRA サーバの名前を「サーバ」フィールドに入力する必要があります。入力したサーバ名は保存されます。

Server: sslvpn.test.sonicwall.com ▼  
Username: admin  
Password: .....  
Domain: LocalDomain|

Connect

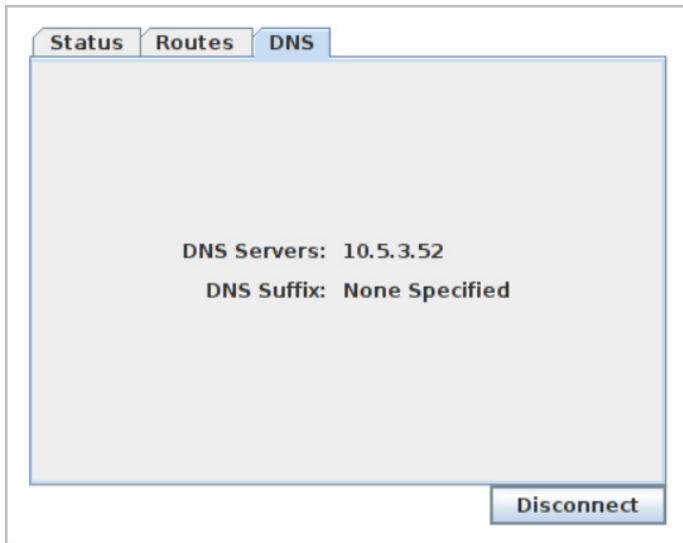
Save name and password (if allowed) ▼

- 3 ユーザ名とパスワードを入力します。
- 4 初回の接続時には、ドメイン名を「ドメイン」フィールドに入力する必要があります。ドメイン名は大文字と小文字が区別されます。入力したドメイン名は保存され、次回の接続時からは既に入力された状態で表示されます。
- 5 NetExtender のルートを表示するには、NetExtender のメイン ウィンドウで、「Routes」タブを選択します。

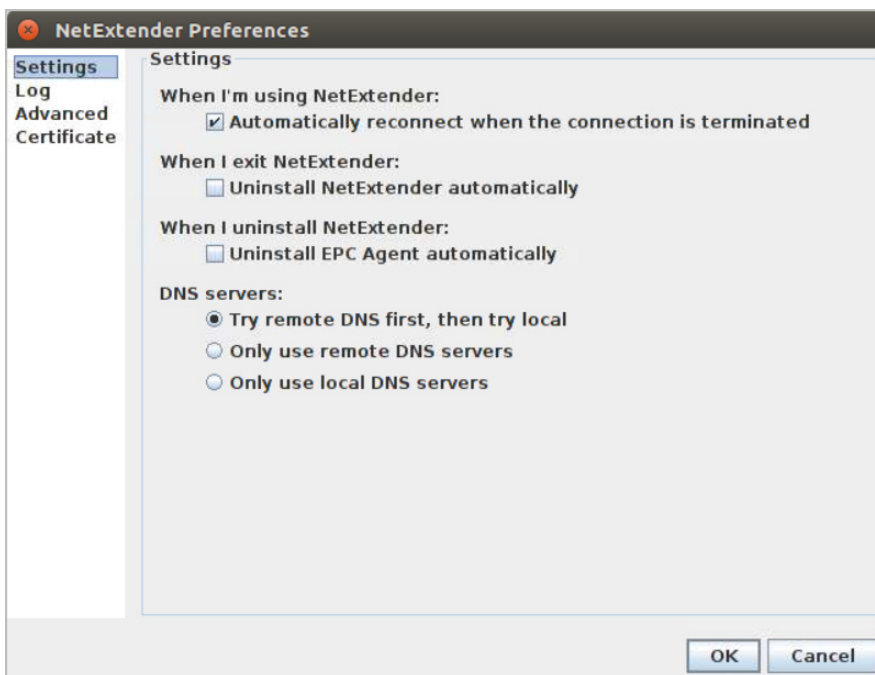
#	Destination	Netmask/Prefix
1	10.5.252.0	255.255.252.0
2	10.5.254.0	255.255.255.0

Disconnect

- 6 NetExtender の DNS サーバ情報を表示するには、NetExtender のメイン ウィンドウで、「DNS」タブを選択します。



- 7 NetExtender の設定を構成するには、「NetExtender > Preferences」を選択します。

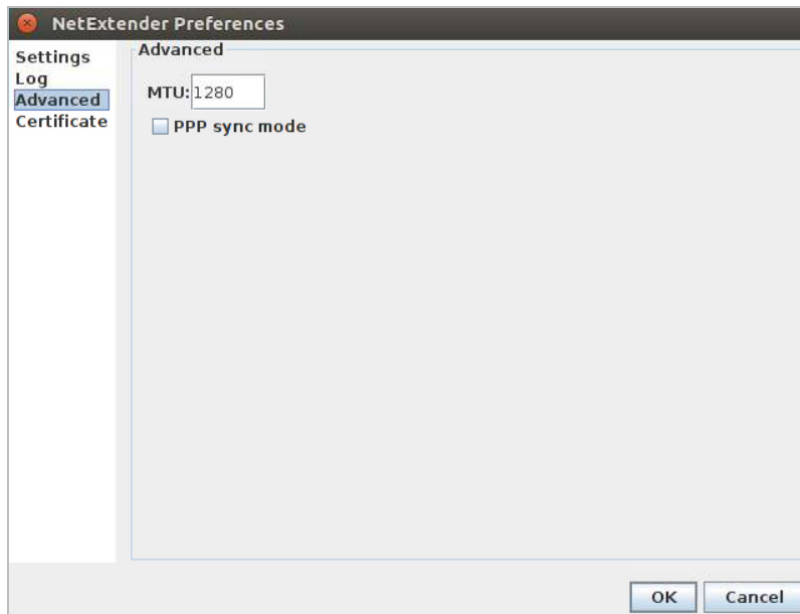


- 8 以下の設定を構成できます。
- 切断時に自動的に再接続する
  - アプリケーションの終了時に、NetExtender を自動的にアンインストールする
  - DNS サーバオプション
    - 最初にリモート DNS サーバを試行してから、ローカル DNS サーバを試行する
    - リモート DNS サーバのみを使用する
    - ローカル DNS サーバのみを使用する

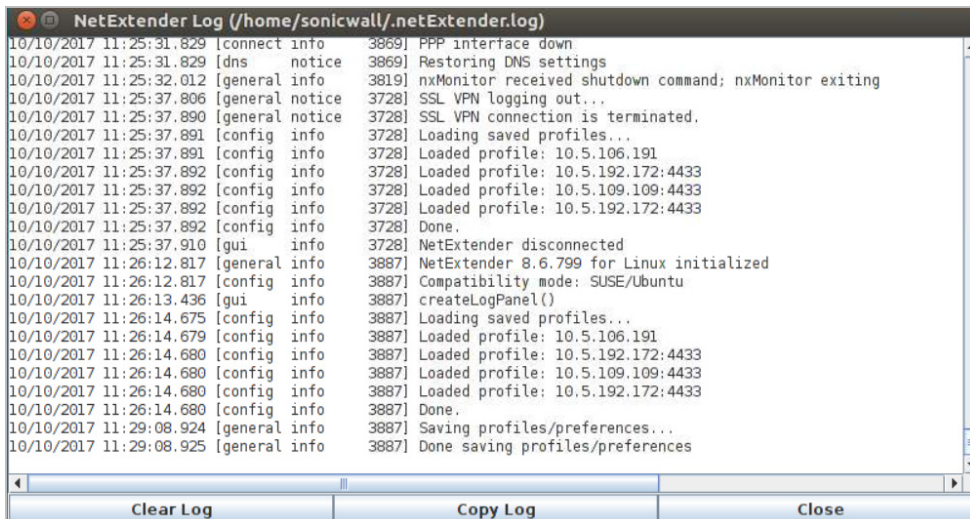


9 「NetExtender Preferences」ウィンドウの「Advanced」タブには、2つの追加オプションがあります。

- **MTU** - MTU (最大転送単位) サイズを設定します。これはルータがパケットを分割せずに転送できる最大パケット サイズです。
- **PPP sync mode** - 同期 PPP を指定します。既定では、このオプションは無効で、非同期 PPP が使用されます。



10 NetExtender のログを表示するには、「NetExtender > ログ」を選択します。



11 NetExtender のパフォーマンスの詳細情報を示す診断レポートを生成するには、「ヘルプ > 診断レポートの生成」を選択します。

12 「保存」を選択して診断レポートを保存します。診断レポートは、既定では `nxdiag.txt` というファイル名で NetExtender ディレクトリに保存されます。

# セキュア仮想アシストと仮想ミーティングの使用

セキュア仮想アシストは、リモート アシストおよび仮想ミーティング機能を備えています。SonicWall Secure Mobile Access ユーザがリモートの場所から顧客をサポートするために顧客の使用しているコンピュータの制御を取得できる、使いやすいツールがセキュア仮想アシストです。

セキュア仮想ミーティングでは、Secure Mobile Access ユーザが、インターネット経由で仮想ミーティングに参加できます。

## トピック:

- [セキュア仮想アシストの使用 \(66 ページ\)](#)
- [セキュア仮想ミーティングの使用 \(96 ページ\)](#)

## セキュア仮想アシストの使用

以下のセクションでは、セキュア仮想アシストの使用方法について説明します。

- [セキュア仮想アシストのインストールと開始 \(67 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストの設定の構成 \(68 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシスト モードの選択 \(72 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストの技術者セッションの開始 \(73 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストの技術者タスクの実行 \(75 ページ\)](#)
- [顧客側からのセキュア仮想アシスト セッションの開始 \(82 ページ\)](#)
- [Linux クライアントでのセキュア仮想アシストの開始 \(88 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストの使用 \(89 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストの不在モードでの使用 \(90 ページ\)](#)
- [仮想アクセス モードの使用 \(91 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アクセス用のシステムの有効化 \(92 ページ\)](#)
- [アシストの要求機能の使用 \(96 ページ\)](#)

セキュア仮想アシストは、Secure Mobile Access 仮想オフィスを使用して自動的にインストールされる軽量なシンクライアントです。また、セキュア仮想アシストは、クライアントのコンピュータから直接起動するスタンドアロンクライアントとしてインストールすることもできます。

ユーザが顧客としてサービスを要求すると、仮想アシストは、Windows 7 および Windows Vista プラットフォームの RDP セッションを介してシステムに接続している間、実行できます。ただし、RDP による仮想アシストは、使用できる機能に制限があります。

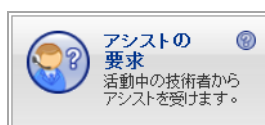
仮想アシスト セッションには、顧客側から見たセッションと、技術者側から見たセッションの2つがあります。ユーザーとは、自分のコンピュータに対するサポートを要求する人のことです。技術者は、アシストを提供する人です。Virtual Assist のセッションは、以下の一連のイベントで構成されます。

- 1 技術者が、仮想アシストを Secure Mobile Access 仮想オフィスから起動します。
- 2 技術者は、アシストを要求する顧客のアシスト キューを監視します。
- 3 ユーザーは、以下のいずれかの方法でアシスタンスを要求します。
  - Secure Mobile Access 仮想オフィスにログインし、「アシストの要求」リンクをクリックします。
  - 技術者から電子メールの招待状を受信し、リンクを選択して仮想アシストを起動します。
  - 技術者から提示される仮想アシスト ホームページの URL に直接移動します。
  - 仮想アシスト クライアントが既にインストールされている場合は、クライアントを起動し、「アシストの要求」オプションをクリックします。
- 4 顧客のシステムにセキュア仮想アシスト アプリケーションがインストールされ、実行されます。
- 5 ユーザーが、Virtual Assist アシスタンス キューに表示されます。
- 6 技術者が顧客の名前を選択し、仮想アシスト セッションを開始します。
- 7 技術者の仮想アシスト ウィンドウに、顧客の画面全体が表示されます。技術者は、顧客のコンピュータのマウスとキーボードを完全に操作できます。顧客は、技術者が行う操作をすべて観察できます。
- 8 顧客はいつでもセッションを終了できます。セッションを終了するには、画面右下隅の「**仮想アシストの終了**」を選択します。
- 9 セッションが終了すると、ユーザーだけがコンピュータを制御できるようになります。

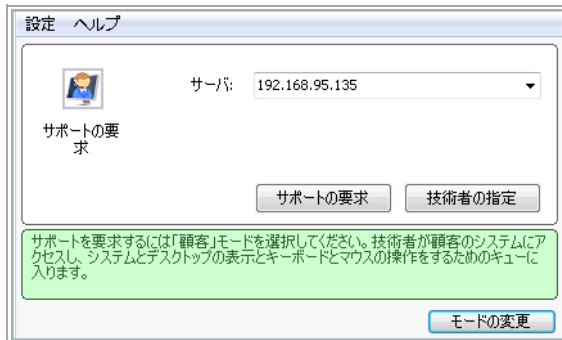
## セキュア仮想アシストのインストールと開始

**仮想アシストをインストールしてセッションを開始するには:**

- 1 Secure Mobile Access 仮想オフィスにログインします。Secure Mobile Access の顧客インターフェースにログイン済みの場合は、「**仮想オフィス**」を選択します。
- 2 「**アシストの要求**」を選択します。



- 3 仮想アシストを初めて起動する場合は、セキュア仮想アシスト プラグインとクライアントをインストールするように指示されます。
- 4 「Allow」を選択します。プラグイン インストール ウィンドウが表示されます。「Install Now」をクリックします。セキュア仮想アシスト プラグインとクライアントがインストールされます。ブラウザを再起動するように要求される場合があります。
- 5 これで仮想アシストを仮想オフィス ウィンドウから起動できます。また、仮想アシストのショートカットが Windows の「スタート」ボタンのプログラムの一覧に追加されています。そのショートカットからも仮想アシストを起動できます。



## セキュア仮想アシストの設定の構成

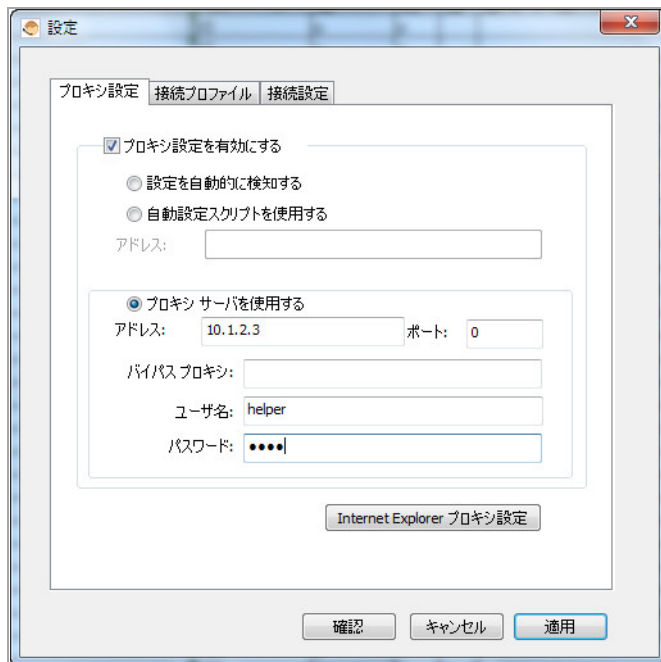
セキュア仮想アシストの「設定」ウィンドウにアクセスするには、アプリケーション ウィンドウの左上隅にある「設定」を選択するか、タスクバーの「仮想アシスト」アイコンを右クリックして「設定」を選択します。仮想アシストの「設定」ウィンドウには、3つのタブがあります。これらのタブの内容は、セキュア仮想アシストを Windows と Mac OS X のどちらの機器上で設定しているかによって異なります。

- [Windows の構成 \(68 ページ\)](#)
- [Mac OS X の構成 \(71 ページ\)](#)
- [Linux の構成 \(72 ページ\)](#)

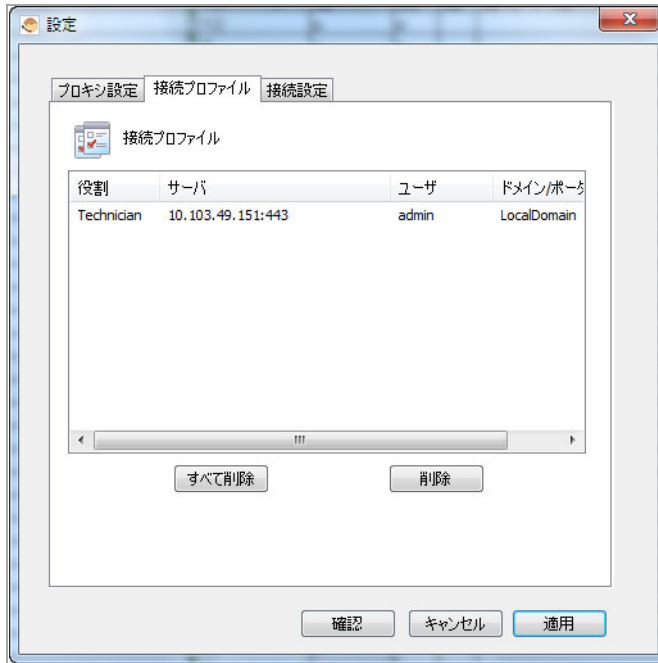
## Windows の構成

*Windows 用にセキュア仮想アシストを構成するには、以下の手順に従います。*

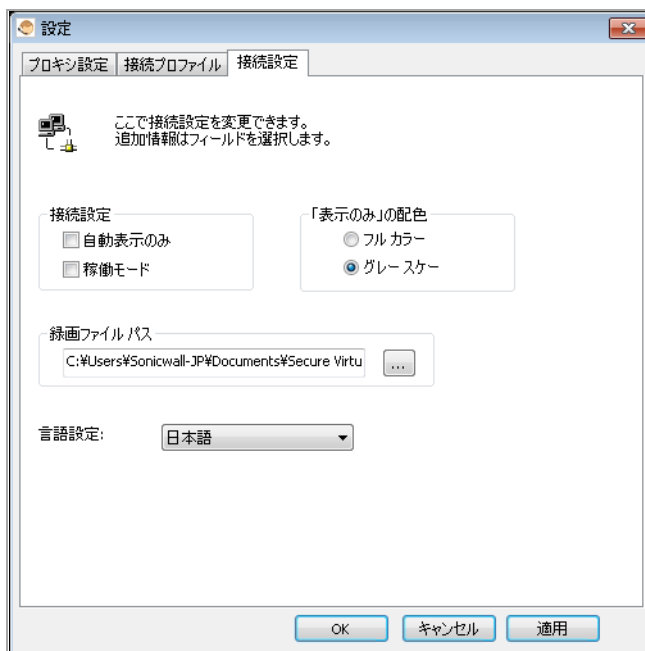
- **プロキシ設定** - プロキシ サーバに SMA/SRA 装置へのアクセスを設定できます。3つのオプションを使用して、プロキシを設定できます。



- **設定を自動的に検知する** - この設定を使用するには、プロキシ サーバが、クライアントにプロキシ設定スクリプトを自動的にプッシュできる Web Proxy Auto Discovery Protocol (WPAD) をサポートしている必要があります。
- **自動設定スクリプトを使用する** - プロキシ設定スクリプトの場所がわかっている場合は、このオプションを選択し、スクリプトの URL を「アドレス」フィールドに入力します。
- **プロキシ サーバを使用する** - このオプションを選択した場合は、使用するプロキシ サーバのアドレスとポートをそれぞれのフィールドに入力します。また、「バイパス プロキシ」フィールドに IP アドレスまたはドメインを入力することで、プロキシ サーバをバイパスするそれらのアドレスに直接接続できます。必要に応じて、プロキシ サーバ用のユーザ名とパスワードも入力できます。プロキシ サーバがユーザ名とパスワードを必要としているにもかかわらず、「プロパティ」ウィンドウにそれらを入力しない場合は、初回の接続時に、ユーザ名とパスワードの入力を要求する NetExtender のポップアップウィンドウが表示されます。
- オプションで、「Internet Explorer プロキシ設定」ボタンをクリックすると、Internet Explorer のプロキシ設定ページが開きます。
- **接続プロファイル** - このコンピュータで使用されたすべての Virtual Assist の接続プロファイルが表示されます。プロファイルを削除するには、プロファイルを選択して「削除」をクリックします。



- **接続設定** - 仮想アシストでの識別方法や仮想アシストのユーザーセッションの既定の設定をカスタマイズできます。



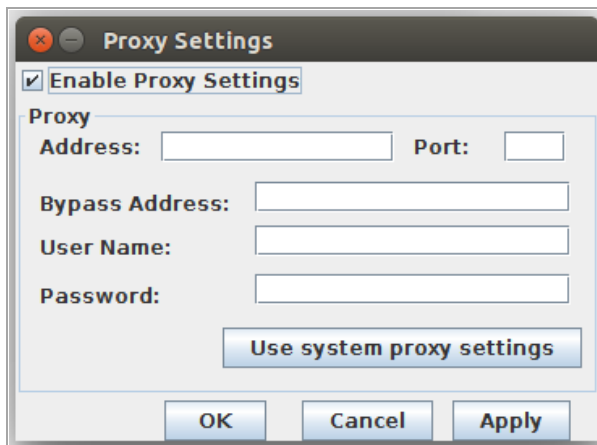
- **表示名** - ユーザキューに表示される名前。既定では、ユーザアカウントのユーザ名が表示されます。
- **追加情報** - 追加情報のためのオプションのフィールド。
- **自動表示のみ** - 仮想アシストセッションを、既定の信頼モードではなく、表示のみモードで最初に起動するよう指定します。
- **稼働モード** - 仮想アシストセッションを、既定の信頼モードではなく、稼働モードで最初に起動するよう指定します。

- 録画ファイルパス - 記録されたサポート セッションが、クライアント PC 上に保存される既定の場所。
- 言語設定 - 言語パッケージをインポートして、仮想アシストを既定 (英語) 以外の言語で表示することができます。すべての言語パッケージは .zip 形式でなければなりません。

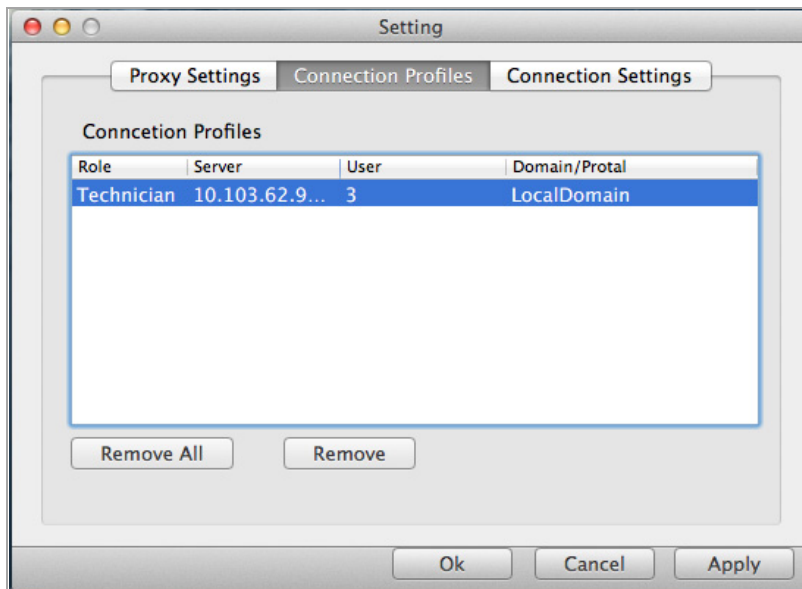
## Mac OS X の構成

Mac OS X 用にセキュア仮想アシストを構成するには:

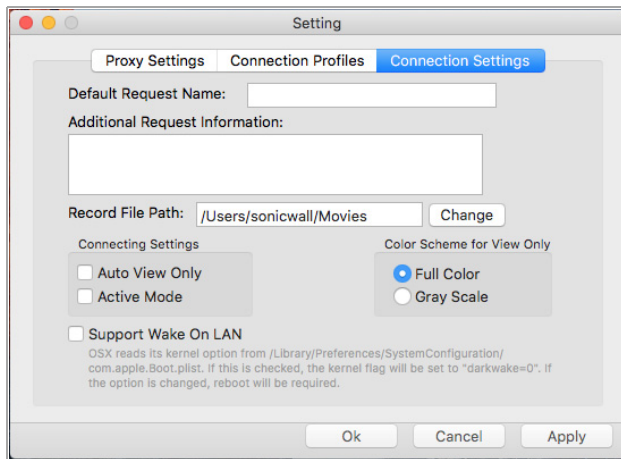
- プロキシ設定 - 「システム プロキシ設定を読み込む」をクリックしてプロキシ設定をシステム構成から読み込むか、または、プロキシ サーバ、ポート、バイパス プロキシ、ユーザ名、パスワードを手動で設定します。



- 接続プロファイル - 「接続プロファイル」タブで、接続プロファイルを表示および管理します。「すべて削除」をクリックすると、すべてのプロファイルが削除されます。プロファイルを選択して「削除」をクリックすると、そのプロファイルが削除されます。



## 6 接続設定 - 接続プロファイルを、次のようにして作成および編集します。



- **既定の要求名** - 顧客のサポート要求名を入力します。
- **その他の要求情報** - 顧客のサポート要求情報を入力します。
- **接続設定** - 「自動表示のみ」または「稼働モード」を選択します。「自動表示のみ」を選択した場合、技術者との接続中の任意のマウスまたはキーボード操作によって、「表示のみ」モードが起動されます。「稼働モード」を選択した場合は、技術者との接続中に、ユーザは既定で稼働モードになります。
- **「表示のみ」の配色** - 「フル カラー」または「グレースケール」を選択します。「フルカラー」を選択すると、ユーザが「表示のみ」モードの場合に、技術者ビューはフルカラーで表示されます。「グレースケール」を選択すると、ビューはグレイのモノクロで表示されます。

Mac OS X のセキュア仮想アシストのウィンドウやツールバーは、Windows 版と非常によく似ています。主な相違点については、本書に記載されています。

## Linux の構成

*Linux 用にセキュア仮想アシストを構成するには、以下の手順に従います。*

- **プロキシ設定** - プロキシ サーバに SMA/SRA 装置へのアクセスを設定できます。3つのオプションを使用して、プロキシを設定できます。

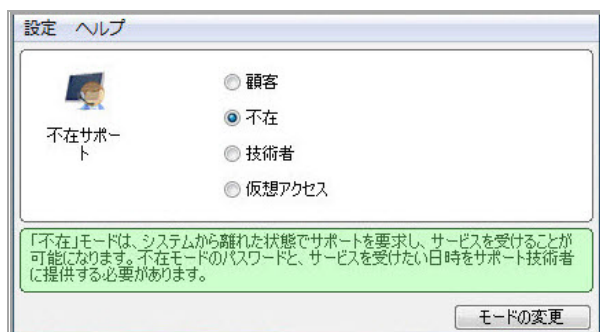
## セキュア仮想アシスト モードの選択

セキュア仮想アシストの起動時のモードは、既定で顧客モードです。



## モードを変更するには:

- 1 [モードの変更] をクリックして、選択できる 4 つのモードのいずれかを選択します。



- 2 以下の 4 つの仮想アシスト モードの中からいずれかを選択します。
  - **顧客** - このモードを選択して、サポートを要求します。顧客モードの詳細については、[顧客側からのセキュア仮想アシスト セッションの開始 \(82 ページ\)](#) を参照してください。
  - **不在** - このモードを選択して、コンピュータから離れている状態でサポート ヘルプを受けます。この場合、パスワードの入力を求められます。技術者はこのパスワードを入力して、コンピュータの所有者に確認を取ることなく、システムの制御を引き継ぎます。不在モードの詳細については、[セキュア仮想アシストの不在モードでの使用 \(90 ページ\)](#) を参照してください。
  - **技術者** - このモードを選択して、ユーザーのシステムをリモートで制御し、サービスを実施します。技術者モードの詳細については、[セキュア仮想アシストの技術者セッションの開始 \(73 ページ\)](#) を参照してください。
  - **仮想アクセス** - SMA/SRA 装置からコンピュータへの常時リモート アクセスを許可する場合は、このモードを選択します。セキュア仮想アクセス モードについては、[セキュア仮想アクセス用のシステムの有効化 \(92 ページ\)](#) を参照してください。
- 3 [モードの変更] をもう一度クリックして、選択したモードでログインします。

## セキュア仮想アシストの技術者セッションの開始

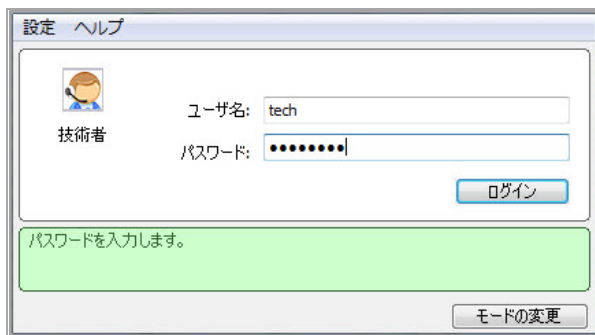
### 仮想アシストの技術者セッションを開始して、顧客をリモートでアシストするには:

- 1 Virtual Assist を起動し、技術担当者モードを選択します。

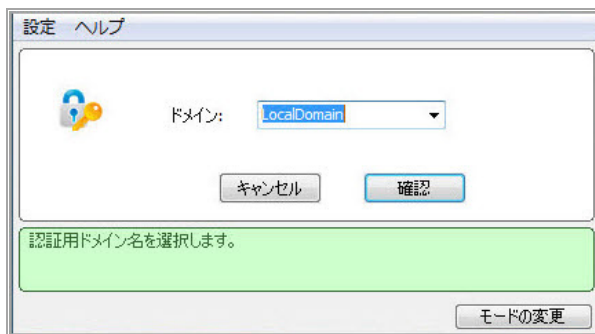


- 2 「サーバ」ドロップダウン メニューから、SMA/SRA 装置の IP アドレスまたはドメイン名を選択します。

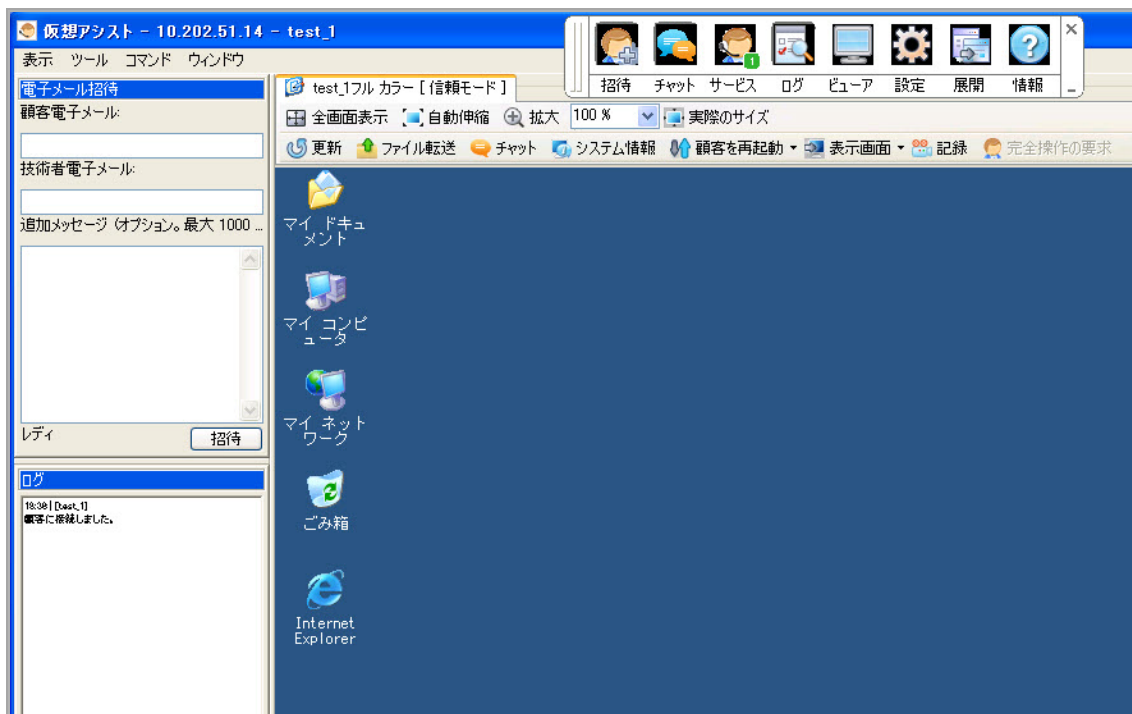
- 3 「ログイン」を選択します。



- 4 この装置の技術者アカウントのユーザ名とパスワードを入力します。  
5 「ログイン」を選択します。「ドメインの選択」ウィンドウが表示されます。



- 6 ユーザー名が設定されているドメインを「ドメイン」から選択し、「OK」をクリックします。  
7 セキュア仮想アシストのスタンドアロン アプリケーションが起動します。



これで、顧客をアシストする準備ができました。

# セキュア仮想アシストの技術者タスクの実行

最初に技術者は、SMA/SRA 装置にログインし、セキュア仮想アシスト アプリケーションを起動します。

① **メモ**：各技術者が同時にアシストできる顧客は 1 人だけです。

既定では、仮想アシスト ウィンドウが起動すると、顧客の画面専用のウィンドウの上部および空き部分に仮想アシスト ツールバーが表示されます。最も一般的なペインを表示するには、「展開」または「表示 > クラシックレイアウト」を選択します。以下のペインが表示されます。

- 電子メール招待
- ログ
- チャット
- サービス

技術者は仮想アシスト アプリケーションを起動した後、顧客をアシストする次のタスクを実行できます。

- [ユーザーを電子メールで招待する \(75 ページ\)](#)
- [ユーザーをサポートする \(76 ページ\)](#)
- [Windows の仮想アシスト タスクバーとタブ操作の使用 \(77 ページ\)](#)
- [Mac OS X の仮想アシスト タスクバーとタブ操作の使用 \(79 ページ\)](#)
- [その他の技術者用コマンドの使用 \(79 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシスト セッションのログの表示 \(80 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストのファイル転送の使用 \(80 ページ\)](#)

## ユーザーを電子メールで招待する

**仮想アシストを使用するよう顧客を招待するには:**

- 1 仮想アシスト ウィンドウの左にある電子メール招待フォームを使用して、顧客に招待状を送信します。このフォームが表示されていない場合は、ツールバーの「招待」をクリックします。

① **メモ**：電子メールの招待状から仮想アシストを起動する顧客は、その招待状を送信した技術者からのアシストのみを受けることができます。仮想アシストを手動で起動した顧客は、どの技術者からもアシストを受けることができます。

- 2 「顧客電子メール」フィールドに、顧客の電子メールアドレスを入力します。
- 3 オプションで、**技術者電子メール**を入力し、既定の技術者電子メールとは別の返信用電子メールアドレスを使用します。一部のメール サーバでは、電子メールアドレスを入力し、有効なドメイン上にある必要があります。
- 4 オプションで、ユーザーへのメッセージを「追加メッセージ」に入力します。
- 5 「招待」をクリックします。仮想アシストを起動するための HTML リンクが含まれる電子メールが顧客に送信されます。

アシストを要求している顧客がアシスト キューに表示され、その待ち時間が表示されます。

## ユーザーをサポートする

顧客がアシスト キューに入ると、右下のタスク バーにポップアップ ウィンドウが表示されて、技術者に通知されます。「サービス」ウィンドウにも、ユーザー キューが表示されます。

### 顧客をアシストするには:

- 1 顧客のユーザ名をダブルクリックして、顧客のアシストを開始します。

チケット ID	顧客	技術者	状態	経過時間	問題の詳細/コメント
保留中					
T00002	susan		Pending	0:00:17	

❶ **メモ:** 顧客をキューに戻すには、サービスの一覧からユーザ名を右クリックして「再待機」を選択します。このユーザは後で別の技術者がアシストできます。専門分野の違いや、シフトの終了によって、ユーザを別の技術者に引き渡すことがあります。

- 2 この機能は次のような場合に便利です。



技術担当者は、ユーザーのコンピュータのマウスおよびキーボードを完全に制御できるようになります。顧客には、技術者が実行する操作がすべて表示されます。

仮想アシストセッションの継続中も、ユーザーは自分のコンピュータからロックアウトされません。顧客のコンピュータは技術者と顧客のどちらからも制御できますが、両者が同時に操作を実行しようとすると混乱を招くおそれがあります。

仮想アシスト セッション中、画面右下に小さなツールバーに次のオプションが提供されます。

- **信頼/稼働** - 「表示のみ」モードに切り替えます。「表示のみ」モードでは、技術者は顧客のコンピュータを表示することはできますが、制御することはできません。
- **チャット** - 技術者とのチャット ウィンドウを開きます。
- **仮想アシストの終了** - セッションを終了します。

## Windows の仮想アシスト タスクバーとタブ操作の使用

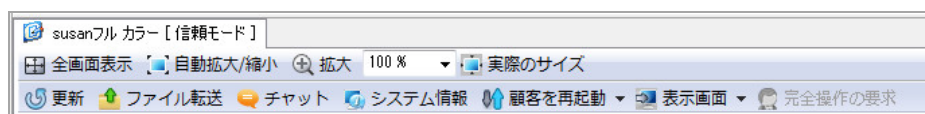
技術担当者の視点の仮想アシストには、多くのオプションがあるタスクバーが表示されます。



- **招待** - [電子メール招待] ペインを表示します。
- **チャット** - 顧客とコミュニケーションするためのチャット ウィンドウが表示されます。
- **サービス** - ユーザーがサービスを待機しているサービス キューを表示します。
- **ログ** - ログ ウィンドウを表示します。
- **ビューア** - 仮想アシスト ウィンドウ全体を表示/非表示にします。
- **オプション** - [Connection Profile] と [接続設定] オプションを表示します。
- **展開** - [電子メール招待]、[サービス]、[ログ]、[チャット] ペインを表示します。
- **情報** - セキュア仮想アシスト クライアントのバージョン情報を表示します。

① **メモ** : タスクバーの右下隅にある「\_」ボタンを選択すると、タスクバーが最小化し、ボタンのタイトルのみが表示されます (アイコンは表示されません)。右上の「x」をクリックすると、仮想アシストが終了します。

「表示 > 現在の顧客に対するタブ操作」を選択すると、追加のショートカットと操作を表示できます。

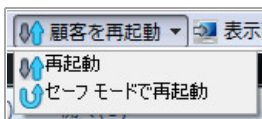


次のオプションが、仮想アシスト ウィンドウの上部に表示されます。

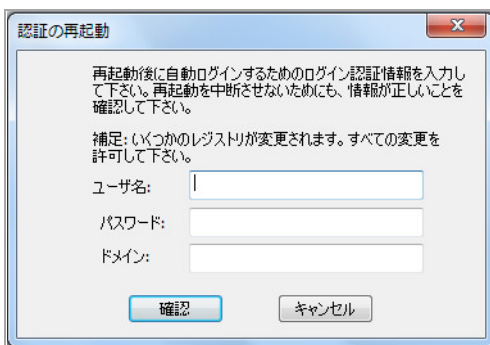
- **全画面表示** - 技術者のモニタ全体に合わせて仮想アシスト ウィンドウを拡大します。
- **自動拡大/縮小** - ユーザーの画面を仮想アシストウィンドウに合わせます。
- **拡大** - ユーザーの画面のズームをカスタマイズします。
- **実際のサイズ** - ユーザーのモニタの解像度の実際のサイズにズームします。
- **グレースケール** - 表示をフル カラーではなくグレースケールに変更します。
- **更新** - ユーザーの画面を更新します。
- **ファイル転送** - ファイル転送ユーティリティを開きます。詳細については、[セキュア仮想アシストのファイル転送の使用 \(80 ページ\)](#) を参照してください。
- **チャット** - ユーザーとのチャット ウィンドウを開きます。
- **記録** - 仮想アシスト セッションを他の顧客と共有できるように .wmv ファイルに録音します。ユーザー名と録音の開始日時が自動的にファイル名として使用されます (Sue\_EST\_2013-2-12\_09h47m43s.wmv など)。ファイルの場所は「接続設定」ウィンドウで設定できます。
- **システム情報** - 顧客のコンピュータに関する詳細情報を技術者に示します。



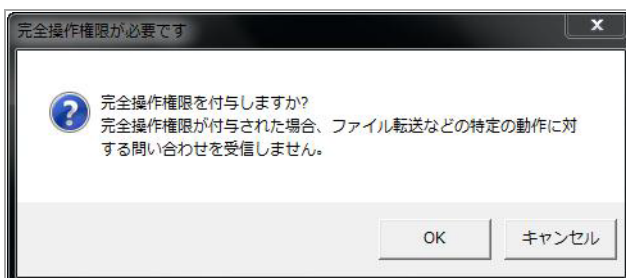
- **顧客を再起動** - 顧客のコンピュータを再起動します。完全操作を要求した場合を除き、顧客には再起動が要求されたことが警告され、顧客は再起動を拒否することもできます。通常どおり再起動するか、「セーフモード」で再起動するかを選択できます。



- ① **メモ** : 再起動時に、コンピュータのログイン認証情報を入力するように指示されます。

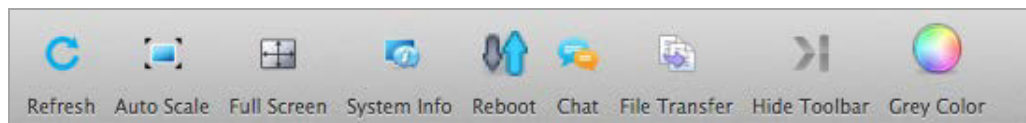


- **表示画面** - 顧客のコンピュータがマルチ モニタ構成の場合に、技術者は第 2 モニタに切り替えるか、すべてのモニタを表示できます。
- **完全操作の要求** - 技術者は、顧客のデスクトップの完全操作を要求できます。技術者はシステムの再起動や、顧客のコンピュータ上のファイルの削除または上書きを、顧客にその都度許可を求めずに実行できます。「コマンド」メニューの「完全操作の要求」を選択して要求を発行します。この要求は顧客のデスクトップに表示されます。



## Mac OS X の仮想アシスト タスクバーとタブ操作の使用

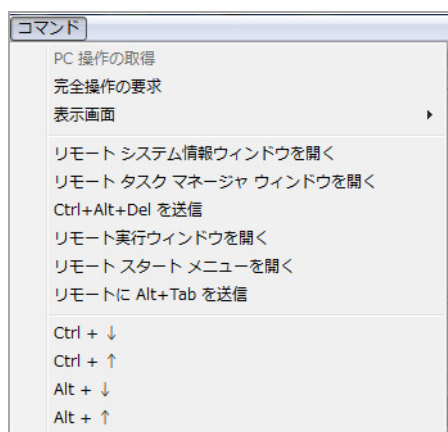
Mac OS X では、タスクバーには以下のボタンがあります。



- **更新** - 顧客のコンピュータ画面を最新の表示に更新します。
- **自動拡大/縮小** - ウィンドウに合わせて画面サイズを調整します。
- **全画面表示** - ウィンドウいっぱいに表示されるように画面サイズを調整します。
- **システム情報** - 顧客のコンピュータについて、Windows コンピュータで表示されるような詳細情報を表示します。
- **再起動** - 顧客のコンピュータを再起動します。完全操作を要求した場合を除き、顧客には再起動が要求されたことが警告され、顧客は再起動を拒否することもできます。
- **チャット** - 顧客と通信するためのテキスト チャット ウィンドウを開きます。技術者は、セキュア仮想アシスト アプリケーションの左下ウィンドウの専用チャット ウィンドウを使用することもできます。
- **ファイル転送** - 顧客のコンピュータとの間でファイルを転送するためのウィンドウを開きます。詳細については、[セキュア仮想アシストのファイル転送の使用 \(80 ページ\)](#) を参照してください。
- **ツールバーの非表示** - タスクバーを非表示にします。
- **グレー カラー** - すべてをグレーのモノクロで表示します。

## その他の技術者用コマンドの使用

仮想アシスト ウィンドウの左上にある「コマンド」ドロップダウン メニューからは、前述したいくつかのオプションのほか、次のようなオプションも利用できます。

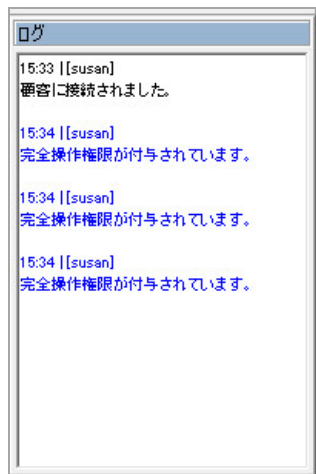


- **リモート システム情報ウィンドウを開く** - 顧客のコンピュータ上で、システム情報ウィンドウを開きます。
- **リモート タスク マネージャ ウィンドウを開く** - 顧客のコンピュータ上で、タスク マネージャを開きます。
- **Ctrl+Alt+Del を送信** - 顧客のコンピュータ上で、Ctrl-Alt-Del キーを入力します。

- リモート実行ウィンドウを開く - 顧客のコンピュータ上で、「ファイル名を指定して実行」メニューを開きます。
- リモート スタート メニューを開く - 顧客のコンピュータ上で、「スタート」メニューを開きます。
- リモートにAlt+Tabを送信 - 顧客コンピュータ上で、Alt-Tab キーを入力して、開いているウィンドウを切り替えます。
- Ctrl + ↓ - 顧客のコンピュータ上で、Ctrl キーを押した状態にします。
- Ctrl + ↑ - 顧客のコンピュータ上で、Ctrl キーを解放します。
- Alt + ↓ - 顧客のコンピュータ上で、Alt キーを押した状態にします。
- Alt + ↑ - 顧客のコンピュータ上で、Alt キーを解放します。

## セキュア仮想アシスト セッションのログの表示

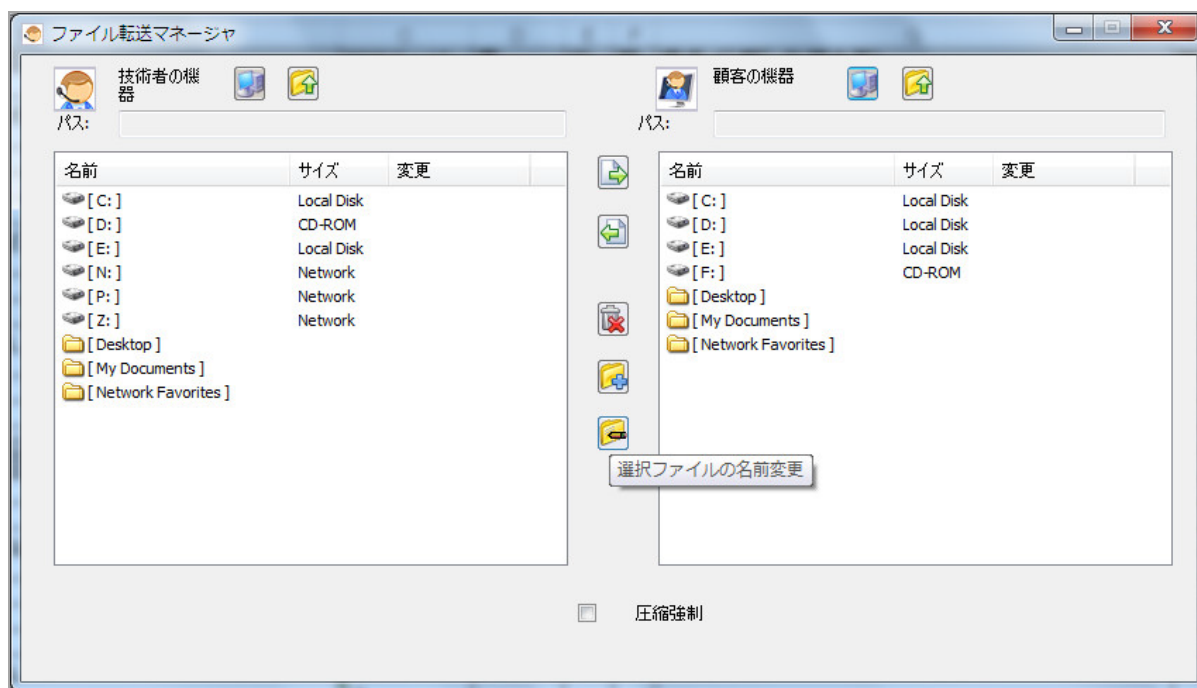
セキュア仮想アシスト セッションのログ ウィンドウは、タスクバーの「ログ」を選択すると表示できます。このログには、チャットやファイル転送の開始、完全操作の要求などのセッション イベントの履歴がタイムスタンプ付きで表示されます。










## セキュア仮想アシストのファイル転送の使用

「ファイル転送マネージャ」ウィンドウでは、顧客のコンピュータとの間でファイルを転送できます。左側に技術者のコンピュータのファイル ディレクトリが、右側に顧客のコンピュータのファイル ディレクトリが表示されます。





「ファイル転送マネージャ」ウィンドウは、Windows エクスプローラや FTP プログラムとほぼ同様に機能します。「ファイル転送マネージャ」ウィンドウ内を移動するには、フォルダをダブルクリックし、ファイルを選択します。「ファイル転送マネージャ」ウィンドウには次の機能があります。

- デスクトップ  は、技術者または顧客のコンピュータのデスクトップに移動します。
  - 上へ  - 技術者または顧客のコンピュータの 1 階層上のディレクトリに移動します。
  - ダウンロード  は、選択されている 1 つ以上のファイルを技術者のコンピュータから顧客のコンピュータに転送します。
  - アップロード  - 選択されている 1 つまたは複数のファイルを顧客のコンピュータから技術者のコンピュータに転送します。
  - 削除  - 選択されている 1 つ以上のファイルを削除します。
- ① **メモ**：技術者が「完全操作の要求」を選択し、顧客がそれを承認している場合を除き、技術者がファイルを削除または上書きしようとする、顧客には警告が表示されます。技術者がこれらの操作を実行するには、顧客は技術者にその権限を付与する必要があります。
- 新規フォルダ  - 選択されているディレクトリ内に新しいフォルダを作成します。
  - 名前の変更  は、選択されているファイルまたはディレクトリの名前を変更します。

ファイルの転送中、「ファイル転送マネージャ」ウィンドウの下部に転送の進捗が表示されます。「終了」を選択すると、実行中の転送が中止されます。

- ① **メモ**：ファイル転送では、1 つ以上のファイルを転送できます。現時点で、ディレクトリの転送はサポートされていません。複数のファイルを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらファイルを選択します。

# 顧客側からのセキュア仮想アシスト セッションの開始

以下のセクションでは、サポートされる3つのクライアントプラットフォームでの仮想アシストの開始および使用方法について説明します。

- [Windows クライアントでのセキュア仮想アシストの開始 \(82 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストを Mac OS X クライアントで起動する \(86 ページ\)](#)
- [Linux クライアントでのセキュア仮想アシストの開始 \(88 ページ\)](#)

## Windows クライアントでのセキュア仮想アシストの開始

仮想アシストの顧客セッションを開始して、Windows コンピュータ上でアシストを要求するには:

- 1 仮想アシストにはいくつかの方法でアクセスできます。
  - 管理者またはサポート技術者から提示された URL を使用して、仮想アシストのホームページに移動します。
  - 電子メールの招待状を受信した場合は、電子メールに記載されているリンクを選択するか、その URL をブラウザに貼り付けます。
  - 仮想オフィスのログイン ページに、以下の段落に示すように、仮想アシストへの直接リンクが表示される場合もあります。

- 仮想オフィスにログインし、「アシストの要求」を選択します。



- 管理者によって設定されている場合は、「ユーザ ログイン」リンクをクリックします。直接インターフェースの場合は、3つのインターフェースにアクセスできます。そのためには、supportLogin、vmLogin、vmLoginCreator のいずれかのリンクの URL にアクセスします。SMA Connect Agent は、これらのページにあった Active-X に代わって、仮想アシストや仮想ミーティング インターフェースを (Windows および Macintosh で) 起動します。ページには、SMA Connect Agent をインストールする通知ボタンがあります。アクティブなリンクをクリックすると、次のページが表示されます。



- セキュア仮想アシストが既にインストールされている場合は、Windows の「スタート」ボタンのプログラムの一覧にあるセキュア仮想アシストのショートカットを選択します。
- 2 セキュア仮想アシストを初めて起動する場合は、セキュア仮想アシスト プラグインとクライアントをインストールするように指示されます。
  - 3 「Allow」を選択します。プラグイン インストール ウィンドウが表示されます。「Install Now」をクリックします。セキュア仮想アシスト プラグインとクライアントがインストールされます。ブラウザを再起動するように要求される場合があります。

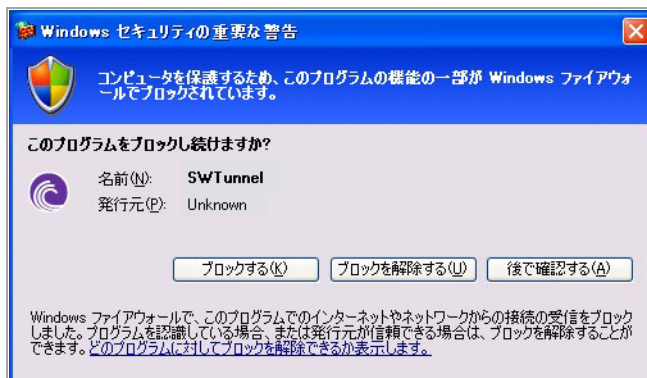


① **メモ** : Chrome ブラウザでは、Chrome ストアからプラグインをインストールする必要があります。

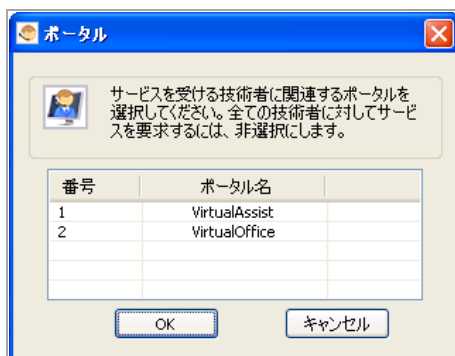
- 4 仮想アシストを仮想オフィス ウィンドウから起動できます。また、仮想アシストのショートカットが Windows の「スタート」ボタンのプログラムの一覧に追加されています。そのショートカットからも仮想アシストを起動できます。ログイン ウィンドウの「サーバ」にサーバアドレスが自動的に入力されていない場合は、サーバアドレスを入力します。このサーバアドレスには、SMA/SRA 装置の IP アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名のいずれでも指定できます。IPv6 アドレスは、大括弧 ( [ と ] の記号 ) で囲む必要があります。



- 5 「サポートの要求」を選択してアシストを要求するか、「技術者の予約」を選択して特定の技術者にアシストを要求します。
- 6 次のセキュリティ警告が表示された場合は、「ブロックを解除する」を選択して、仮想アシストのトラフィックが Windows ファイアウォールを通過できるようにします。

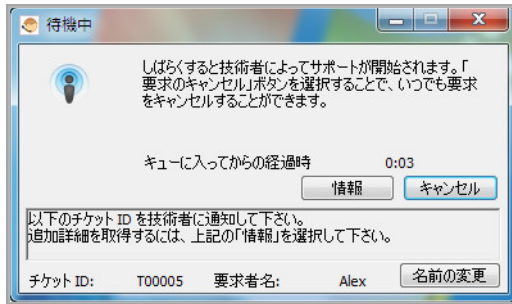


- 7 「技術者の予約」を選択した場合、勤務中のすべての技術者を示すウィンドウが表示されます。アシストを要求する技術者を選択したら、「サポートの要求」を選択します。  
特定の技術者を選択しない場合、サービスの要求はすべての技術者に表示されます。特定の技術者に要求すると、要求はその技術者にのみ表示されます。
- 8 要求する技術者のポータルを選択し、「OK」を選択します。ポータルを選択しない場合、任意の技術者からアシストを受けます。



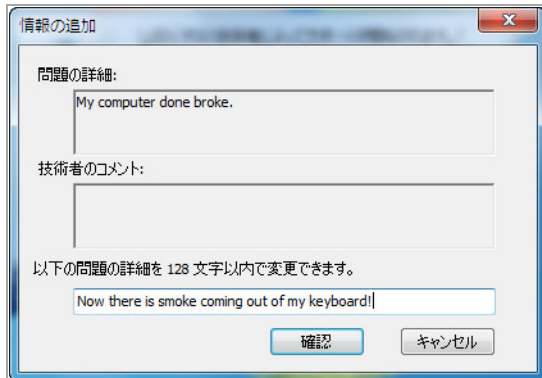
ポータルを選択した後、証明書の要求が表示され、その後続いて、アシスト コードや免責事項が表示されます (管理者によって設定されている場合)。

- 9 ポップアップ ウィンドウから、自分が Virtual Assist キューに登録されていることがわかります。技術者に準備ができたことが通知されます。「キャンセル」をクリックすると、Virtual Assist 要求がキャンセルされます

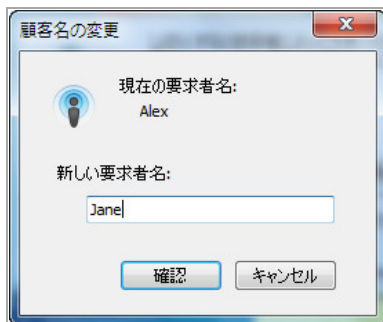


10 仮想アシスト キュー ウィンドウには2つのオプションがあります。

- 技術者に問題に関する情報を提供するには、「情報」を選択します。



- 自分の名前を指定するには、キュー ウィンドウ内の「名前の変更」行の隣にあるアイコンを選択します。既定では、顧客が電子メールの招待状に回答していない限り (この電子メールには顧客の電子メールアドレスが表示される)、コンピュータ名が使用されます。



11 技術者がセッションを開始すると、画面の右下に「仮想アシスト」ツールバーが表示されます。これで、コンピュータは技術者によって制御されます。



12 セッションの稼働後の仮想アシストの使用については、[セキュア仮想アシストの使用 \(89 ページ\)](#)を参照してください。

# セキュア仮想アシストを Mac OS X クライアントで起動する

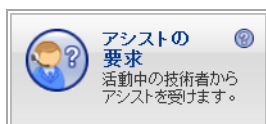
仮想アシストの顧客セッションを開始して、Mac OS X コンピュータ上でアシストを要求するには:

- 1 仮想アシストにはいくつかの方法でアクセスできます。
  - サポート技術者から提示される仮想アシスト ホームページの URL に移動します。
  - 電子メールの招待状を受信した場合は、電子メールに記載されているリンクを選択するか、その URL をブラウザに貼り付けます。
  - 仮想オフィスのログイン ページに、以下の段落に示すように、仮想アシストへの直接リンクが表示される場合もあります。

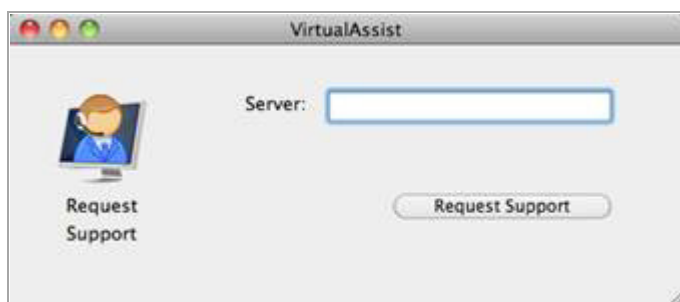
ユーザー名:   
パスワード:   
ドメイン: LocalDomain

[技術的な支援が必要ですか?  
セキュア仮想アシストで支援を要求します](#)

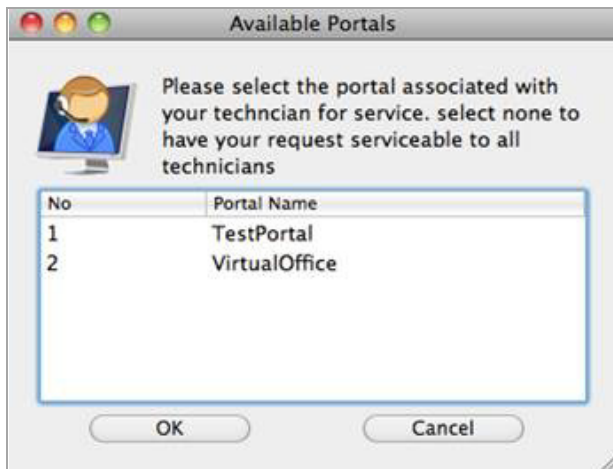
- また、仮想オフィスにログインし、「アシストの要求」を選択する必要がある場合もあります。



- 2 仮想アシストを初めて起動する場合は、コンピュータにセキュア仮想アシスト アプレットをインストールするように指示されます。「Allow」を選択します。
- 3 セキュア仮想アシスト クライアントがインストールされ、起動します。次回からは、仮想アシストを、ブラウザで仮想オフィス ウィンドウに移動して起動することも、アプリケーションフォルダから直接起動することもできます。
- 4 サーバ アドレスがログイン ウィンドウに自動的に反映されない場合は、サーバ アドレスを入力し、「Request Support」をクリックします。このサーバ アドレスには、SMA/SRA 装置の IP アドレス、IPv6 アドレス、またはホスト名のいずれでも指定できます。IPv6 アドレスは、大括弧 ( [ と ] の記号) で囲む必要があります。

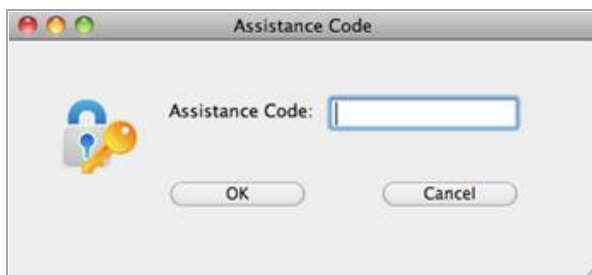


- 5 利用可能なポータルの一覧が表示されます。特定のポータルに接続するには、ポータルを選択して「OK」を選択します。すべてのポータルからサービスを受けるには、特定のポータルを選択せずに「OK」を選択します。



特定の技術者を選択しない場合、サービスの要求はすべての技術者に表示されます。特定の技術者に要求すると、要求はその技術者にのみ表示されます。

- 6 「アシスト コード」を入力するように指示されることがあります。



- 7 免責事項を読んで同意するように指示されたら、「OK」を選択します。

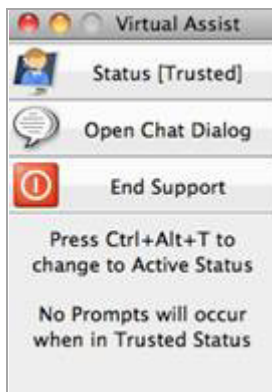
- 8 ポップアップ ウィンドウから、自分が Virtual Assist キューに登録されていることがわかります。技術者に準備ができたことが通知されます。「キャンセル」をクリックすると、Virtual Assist 要求がキャンセルされます



- 9 仮想アシスト キュー ウィンドウには2つのオプションがあります。

- 技術者に問題に関する情報を提供するには、「Add information」を選択します。
- 自分の名前を指定するには、キュー ウィンドウ内の「Request Name」行の隣にあるアイコンを選択します。既定では、コンピュータ名が使用されます。

- 10 技術者がセッションを開始すると、画面の右下に「仮想アシスト」ツールバーが表示されます。これで、コンピュータは技術者によって制御されます。



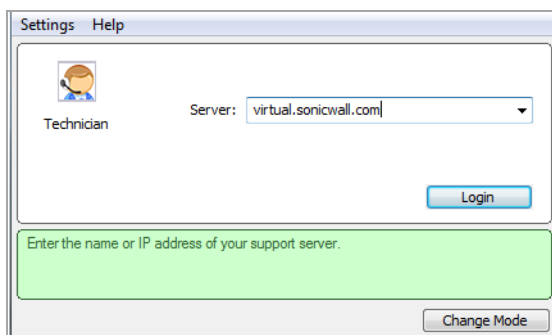
- 11 セッションの稼働後の仮想アシストの使用については、[セキュア仮想アシストの使用 \(89 ページ\)](#) を参照してください。

## Linux クライアントでのセキュア仮想アシストの開始

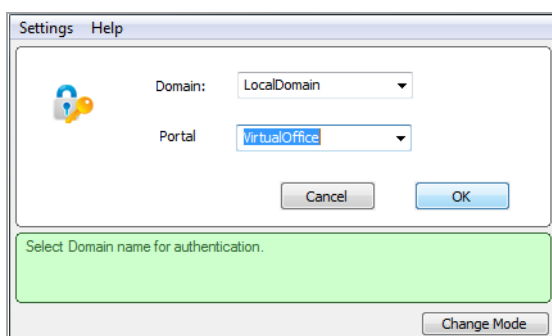
- ① **メモ** : SonicWall セキュア仮想アシストは、Linux の Ubuntu ディストリビューションで全面的にテストが完了しています。それ以外の Linux ディストリビューションではテストしていません。

**仮想アシストの顧客セッションを開始して、Linux コンピュータ上でアシストを要求するには:**

- 1 仮想アシストを技術者モードで起動します。
- 2 「サーバ」ドロップダウン メニューから、SMA/SRA 装置の IP アドレスまたはドメイン名を選択します。「ログイン」を選択します。

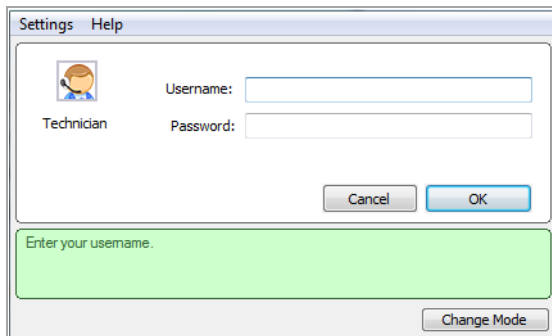


- 3 「ドメイン」ドロップダウン メニューから、ドメインを選択します。
- 4 「ポータル」ドロップダウン メニューから、仮想オフィスを選択し、「OK」を選択します。





- 5 この装置の技術者アカウントのユーザ名とパスワードを入力します。「OK」を選択します。セキュア仮想アシストのスタンドアロンアプリケーションが起動します。



## セキュア仮想アシストの使用

仮想アシストセッションの継続中も、ユーザーは自分のコンピュータからロックアウトされません。顧客のコンピュータは技術者と顧客のどちらからも制御できますが、両者が同時に操作を実行しようとするると混乱を招くおそれがあります。技術者が入力やマウスの移動を行っていないときは、顧客が制御を再開できます。そして、右下にある「仮想アシストの終了」をクリックすることで、いつでもセッションを終了できます。

- [技術者とのチャット \(89 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アシストの操作レベルの変更 \(89 ページ\)](#)
- [Virtual Assist セッションを終了する \(90 ページ\)](#)

## 技術者とのチャット

アシストを受ける技術者とのチャットを開始するには、「チャット」を選択するか、**Alt+C** キーを押して、技術者とのインスタント メッセージ方式のチャット セッションを開始します。また、技術者も、顧客と対話するために「チャット」ウィンドウを開くことができます。

**技術者とのチャットを行うには:**

- 1 「チャット」をクリックします。
- 2 「チャット」ウィンドウにテキストを入力します。
- 3 **Enter** キーを押すか、「送信」をクリックします。

## セキュア仮想アシストの操作レベルの変更

顧客は、技術者に3つの操作レベルを付与できます。

- **表示のみ** - 技術者は、顧客のコンピュータを表示できますが、操作することはできません。表示のみモードに切り替えるには、「状態[稼働]」をクリックします。ステータスが「状態[表示のみ]」に切り替わります。
- **稼働** - 技術者は、顧客のコンピュータを操作できますが、顧客は特定の操作に対する許可を与える必要があります。たとえば、技術者は顧客からその都度権限を付与されなくても、システムの再起動や、顧客のコンピュータ上のファイルの削除または上書きを実行できます。表示のみモードから稼働モードに切り替えるには、「状態 [表示のみ]」をクリックします。

- **信頼** - 技術者は、顧客のコンピュータを完全に操作できます。信頼モードから稼働モードに切り替えるには、Ctrl-Alt-T を入力します。



① | **メモ** : デフォルトでは、仮想アシストセッションは信頼モードで起動されます。

### モードを別の操作レベルに変更するには:

- 1 ウィンドウの左上隅の「設定」を選択します。
- 2 「接続設定」タブを選択します。
- 3 「自動表示のみ」または「稼働モード」のどちらかを選択します。

## Virtual Assist セッションを終了する

画面右下隅の「仮想アシストの終了」を選択するか、Alt-q キーを押すと、仮想アシスト セッションをいつでも終了できます。仮想アシスト セッションを終了すると、技術者によるコンピュータの制御も終了します。

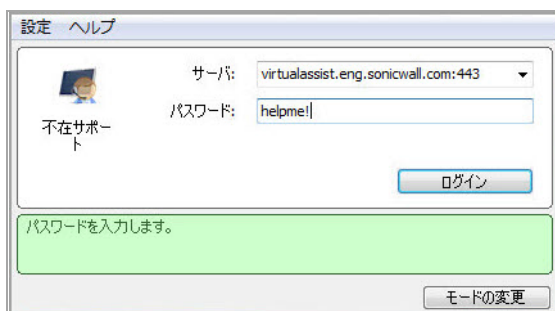
## セキュア仮想アシストの不在モードでの使用

① | **メモ** : 不在モードは、Windows クライアントでのみサポートしています。

不在モードを設定すると、技術者は顧客の同意が得られなくてもコンピュータにアクセスできます。

### Windows 用に不在モードを設定するには:

- 1 Virtual Assist を起動します。
- 2 [モードの変更] をクリックし、[不在] を選択してから、[モードの変更] をもう一度クリックします。

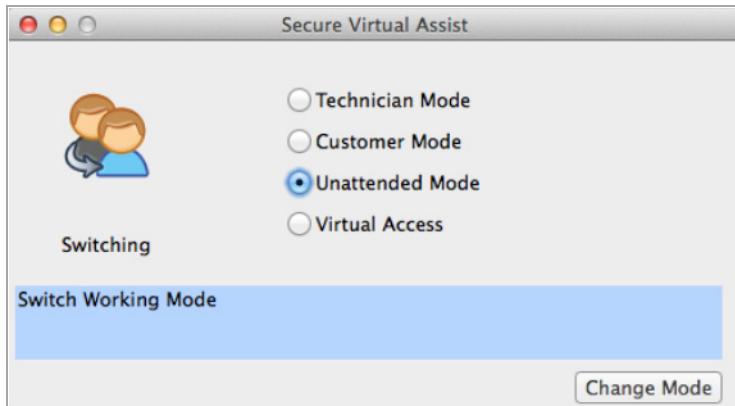


- 3 SMA/SRA サーバの IP アドレスまたはドメイン名を選択または入力します。

- 4 パスワードを [パスワード] に入力し、[ログイン] をクリックします。待機中のウィンドウが表示され、キューに登録されてからの時間が表示されます。
- 5 前の手順で定義したパスワードを技術者に付与する必要があります。これを簡単にするには、「情報の追加」を選択して、パスワードを技術者に付与します。

#### Mac OS X 用に不在モードを設定するには:

- 1 「作業モードの切り替え」ウィンドウで「不在モード」を選択します。



- 2 「変更を適用」をクリックします。モードが変更されたら、不在モードを設定することができます。
- 3 サーバとパスワードを指定します。「ログイン」を選択して、サーバにログインします。



- 4 手の空いている技術者が利用可能になるまで待機画面が表示されます。「技術者の予約」を選択して、技術者を選択します。要求をキャンセルするには、「キャンセル」を選択します。詳細を表示するには、「情報」をクリックします。

① **メモ**：不在モードの使用中は、システムのアクティブ状態を維持する必要があります。

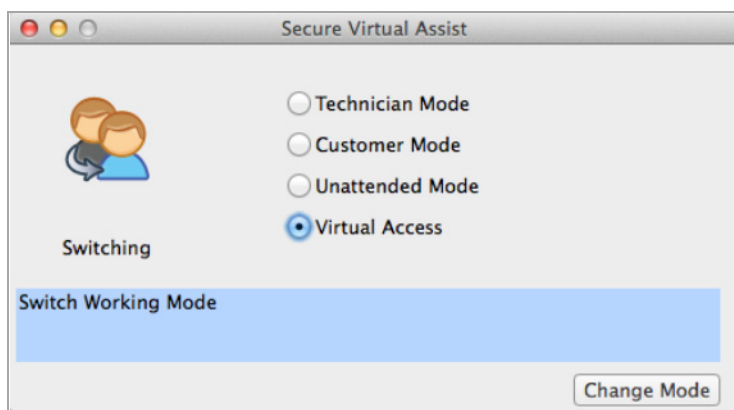
## 仮想アクセスモードの使用

仮想アクセス機能を使用して、Mac OS X ユーザは SMA/SRA 装置から LAN 範囲外にあるパーソナルコンピュータにアクセスできます。

① **メモ**：「ポータル>ポータル>仮想アシスト設定」ページから仮想アクセスモードを有効にする必要があります。詳細については、『SonicWall Secure Mobile Access 管理ガイド』を参照してください。

#### 仮想アクセスモードを設定するには:

- 1 「作業モードの切り替え」ウィンドウで「仮想アクセス」を選択します。



- 2 「変更を適用」をクリックします。モードが変更されたら、仮想アクセスを設定することができます。
- 3 サーバ、コンピュータ名、所有者名、およびパスワードを指定します。「ログイン」を選択して、サーバにログインします。

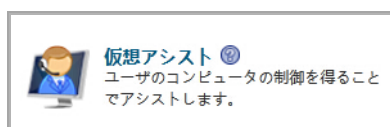
## セキュア仮想アクセス用のシステムの有効化

セキュア仮想アクセスには、セキュア仮想アシストの不在モードと似ている点があります。それは、これらのクライアント機能をインストールするには管理者権限が必要で、技術者がシステムへのアクセス権を得るには、セットアップ時に設定されたパスワードを指定する必要がある点です。

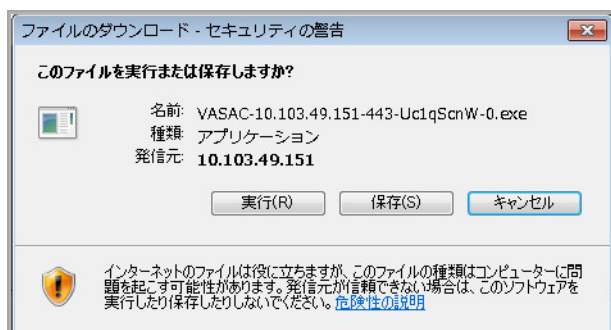
管理インターフェースの「ポータル>ポータル」ページの「仮想アシスト」タブでセキュア仮想アクセスが有効になっている場合、ユーザには、システムをセキュア仮想アクセス用にセットアップするためのリンクが仮想オフィスポータルに表示されます。

### セキュア仮想アクセス用にシステムをセットアップするには:

- 1 セキュア仮想アクセス用にセットアップするシステムから仮想オフィスポータルにログインし、「仮想アクセス」リンクを選択します。



- 2 VASAC.exe ファイルのインストール ファイルをダウンロードする必要があります。インストールファイルには VASAC.exe のインストールに必要なパラメータと、セキュア仮想アクセスモードに必要なクライアントが含まれています。このファイルを保存して実行します。



- ① **メモ:** システムによっては、このダイアログボックスからファイルを直接実行できないことがあります。その場合は、ファイルをシステムに保存した後で、アプリケーションを実行します。

- システムをセキュア仮想アクセス モードでセットアップするために必要な情報を所定のフィールドに入力し、「OK」を選択します。
  - サーバ:** 技術者が、管理インターフェースの外部から仮想オフィスにアクセスするときに使用する装置の名前または IP アドレスを指定します ("https://" は省きます)。
  - コンピュータ名:** これは、サポートされるのをキューで待機している他のシステムから目的のシステムを区別するための識別子となります。この名前は、所有者のユーザ ポータルにはブックマーク名として表示されます。
  - 所有者名:** この名前は、有効な SMA/SRA 装置のユーザ名である必要があります。
  - 鍵:** これは、サポート キューを介してシステムにアクセスする前に技術者が入力する必要があります。鍵です。

- 要求された場合は、技術者が通常ログインするポータルの名前を入力します。
- インストールが完了すると、VASAC クライアントは、デスクトップトレイ内に常駐します。

これで、このシステムの識別名が、管理インターフェース内の「**セキュア仮想アシスト > 状況**」ページに表示される技術者のサポート キューに追加されます。システムの一覧をダブルクリックすると、システムへのセキュア仮想アクセスをセットアップする作業で指定したパスワードを入力するように求められます。

## 参考資料:

- [Wake on LAN の設定 \(93 ページ\)](#)
- [セキュア仮想アクセス モードの終了 \(96 ページ\)](#)

## Wake on LAN の設定

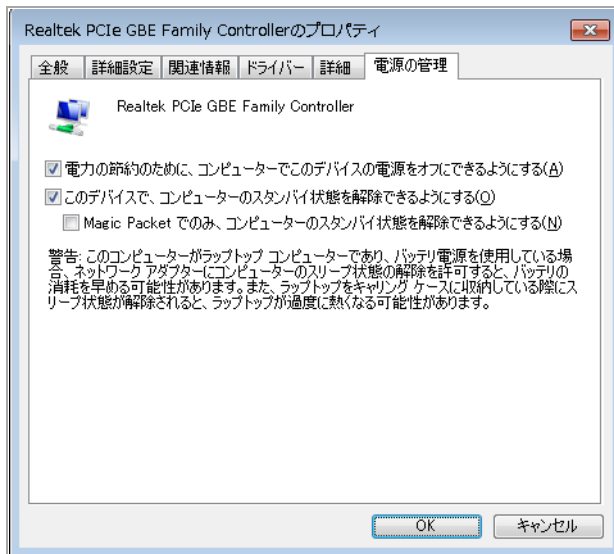
セキュア仮想アクセス モードで動作している場合に、クライアントと仮想アシストが同じサブネットに存在するときは、顧客は技術者に対して、LAN 上で仮想アシストを実行しているクライアント PC の起動を許可できます。クライアント PC は、電源がオフの場合も、スリープ状態の場合も、休止状態の場合も起動できます。この機能は、グローバルでも、ポータル単位でも、クライアントからでも有効にできます。

- ① **メモ:** クライアント PC の起動を有効にするには、この機能をポータルとクライアント コンピュータの BIOS で有効にする必要もあります。

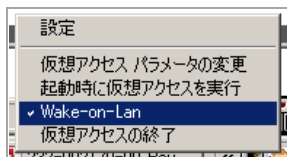
### Windows 上で Wake on LAN を有効にするには:

- 「Wake-on-LAN」オプションを選択して、クライアント PC の BIOS で Wake on LAN を設定します。

- 2 クライアント PC のデバイス マネージャで Wake on LAN を設定します。



- a クライアント PC のデスクトップにある「コンピュータ」アイコンを右クリックして、ドロップダウン リストから「プロパティ」を選択し、「デバイス マネージャ」を選択して、デバイス マネージャを開きます。
  - b 「ネットワーク アダプタ」フォルダを展開し、仮想アクセス用のネットワーク接続を選択します。
  - c 「電源の管理」タブを選択し、「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」チェックボックスをオンにします。
  - d 「OK」を選択します。
- 3 セキュア仮想アクセス モードで、「仮想アクセス」メニューの「Wake-on-Lan」を選択します。



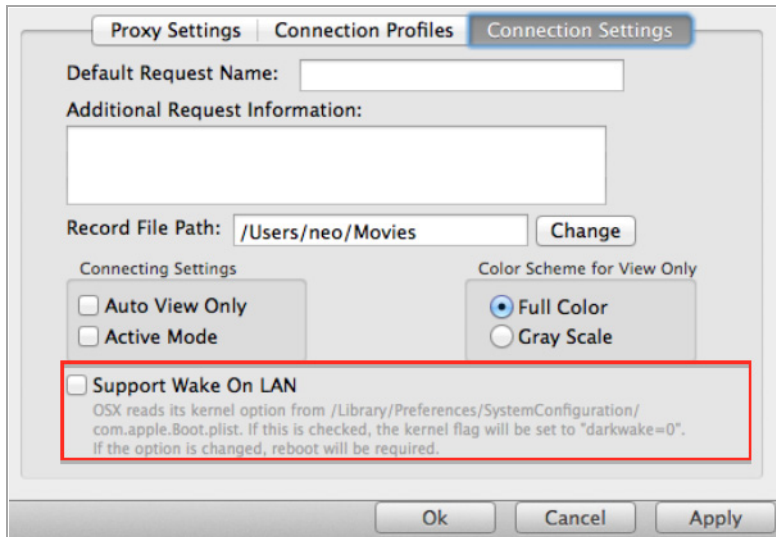
クライアント PC がスリープ状態、シャットダウンされる、または休止状態になると、保留中のクライアントはオフライン状態になります。

- 4 技術者は、このオフライン状態のクライアント PC を起動できます。次に、仮想アシスト技術者が、保留の一覧から顧客のエントリをダブルクリックすると、クライアント PC が自動的に起動します。
- ① メモ:** クライアント PC を起動できない場合は、Wake-on-LAN ソフトウェアを再インストールして、クライアント PC を再設定してください。  
顧客はサービス セッションをいつでも終了できます。

#### Mac OS X 用に Wake on LAN を設定するには:

- 1 SMA/SRA 装置上で「ポータル > ポータル」ページを表示して、Wake on LAN を有効にするポータルの「設定」アイコンを選択します。
- 2 「仮想アシスト」タブを選択します。

- 3 「仮想アクセス モードを有効にする」チェックボックスをオンにします。
- ① **メモ**：そのポータルに対して仮想アシストを有効にする必要があります。詳細については、『SonicWall Secure Mobile Access 管理ガイド』を参照してください。
- 4 次に、「Secure Mobile Access 仮想アシスト クライアント設定」ページを表示します。
- 5 「接続設定」を選択します。



- 6 「Wake on LAN をサポート」チェックボックスをオンにして、「OK」を選択します。
- 7 「状況」ポップアップメニューから Wake-on-LAN 項目を選択して、この機能を有効にします。
- 8 「システム プリファレンス > 省電力」に移動して、システムの電力設定を行います。



- 9 「ネットワーク アクセスに対してウェイク」チェックボックスをオンにします。次に、「OK」をクリックします。

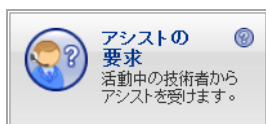
## セキュア仮想アクセス モードの終了

セキュア仮想アクセス セッションから切断すると、システムはサポート キューに戻ります。技術者は後で再びシステムにアクセスできます。個人システムの側からは、ユーザ/技術者がトレイ オプションのアイコンを使用してアプリケーションをアンインストールしたり、終了したりすることができます。

管理者は、キューからシステムを強制的に削除できます。管理者がシステムをキューから強制的に削除すると、セキュア仮想アクセス システムは今後サポート キューへの接続を試行しなくなり、エラー メッセージが表示されます。

## アシストの要求機能の使用

管理インターフェースの「ポータル>ポータル」ページの「仮想アシスト」タブで「サポートの要求」を表示する」オプションが有効になっている場合、仮想オフィス ポータルに「アシストの要求」が表示されます。ポータルでこのボタンを選択すると、ユーザはアシストのために仮想アシストサポート キューに入ります。



顧客の視点から見た仮想アシストの使用については、[顧客側からのセキュア仮想アシスト セッションの開始 \(82 ページ\)](#) を参照してください。

## セキュア仮想ミーティングの使用

ミーティング責任者は、次の手順を実行して、仮想ミーティングをセットアップします。

- ログイン
- ミーティングの予定を立てる
- ミーティング参加者を招待する
- オプションで、招待された参加者を対象に投票を作成する
- ミーティングを開始する
- ミーティング中に、ミーティング機能を使用する
- ミーティングを終了する

実行できる機能は、役割によって、また、ミーティング中かどうかによって異なります。以下のセッションでは、役割とセキュア仮想ミーティングの使用方法について説明します。

- [役割の概要 \(97 ページ\)](#)
- [責任者の役割 \(98 ページ\)](#)
- [参加者の役割 \(117 ページ\)](#)



# 役割の概要

セキュア仮想ミーティングにはいくつかのユーザの役割があります。

- **責任者** (ミーティングのオーナー) - 責任者は、装置上の SMA/SRA ユーザである必要があります。責任者は、ミーティングをスケジュール、セットアップ、および制御します。また、責任者には、参加者をアシスタントに昇格する独占的な権限もあります。
- **アシスタント** (責任者指名のアシスタント) - 責任者は、利用可能な参加者の一覧からアシスタントを選択して、アシスタント権限を割り当てます。責任者がミーティングを終了すると、アシスタントは自動的に責任者になります。1つのミーティングに複数のアシスタントが存在することがあり、全員が同じ権限セットを持つ場合と、各自異なる権限セットを持つ場合があります。アシスタントは SMA/SRA 装置のユーザである必要はありません。アシスタントには、次の権限を割り当てることができます。

- ミーティングを開始/終了する
- ホストを設定する
- 投票を開始する
- ファイル共有
- 「表示のみ」を設定/解除する
- 参加者を招待する
- 参加者を追放する
- ミーティングの予定を変更する

- **ホスト** - ホストは、ミーティングの参加者全員とデスクトップを共有する参加者です。ミーティングが始まると、ホストのデスクトップがすべての参加者に表示されます。

責任者は別の参加者を選択することによって、ミーティング中にホストを交代できます。ミーティングの開始時にホストが明示的に設定されていない場合は、責任者がホストになります。同時に1人の参加者のみをホストに指名できます。

ホストシステムを制御できるのはホストのみです。ただし、参加者が制御を要求し、ホストが権限を与える場合を除きます。ホストは、権限を与える参加者をミーティング参加者の一覧から選択することもできます。同時に1人の参加者のみが、ホストシステムを制御できます。ある参加者がホストシステムの制御権を持っていても、ホストが画面上でマウスポインタを動かした時点で、その参加者は制御権を失います。ミーティングの制御権限の状況は、ロビーにいる参加者全員に表示されます。

- **参加者** (ミーティングに参加する認証情報を持つユーザ) - 参加者は、ミーティングに参加する前にミーティングコードを入力する必要があります。ミーティングへの参加に必要なコードは、ミーティングの前に責任者によって決定されます。ミーティングに参加すると、参加者は共有デスクトップを表示したり、他の参加者とプライベートでチャットしたり、すべての参加者に表示される「チャット」ウィンドウにメッセージを入力したりできます。責任者または必要な権限を持つアシスタントによって選択された参加者は、アシスタントになります。
- **「表示のみ」参加者** (ミーティング機能が制限されるユーザ) - 責任者は、参加者を「表示のみ」参加者に指定できます。「表示のみ」参加者は、権限の割り当てを受けることも、アシスタントやホストになることもできません。

役割は、ミーティング前またはミーティング中に切り替えられます。責任者または必要な権限を持つアシスタントは、ミーティング中に、任意の参加者の役割を変更できます。ホストになりたい参加者は、責任者に権限を要求する必要があります。

# 責任者の役割

仮想ミーティングの責任者は、このセクションに記載したタスクを実行します。

## 責任者タスク

責任者タスク	説明
ログイン	Secure Mobile Access 認証情報を使用して仮想ミーティング クライアントからログインします。
ミーティングのセットアップ	ミーティングの時刻を予定し、ミーティング参加者がミーティングに参加するためのミーティング コードを作成して、ミーティングをセットアップします。
ロビー機能の実行	ミーティング前またはミーティング中に、ロビーの各種ミーティング機能にアクセスします。
役割の制御	ミーティング参加者が実行できる操作を制御し、アシスタントを指名してミーティングを促進します。
ミーティングの設定の修正	プロキシをセットアップするか、ログイン プロファイルをミーティングに合わせて変更します。
動作とメッセージのログ	発生した動作のログを確認し、注意を要する警告またはエラー メッセージの詳細を参照します。
ミーティングの開始	すぐに、または予定時刻にミーティングを開始します。
ミーティング中の操作メニューの使用	ミーティング中に、利用可能な機能にアクセスします。
電子メールの招待状の作成	ミーティング前またはミーティング中に、電子メールでミーティング参加者を招待します。
参加者の投票	参加者が参加する投票を作成します。
ホワイト ボードを表示します。	参加者は、ホワイト ボードにオブジェクト、テキスト、およびハイライトを追加および表示できます。
ファイル共有	ダウンロード可能なファイルを参加者と共有します。
デスクトップ共有	デスクトップの特定のウィンドウ、またはすべてのウィンドウを参加者と共有します。ホワイト ボードの使用
音声会話の開始会話を開始します。	音声会話では、参加者は発言を音声で聞くことができます。
テキスト チャット	全員と、またはミーティング内の特定の個人とチャットします。
ミーティングの録音	ミーティング セッションを .wmv ファイルに録音します。

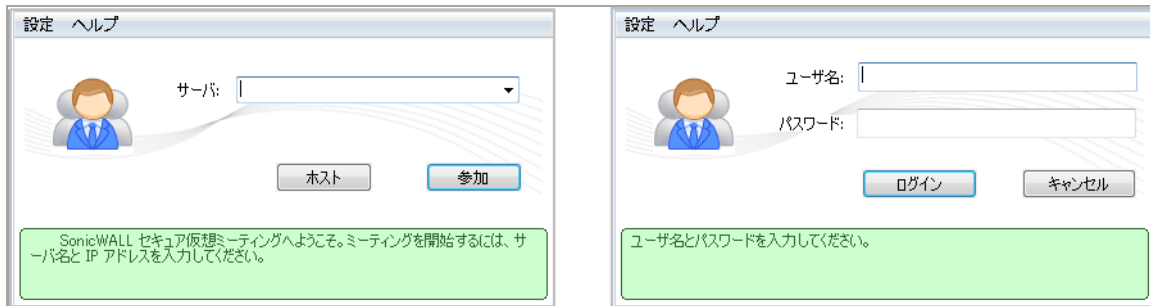
## トピック:

- [ログイン \(99 ページ\)](#)
- [ミーティングのセットアップ \(100 ページ\)](#)
- [ロビー機能の実行 \(101 ページ\)](#)
- [役割の制御 \(102 ページ\)](#)
- [ミーティングの設定の修正 \(104 ページ\)](#)
- [動作とメッセージのログ \(106 ページ\)](#)
- [ミーティング中の制御メニューの使用 \(106 ページ\)](#)
- [電子メールの招待状の作成 \(108 ページ\)](#)
- [投票 \(109 ページ\)](#)

- ホワイトボードの使用 (110 ページ)
- ファイル共有 (111 ページ)
- 単一ウィンドウの共有 (114 ページ)
- 音声会話の開始 (114 ページ)
- テキストチャット (115 ページ)
- ミーティングの録音 (116 ページ)

## ログイン

参加者は、電子メールの招待状に記載されているリンクを選択して、仮想ミーティングに参加できます。また、管理者が AMC の「セキュア仮想ミーティング > 設定」ページで「招待なしでの参加を有効にする」を有効にしている場合は、仮想ミーティングクライアントにログインしても仮想ミーティングに参加できます。インストールされた仮想ミーティングからログインするには、「ホスト」を選択します。

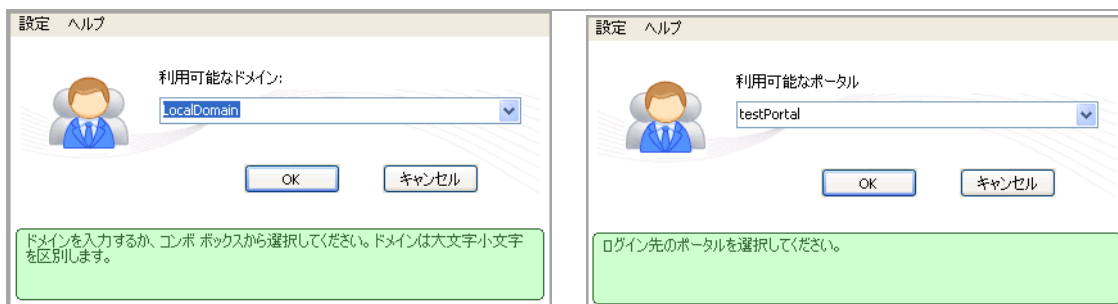


通常的环境下、Secure Mobile Access ユーザのみが責任者になることができ、責任者としてログインするには Secure Mobile Access 認証情報が必要です。ただし、参加者がアシスタントとして選択され、責任者がミーティングを終了した場合は、非 Secure Mobile Access ユーザが責任者になることができます。

また、このミーティングアプリケーションには、SMA 400、SRA 4600、および SMA 500v Virtual Appliance 上の仮想オフィスから直接アクセスできます。



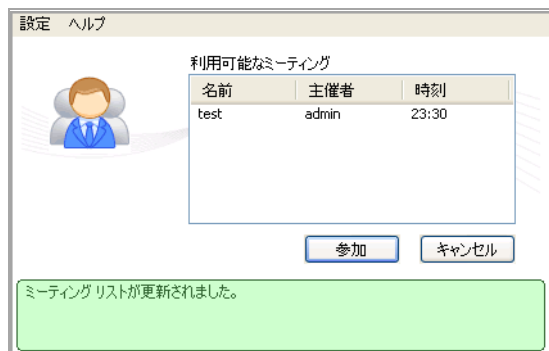
ユーザが複数のドメインに所属している場合は、「利用可能なドメイン」ドロップダウンリストが表示され、仮想ミーティングが複数のポータルで有効になっている場合は、「利用可能なポータル」ドロップダウンリストが表示されます。それ以外の場合は、ドメインとポータルは自動的に選択されます。



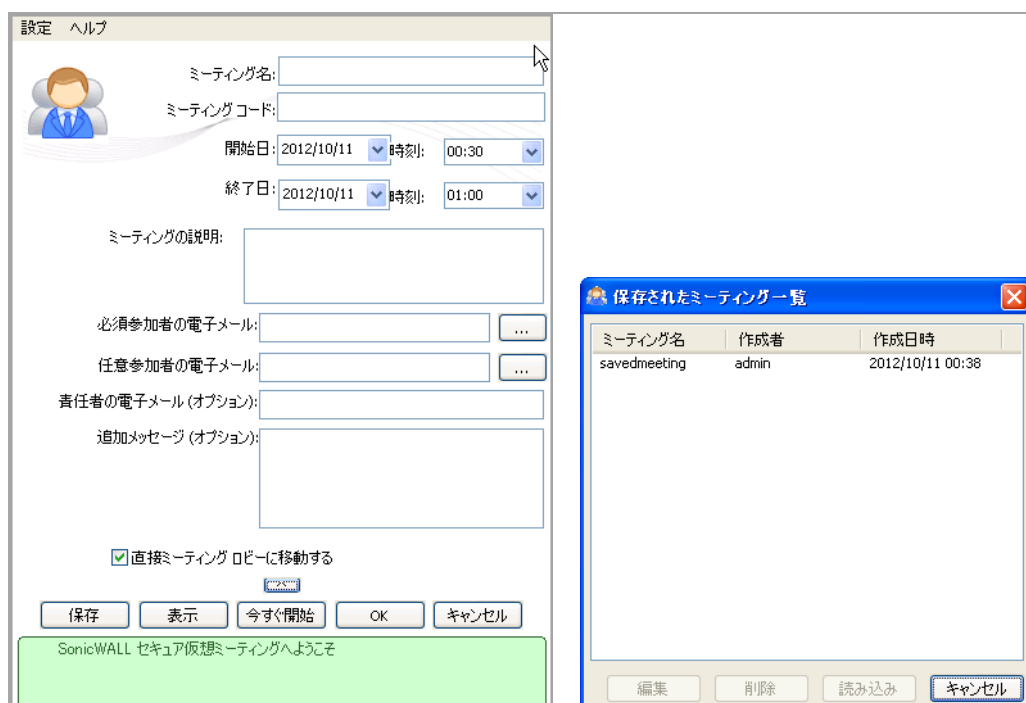
ミーティングに使用するポータルを選択します。選択されたポータル内の参加者のみがミーティングに参加できます。


## ミーティングのセットアップ

システムにログインすると、ミーティングを作成するオプションを利用できます。ミーティングが既に作成されている場合は、目的のミーティングを右クリックし、「プロパティ」を選択して、ミーティングの詳細を表示できます。



ミーティングを作成するには、「作成」を選択してミーティングの作成インターフェースを表示します。



ミーティングをセットアップするには、ミーティング名、ミーティングコード、開始日と時刻、および終了日と時刻を入力します。ミーティングコードは、ミーティングへの参加を希望するすべての参加者によって入力されます。参加者を招待したいが、電子メール用のフィールドが表示されない場合は、「終了日」フィールドの下にある下向き矢印  を直接クリックします。その後、ミーティングへの電子メールの招待状の送信先を指定できます。

ウィンドウ下部のボタンを使用して、次の機能を実行します。

### 「設定」ウィンドウ: ボタン

- 保存**                    ミーティングを保存します。保存したミーティングは後で編集できます。
- 表示**                    保存されているミーティングを表示します。

## 「設定」ウィンドウ: ボタン (続き)

- 今すぐ開始**      現在のユーザのシステム時間でミーティングをすぐに開始して、ロビーに入ります。
- OK**              次に使用可能なタイム スロット (現在時刻に基づいて) ですぐにミーティングを開始して、ロビーに入ります。

ミーティングを作成すると、自動的にミーティングのロビーに入ります。



ミーティングの開始時刻になっていない場合、責任者はいったんミーティングを終了し、ミーティングの開始時刻になるとロビーに戻ります。「ミーティング作成者が不在でもミーティングを開始することを許可する」が無効で、責任者が開始時刻までにミーティングに参加しなかった場合、参加者は予定されたミーティング終了時刻 (すべての参加者が自動的にロビーから退出する時刻) までロビーで待機します。「ミーティング作成者が不在でもミーティングを開始することを許可する」が有効で、責任者が開始時刻までにミーティングに参加しなかった場合、予定開始時刻から 2 分以内に既存の参加者がランダムに選択されて責任者になります。

責任者が入室しているが、ミーティングを開始していない場合、ミーティングの時間が終了すると、責任者はミーティングの予定を変更またはミーティングを終了する通知を受信します。終了時刻になると、ミーティングは終了し、すべてのミーティング参加者は自動的にミーティングを終了します。

ロビーでは、役割に応じて、ミーティングの管理、役割の設定、および各種機能 ([ロビー機能の実行 \(101 ページ\)](#)) を参照) を実行できます。

## ロビー機能の実行

上部のボタンを選択すると、ロビーで次の機能を実行できます。



-  「**ミーティングの開始**」を選択して、ミーティングを開始します。ミーティングを開始できるのは、責任者とアシスタントのみです。
-  ミーティングを開始すると、「**ミーティングの開始**」が「**ミーティングの終了**」に変わります。「**ミーティングの終了**」を選択して、ミーティングを終了します。ミーティングを終了できるのは、責任者とアシスタントのみです。
-  「**投票**」を選択して、投票ウィンドウを開きます。投票ウィンドウでは、現在のミーティング参加者を対象とした投票の読み込み、編集、開始が可能です。投票を開始できるのは、責任者とアシスタントのみです。投票の詳細については、[投票 \(109 ページ\)](#) を参照してください。
-  「**ホワイトボード**」を選択して、すべてのミーティング参加者にホワイトボードを表示します。責任者は、ホワイトボードにオブジェクト、テキスト、およびハイライトを追加できます。ホワイトボードはミーティング中にのみ使用できます。ホワイトボードの詳細については、[ホワイトボードの使用 \(110 ページ\)](#) を参照してください。
-  「**ファイル共有**」を選択して、ファイル共有ウィンドウを開きます。ファイル共有ウィンドウでは、参加者がダウンロードするファイルを選択し、参加者のダウンロードを監視できます。ファイル共有を開始できるのは、責任者とアシスタントのみです。詳細については、[ファイル共有 \(111 ページ\)](#) を参照してください。
-  「**音声会話の開始**」を選択して、ミーティングロビーにいる参加者と音声通信を共有します。音声で聞けるのは、ホストの発言のみです。音声会議の詳細については、[音声会話の開始 \(114 ページ\)](#) を参照してください。
-  音声会議を開始すると、「**音声会話の開始**」が「**音声会話の停止**」に変わります。「**音声会話の停止**」を選択して、音声通信を終了します。
-  「**招待**」を選択して、参加者に電子メールの招待状を送信します。参加者を招待できるのは、責任者とアシスタントのみです。招待の詳細については、[電子メールの招待状の作成 \(108 ページ\)](#) を参照してください。
-  「**共有の開始**」を選択して、ミーティング参加者全員でホストのデスクトップを共有します。共有できるのはミーティング中のみです。
-  デスクトップを共有すると、「**共有の開始**」が「**共有の停止**」に変わります。「**共有の停止**」を選択して、ホストシステムのデスクトップの共有を停止します。共有を停止できるのは、ホストのみです。
-  「**制御の要求**」を選択して、自分にキーボード/マウス制御を与えるようにホストに要求します。制御を要求できるのは、ホスト以外の参加者のみです。
-  「**予定の変更**」を選択して、ミーティングの開始時刻と終了時刻の予定を変更します。ミーティングの予定を変更できるのは、責任者とアシスタントのみです。
-  「**ホストの要求**」を選択して、自分がホストになってデスクトップを共有したいことをホストに伝えます。ホストになることを要求できるのは、その時点でホストではない参加者のみです。
-  「**ミーティングから退席**」を選択して、ミーティングを終了し、ミーティング選択ウィンドウに戻ります。ミーティングに参加している誰もがミーティングから退席できます。

## 役割の制御

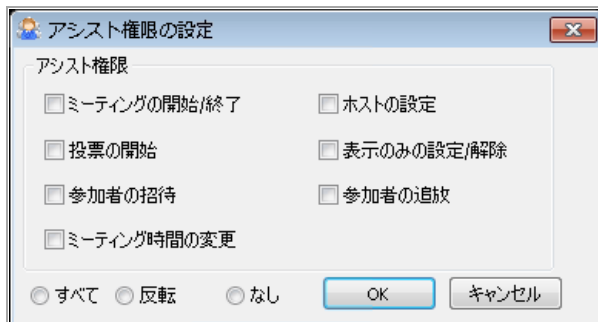
責任者とアシスタントは、ミーティング参加者の名前を右クリックし、ドロップダウンメニューから役割を選択して、ミーティング参加者の役割を変更できます。

キーボード/マウス制御を与える  
 ホストとして設定  
 アシスタントとして設定  
 表示のみとして設定  
 追放

権限とミーティング参加者の現在の役割に応じて、次のオプションが表示されます。

### 割り当てられた役割に基づいたオプション

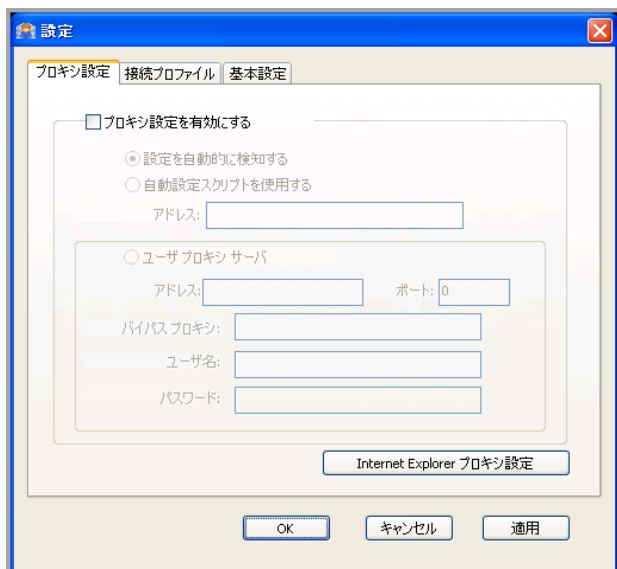
オプション	ユーザ	説明
キーボード/マウス制御を与える	ホスト	選択された参加者がホストの PC を制御できるようになります。
ホストとして設定	責任者 「ホストの設定」権限を持つアシスタント	選択された参加者をホストに設定します。
アシスタントとして設定	責任者	選択された参加者をアシスタントに設定します。アシスタントは、下に示すように、責任者によって指定された設定に応じて、責任者と同等の権限を持ちます。
表示のみとして設定	責任者 アシスタント	選択された参加者を「表示のみ」モードに設定して、ホストのデスクトップの表示のみを許可します (制御を要求することはできません)。
追放	責任者 アシスタント	選択された参加者をミーティングから削除します。



# ミーティングの設定の修正

## プロキシ設定

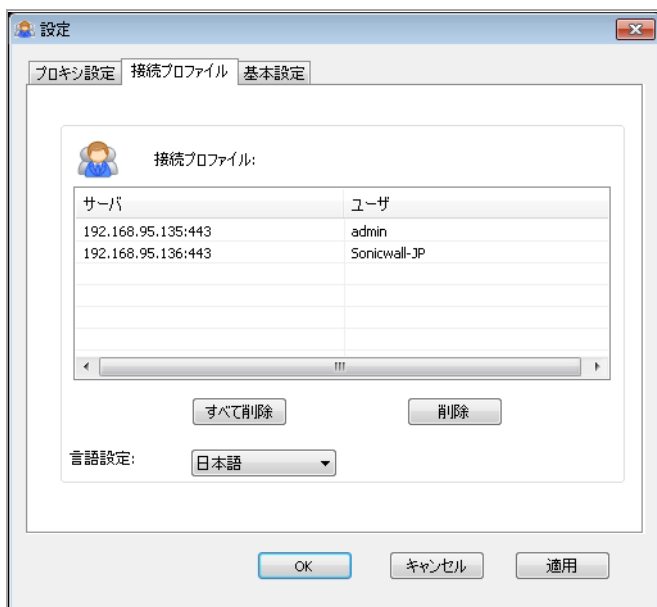
プロキシを必要とするセットアップでは、「仮想ミーティング」ウィンドウの「プロキシ設定」を選択します。「プロキシ設定を有効にする」をオンにします。



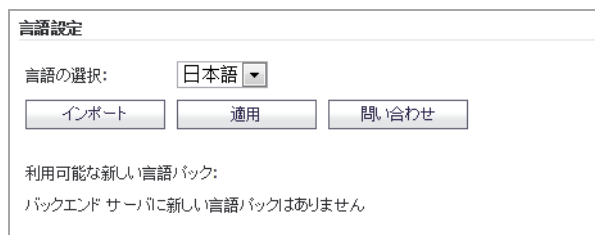
プロキシを使用するために必要な情報を入力するか、「Internet Explorer プロキシ設定」ボタンを選択します。このボタンを選択すると、Internet Explorer 用のプロキシ設定が自動的にインポートされます。

## 接続プロファイル

別の装置にアクセスするユーザが存在する場合、「接続プロファイル」ウィンドウにプロファイルが表示されます。現在使用中のサーバに関する情報は自動的に表示されます。





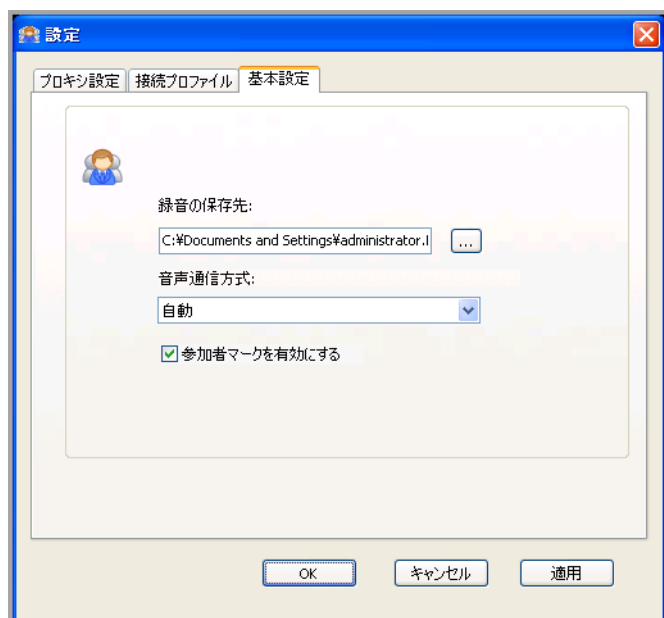


接続プロファイルをすべて削除するには、「すべて削除」を選択します。特定の接続プロファイルを削除するには、削除する接続プロファイルを選択し、「削除」を選択します。


「接続プロファイル」ウィンドウでは、言語設定を変更することもできます。既定の言語は英語です。ドロップダウンメニューから選択して「適用」をクリックすると、言語を変更できます。「問い合わせ」をクリックしてバックエンドサーバからダウンロードできる追加の言語パックを検索し、.zip ファイルの言語パッケージをインポートすることもできます。インポートが完了したら、クライアントがその言語パックを追加し、ドロップダウンメニューに表示されるようになります。

## 基本設定

「基本設定」タブでは、録音の保存先の選択、音声通信方式の選択、および参加者マーク機能の有効化または無効化を行います。

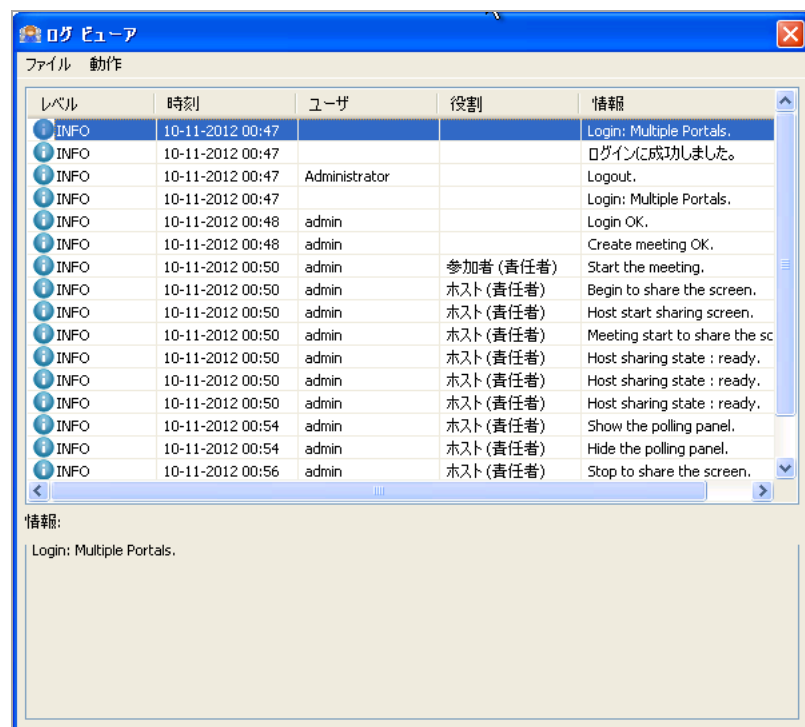


既定の設定を変更するには、以下の手順に従います。

-  (「参照」) を選択して、ミーティングの記録を保存する場所を選択します。
- 「音声通信方式」ドロップダウン リストから、音声会議の転送に使用するプロトコルを選択します。
- 「参加者マークを有効にする」チェックボックスをオンにして、この機能を有効にします。参加者マーク機能は、既定で有効になっています。この機能を使用すると、参加者はホストのデスクトップが共有されている間に、ホストのデスクトップ上の要素をダブルクリックして、ホストに注意を促すことができます。参加者マークは、参加者がダブルクリックした共有デスクトップ上の領域に表示されます。

## 動作とメッセージのログ

ログビューアには、イベント ログ データ (ミーティング中に実行された動作と発生したエラーなど) がすべて表示されます。ログは、ミーティング中に発生したイベントを追跡するのに便利で、ミーティング参加者によって実行された動作がすべて表示されます。ログに記録されたエラーおよび警告イベントに基づいて、必要に応じて適切な対策を行うことができます。




レベル	時刻	ユーザ	役割	情報
INFO	10-11-2012 00:47			Login: Multiple Portals.
INFO	10-11-2012 00:47			ログインに成功しました。
INFO	10-11-2012 00:47	Administrator		Logout.
INFO	10-11-2012 00:47			Login: Multiple Portals.
INFO	10-11-2012 00:48	admin		Login OK.
INFO	10-11-2012 00:48	admin		Create meeting OK.
INFO	10-11-2012 00:50	admin	参加者 (責任者)	Start the meeting.
INFO	10-11-2012 00:50	admin	ホスト (責任者)	Begin to share the screen.
INFO	10-11-2012 00:50	admin	ホスト (責任者)	Host start sharing screen.
INFO	10-11-2012 00:50	admin	ホスト (責任者)	Meeting start to share the sc
INFO	10-11-2012 00:50	admin	ホスト (責任者)	Host sharing state : ready.
INFO	10-11-2012 00:50	admin	ホスト (責任者)	Host sharing state : ready.
INFO	10-11-2012 00:50	admin	ホスト (責任者)	Host sharing state : ready.
INFO	10-11-2012 00:54	admin	ホスト (責任者)	Show the polling panel.
INFO	10-11-2012 00:54	admin	ホスト (責任者)	Hide the polling panel.
INFO	10-11-2012 00:56	admin	ホスト (責任者)	Stop to share the screen.


情報:  
Login: Multiple Portals.


## ミーティング中の制御メニューの使用


操作メニューは、ミーティング中にホストがデスクトップを共有している場合に、共有デスクトップの上部に表示されます。



 「招待」ボタンは、責任者または招待権限を持つアシスタントが使用できます。ロビーが開いていない場合は、招待ダイアログが開きます。招待の詳細については、[電子メールの招待状の作成 \(108 ページ\)](#) を参照してください。

 「投票」ボタンは、責任者または投票権限を持つアシスタントが使用できます。このボタンを選択すると、[投票 \(109 ページ\)](#) 投票ダイアログ (を参照) が開きます。

 「チャット」ボタンは、参加者全員 (「表示のみ」参加者を含む) が使用できます。ロビーが開いていない場合は、チャットダイアログが開きます。チャットの詳細については、[テキストチャット \(115 ページ\)](#) を参照してください。

 「ロビー」ボタンは、ミーティング参加者全員 (「表示のみ」参加者を含む) が使用できます。ミーティング中にロビーが非表示になっており、ホストが画面を共有している場合は、ロビーウィンドウが表示されます。



「オプション」ボタンを選択すると、ミーティングの設定ウィンドウ ([ミーティングの設定の修正 \(104 ページ\)](#)) を参照) が開きます。このボタンは参加者全員が使用できます。



「ビューア」ボタンは、ホスト以外の参加者全員が使用できます。このボタンは、参加者のウィンドウとホストのデスクトップの間で、ウィンドウを切り替えます。



「情報」ボタンは、セキュア仮想ミーティング クライアントとバージョンを示す「バージョン情報」ダイアログを開きます。「情報」ボタンは、ミーティング参加者全員 (「表示のみ」参加者を含む) が使用できます。

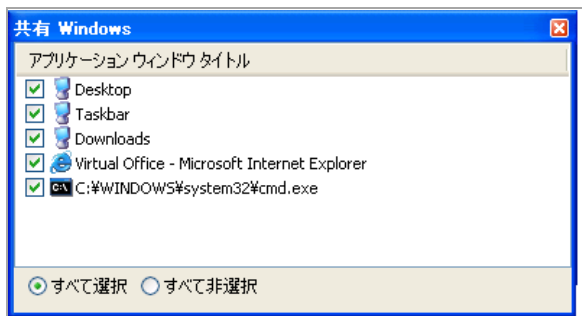


また、参加者はホストのデスクトップが共有されている間に、ホストのデスクトップ上の要素をダブルクリックして、ホストに注意を促すこともできます。参加者マークは、参加者がダブルクリックした共有デスクトップ上の領域に表示されます。この機能は既定で有効になっています。この機能は「設定 > 一般設定」タブで有効/無効にします。

操作メニューの右側に表示されるドロップダウン矢印を選択すると、「アプリ毎の共有」、「ホワイトボード」、および「注釈」の追加機能の一覧が開きます。



「アプリ毎の共有」を使用すると、責任者は、会議参加者と共有する特定のウィンドウ (デスクトップ全体ではなく) を選択できます。この機能を選択すると、共有するウィンドウを選択するウィンドウが表示されます。



「ホワイトボード」を選択すると、ホワイトボードが表示されます。このボタンは「ロビー」ツールバーにも表示されます。詳細については、[ホワイトボードの使用 \(110 ページ\)](#) を参照してください。

「注釈」を使用すると、ミーティング参加者は、ホワイトボード ツールバーを使用して、ホワイトボードにテキスト、オブジェクト、およびハイライトを追加できます。



# 電子メールの招待状の作成

ミーティングの作成時または稼働時に、招待状を送信できます。

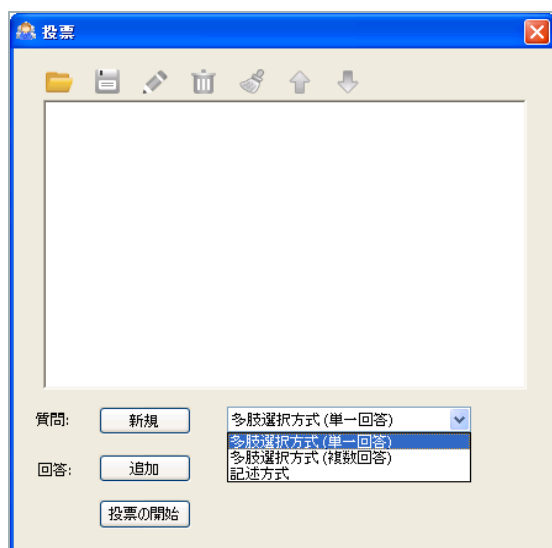
① **メモ**：仮想ミーティングの電子メールを送信するには、管理インターフェースの「ログ > 設定」ページで電子メールの設定が構成されている必要があります。

ユーザを仮想ミーティングに招待するには、電子メール アドレスを入力して「招待」を選択します。追加のフィールドはオプションです。招待されたユーザは次のような電子メールを受信します。

電子メールの招待状を受信した後、参加者は電子メールに記載されているリンクをクリックします。これによって、装置にアクセスし、ミーティングに参加できます。セキュア仮想ミーティングプラグインがインストールされている場合は、アプリケーションが自動的にダウンロードおよび実行され、参加者は自動的にミーティングに入ります。また、参加者はセキュア仮想ミーティングプラグインを手動でダウンロードし、アプリケーションとして実行することもできます。どちらの場合も、ミーティングにアクセスできます。

## 投票

 (「投票の開始」) を選択すると、「投票」ウィンドウが表示されます。このウィンドウでは、投票を作成し、投票の質問を定義できます。



 および  ボタンを選択して、新しい質問を作成します。3種類の質問があります。

- 多肢選択方式 (単一回答)
- 多肢選択方式 (複数回答)
- 記述方式

ウィンドウ上部のボタンを使用して、次の操作を行います。

 「セキュア仮想ミーティングの投票ファイルを開く」ボタンは、保存されている投票の質問と回答の選択肢を開きます。

 「セキュア仮想ミーティングの投票ファイルを保存する」ボタンは、現在の投票の質問と回答を保存します。

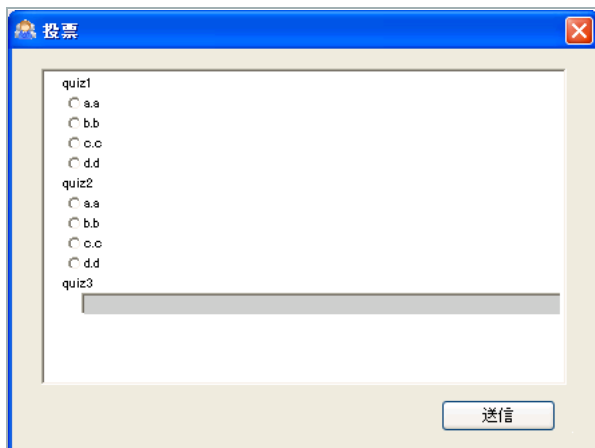
 「編集」ボタンは、現在選択している投票の質問または回答の編集に使用します。

 「消去」ボタンは、投票の質問と回答をすべて削除します。

 および  ボタンは、選択している質問または回答の選択肢の順序を変更します。

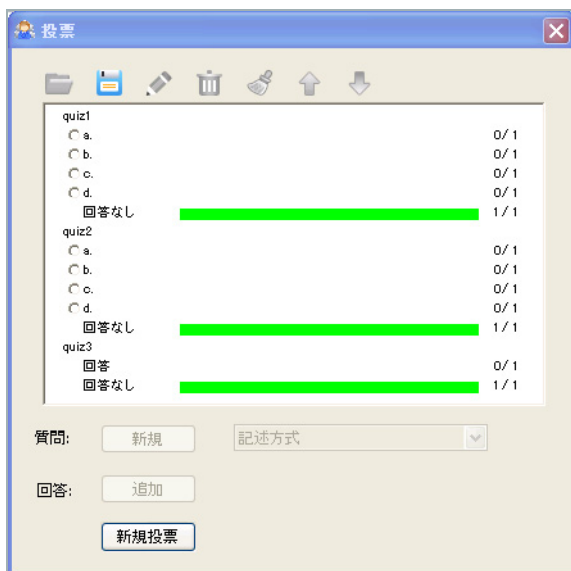
投票の開始

を選択して投票を開始し、選択した参加者に投票を送信して回答を依頼できます。



## 投票のフィードバック ウィンドウ

回答が送信され、「投票の終了」が選択されると、投票作成者に投票のフィードバックが返されます。収集されたフィードバックは次のように表示されます。緑色のバーを選択すると、各回答の詳細情報が表示されます。












## ホワイトボードの使用

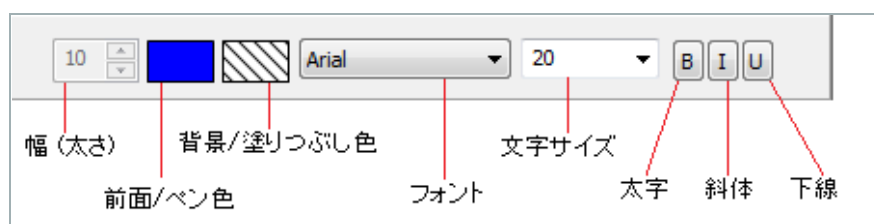
ホストは参加者とホワイトボードを共有できます。ホワイトボード上部にあるツールバーを使用して、ホワイトボードにテキスト、オブジェクト、およびハイライトを追加できます。ホワイトボードに追加するテキスト、オブジェクト、およびハイライトはカスタマイズできます。



ホワイトボードには次のツールがあります。

-  「**選択**」ツールは、ホワイトボードのオブジェクトをポイントするポインタです。このツールが選択されている間は、ホワイトボードに何も追加できません。
-  「**ペン**」ツールは、フリーハンドで図形を描くのに使用します。ペンの色 (既定は黒) と線の太さ (1 ~ 100pt、既定 8pt) は、カスタマイズツールで設定できます。
-  「**ハイライト**」ツールは、フリーハンドで透明な図形を描く特殊なペンです。ハイライトの太さ (1 ~ 100pt、既定 16pt) と透明の濃さ (1 ~ 100、既定 50) は、カスタマイズツールで設定できます。透明の濃さは、によって調整されます。
-  「**線**」ツールは、直線を描きます。線の色 (既定は黒) と太さ (1 ~ 100pt、既定 10pt) は、カスタマイズツールで設定できます。
-  「**四角**」ツールは、長方形を描きます。長方形の辺の色 (既定は黒)、塗りつぶし色 (既定は透明)、および辺の太さ (1 ~ 100pt、既定 5pt) は、カスタマイズツールで設定できます。
-  「**円**」ツールは、ホワイトボードに円を描きます。円の色 (既定は黒)、塗りつぶし色 (既定は透明)、および円の太さ (1 ~ 100pt、既定 5pt) は、カスタマイズツールで設定できます。
-  「**文字**」ツールは、ホワイトボードにテキストを追加します。テキストの色 (既定は黒)、フォント、文字サイズ、およびスタイル (既定 Arial 20pt) は、カスタマイズツールで設定できます。
-  「**消しゴム**」ツールは、ホワイトボードにあるものを消します。消しゴムの太さ (既定 20pt) は、カスタマイズツールで設定できます。
-  「**内容をすべて消去**」ツールは、ホワイトボード上のコンテンツをすべて消去します。

#### カスタマイズツール:



## ファイル共有

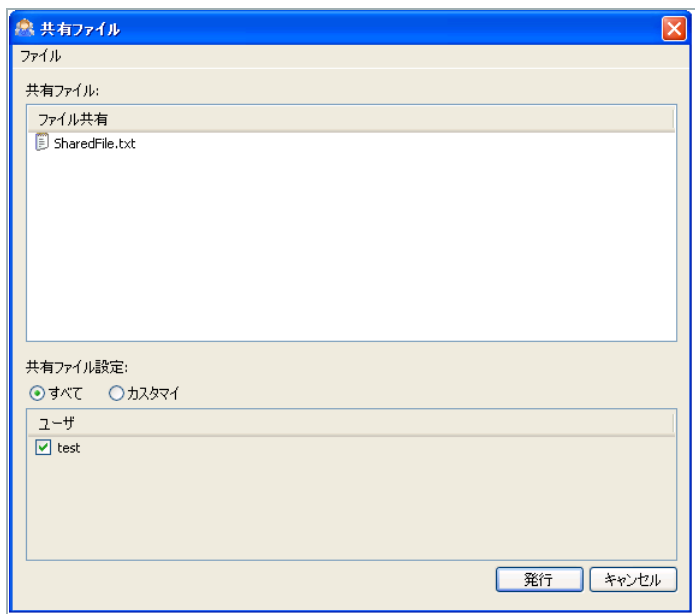
ミーティング中、ホストは参加者とファイルを共有できます。以下を参照してください。


- [Windows 上のファイルの共有 \(112 ページ\)](#)
- [Mac OS X 上のファイルの共有 \(113 ページ\)](#)

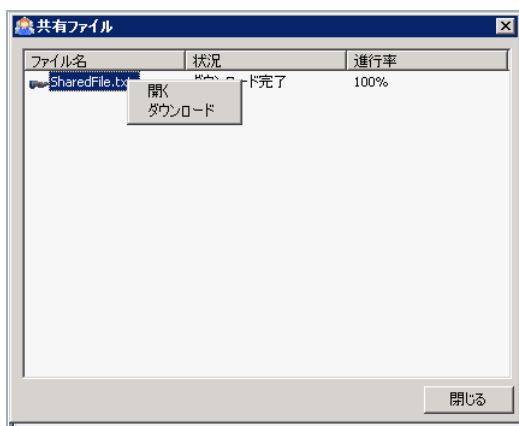
## Windows 上のファイルの共有

Windows 上で参加者とファイルを共有するには:

- 1  (「ファイル共有」) を選択して、「ファイル共有」ウィンドウを表示します。このウィンドウでは、参加者と共有するファイルを選択し、ダウンロードを監視できます。





- 2 ファイルを共有するには、「ファイル共有」ウィンドウのメニューから「ファイル > ファイルの選択」を選択し、ファイルを選択します。
- 3 既定では、ファイルはミーティング参加者全員と共有されます。ファイルを特定のミーティング参加者と共有するには、「カスタマイ」を選択します。
- 4 次に、「発行」を選択して、ファイルがダウンロードできるようになったことを参加者に通知します。  
ファイルをダウンロードできる参加者の一覧を変更するには、いつでもファイルを右クリックして、「設定」を選択します。ダウンロードの一覧からファイルを削除するには、ファイルを右クリックして「削除」を選択します。
- 5 ファイルが発行されると、選択された参加者の画面右下隅に通知が届きます。
- 6 ファイルをダウンロードするには、 (「ファイル共有」) を選択し、ファイルを右クリックして「ダウンロード」を選択します。ファイルがダウンロードされたら、ファイルを右クリックして「開く」を選択します。

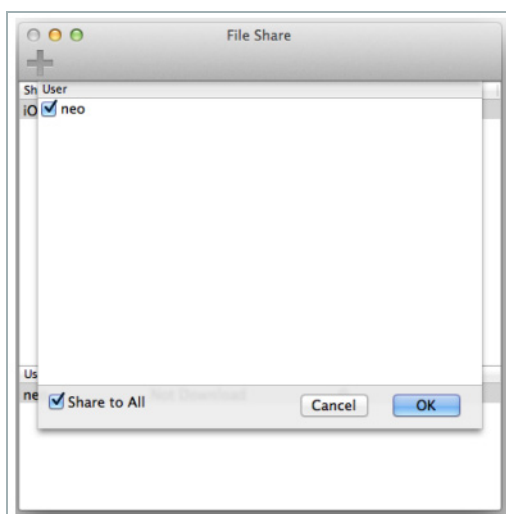




## Mac OS X 上のファイルの共有

Mac OS X 上で参加者とファイルを共有するには:

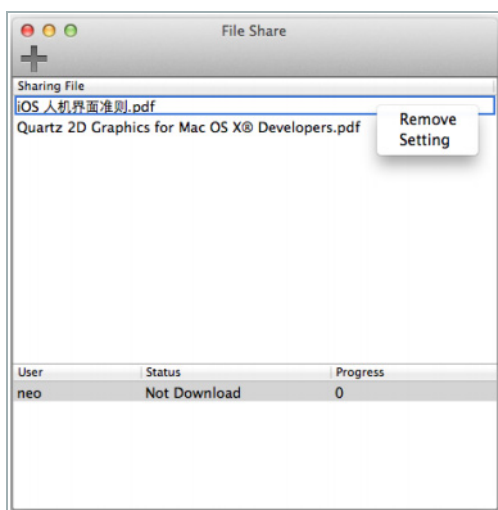
- 1  (「File Share (ファイル共有)」) を選択して、「File Share」ウィンドウを表示します。このウィンドウでは、参加者と共有するファイルを選択し、ダウンロードを監視できます。
- 2 ファイルを共有するには、「File Share」ウィンドウのメニューから「Add (追加)」  を選択し、ファイルを選択します。
- 3 すべてのミーティング参加者とファイルを共有するには、「Share to All」をオンにします。ファイルを特定のミーティング参加者と共有するには、参加者を選択します。次に、「OK」をクリックします。



- 4 参加者の一覧が、「File Share」ウィンドウの下部に表示されます。共有されているファイルが、「File Share」ウィンドウの上部に一覧表示されます。

ファイルを共有状態から削除するには、ウィンドウ内のファイルを右クリックして、「Remove (削除)」を選択します。


ファイル共有ダウンロード リストをリセットするには、ウィンドウ内のファイルを右クリックして、「Setting (設定)」を選択します。「Setting」ウィンドウに追加のオプションが表示されます。

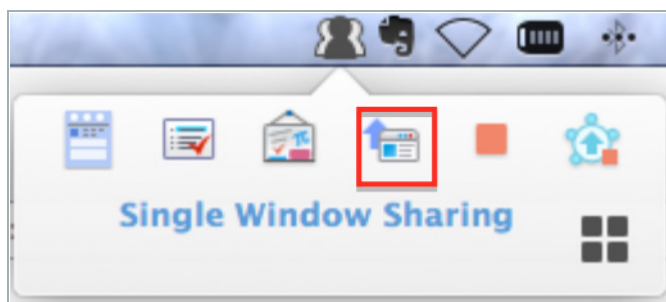


## 単一ウィンドウの共有

ホストは、ミーティング参加者とデスクトップ全体を共有するのではなく、単一のウィンドウだけを共有することができます。

単一ウィンドウを共有するには:

- 1 ポップオーバーアイコンパネルの仮想ミーティングアイコン  を選択します。
- 2 単一ウィンドウ共有アイコンを選択します。



- 3 「共有ウィンドウの選択」画面から共有するウィンドウを選択します。「プレビュー」がオンの場合、ウィンドウを表示することができます。
- 4 「OK」を選択して、ウィンドウの共有を終了します。


## 音声会話の開始

責任者は、ミーティング参加者と一方向の音声通信を共有できます。音声で聞けるのは、ホストの発言のみです。音声通信が開始されると、「ロビー」ウィンドウの「ミーティング参加者」セクションに含まれる各ミーティング参加者の隣にアイコンが表示されます。

Windows の表示:

ミーティング参加者:		
名前	役割	状況
tech	参加者	待機中
user	ホスト	待機中

Mac OS X の表示:

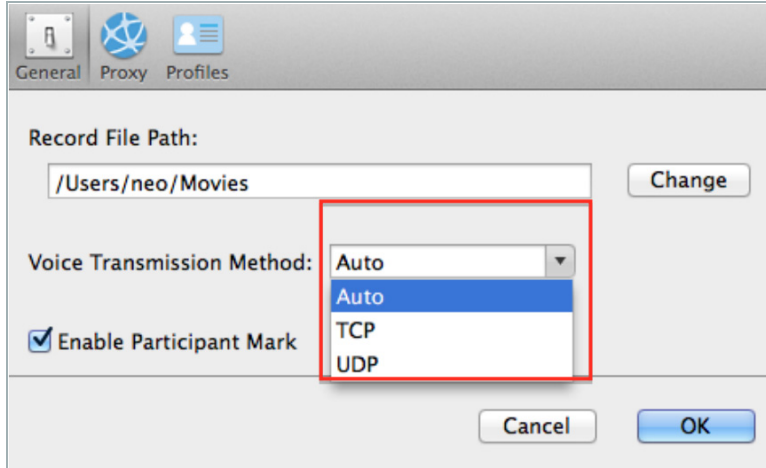
Meeting Members		
Name	Role	State
x	 Host (Coordinator)	Waiting

次の3つの音声会話転送方式から選択できます。

- TCP - ホストが SSL トンネルを使用して音声データを送信し、すべての参加者が SSL トンネルを通じて音声データを受信します。この方式は、HTTP プロキシをサポートしています。

- UDP - ホストが DTLS トンネルを通じて音声データを送信します。この方式は、HTTP プロキシをサポートしていません。
- 自動 - ホストがプロキシ設定に基づいて音声会話転送方式を選択します。

Mac OS X ユーザの場合は、「プリファレンス>一般」画面を表示します。ドロップダウン リストから音声会話転送方式を選択します。

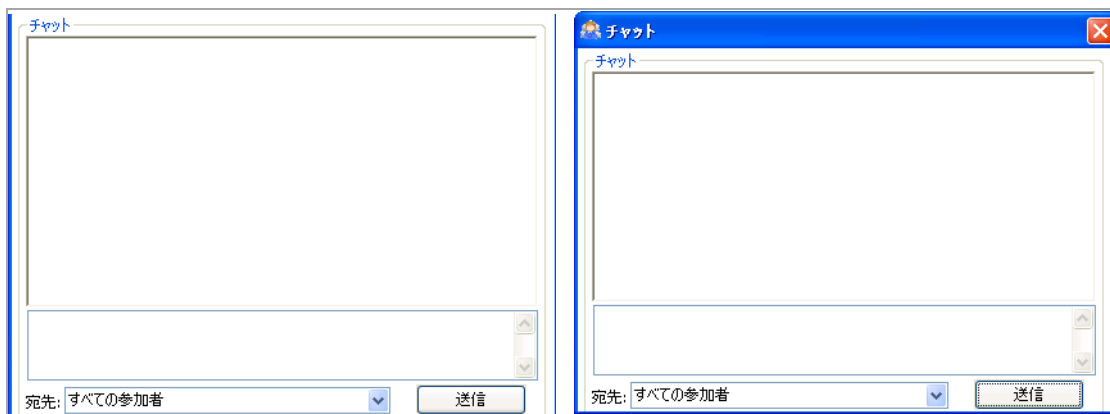



音声通信を使用するには、以下の手順に従います。

- 1 「音声会話の開始」  を選択して、ミーティング ロビーにいる参加者と音声通信を開始します。
- 2 音声会議を開始すると、「音声会話の開始」  が「音声会話の停止」に変更されます。「音声会話の停止」を選択して、音声通信を終了します。

## テキスト チャット

ミーティング参加者全員とチャットするか、選択した 1 人以上の参加者とプライベートでチャットします (どちらの場合も「表示のみ」参加者を含む)。



ミーティングが始まり、ホストが画面を共有している場合に、ロビーが非表示になっているときは、操作メニューの  を選択します。チャット ウィンドウがスタンドアロン チャット ウィンドウに表示されます。

## ミーティングの録音

ミーティング参加者は、ミーティング画面を .wmv ファイルに録音できます。ホストの名前と録音の開始日時が自動的にファイル名として使用されます (Holi\_EST\_2013-2-12\_09h47m43s.wmv など)。ファイルの場所は「接続設定」ウィンドウで設定できます。

### Windows でミーティングを記録するには:

- 1 「記録」を選択して、録音を開始します。記録コントロールがウィンドウの右下に表示されます。



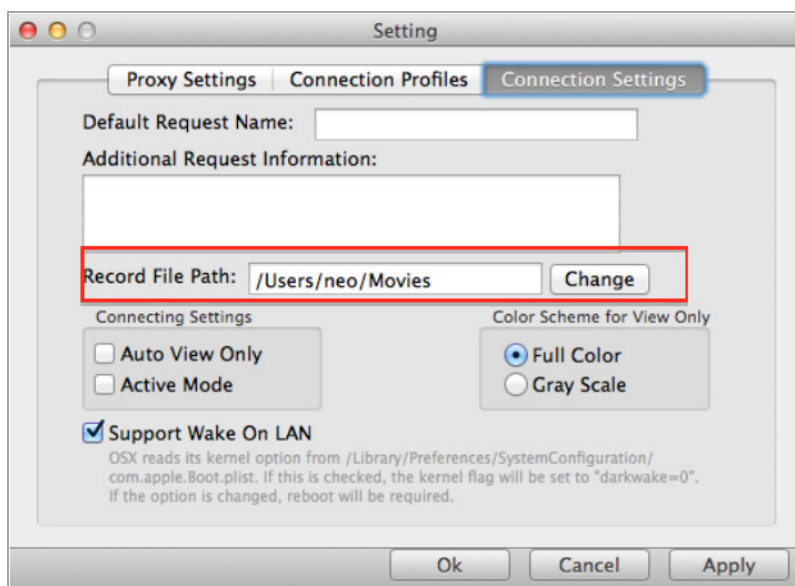
- 2 記録コントロールを使用して、録音を開始、一時停止、および停止します。
- 3 記録を開始すると、「記録」が「記録の停止」に変わります。
- 4 「記録の停止」を選択して、録音を終了します。

### Mac OS X でのミーティングを記録するには:

- 1 技術者視点ツールバーの「記録」アイコン  を選択します。記録ツールバーが表示されます。



- 2 記録ツールバーの「記録の開始」アイコン  を選択します。アイコンが変化して、録音が始まっていることを示します。
- 3 録音を停止するには、「記録の停止」アイコン  を選択します。
- 4 録音されたセッションのファイルパスを「設定 > 接続設定」画面で設定します。「記録済みファイルパス」を指定します。ファイルが .mov ファイルとして保存されます。



- 5 「適用」を選択して変更を保存します。

## 参加者の役割

参加者は、「表示のみ」参加者または通常の参加者として指定できます。「表示のみ」参加者は、他の参加者と同じようにミーティングに参加し、退場することができますが、実行できる機能はほとんどありません。ただし、「表示のみ」参加者は追放されることがあります。これについては他の通常の参加者と同様です。通常の参加者は次の操作も行えます。

- 投票に回答する
- 投票に回答する共有ファイルをダウンロードする
- テキスト チャット
- ホストのキーボード/マウス制御を要求する
- ホストになることを要求し、参加者のデスクトップを共有する
- アシスタントになる
- 「表示のみ」アシスタントになる

### 参加者としてミーティングに参加するには:

- 1 ミーティングへの電子メールの招待状に記載されているリンクを選択するか、「セキュア仮想ミーティング」ウィンドウの「サーバ」フィールドにサーバ名またはIPアドレスを入力します。

The screenshot shows three sequential windows in the SonicWall Secure Mobile Access 9.0 interface:

- Window 1:** Titled "設定 ヘルプ" (Settings Help). It features a "サーバ:" (Server) dropdown menu and "ホスト" (Host) and "参加" (Join) buttons. A green message box at the bottom states: "SonicWALL セキュア仮想ミーティングへようこそ。ミーティングを開始するには、サーバ名と IP アドレスを入力してください。" (Welcome to SonicWALL Secure Virtual Meeting. To start the meeting, please enter the server name and IP address.)
- Window 2:** Titled "設定 ヘルプ" (Settings Help). It features "ユーザ名:" (Username) and "パスワード:" (Password) input fields, and "ログイン" (Login) and "キャンセル" (Cancel) buttons. A green message box at the bottom states: "ユーザ名とパスワードを入力してください。" (Please enter your username and password.)
- Window 3:** Titled "設定 ヘルプ" (Settings Help). It features a "利用可能なポータル" (Available Portals) dropdown menu showing "testPortal" and "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons. A green message box at the bottom states: "ログイン先のポータルを選択してください。" (Please select the portal you want to log in to.)

- 2 必要に応じて、適切なミーティング ポータルを選択します。利用可能なミーティングがすべて表示されます。

The screenshot shows a window titled "設定 ヘルプ" (Settings Help) with a "利用可能なミーティング" (Available Meetings) section. It contains a table with the following data:

名前	主催者	時刻
test	admin	23:30

Below the table are "参加" (Join) and "キャンセル" (Cancel) buttons. A green message box at the bottom states: "ミーティング リストが更新されました。" (Meeting list updated.)

- 3 参加するミーティングを選択し、「参加」を選択します。ミーティングに参加するためのミーティングコードを入力する必要がある場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

- 4 ミーティングへの電子メールの招待状に記載されているミーティングコードを入力し、「OK」を選択して、ミーティングに参加します。ミーティングに参加すると、ミーティングロビーに入ります。

名前	役割	状況
tech	参加者(責任者)	待機中
test	参加者	待機中

## ファイル共有の使用

ファイル共有は、CIFS (Common Internet File System) プロトコルまたは SMB (Server Message Block) プロトコルを使用した、Microsoft ファイル共有への安全な HTML ベースのインターフェースをリモートユーザに提供します。ファイル共有では、Microsoft のネットワーク コンピュータやマイ ネットワークによく似たスタイルのウェブ インターフェースが採用されており、適切な権限を持つユーザがネットワーク共有を参照して、ファイルの名前変更、削除、取得、アップロードを行ったり、ブックマークを作成して後で参照したりすることができます。

ファイル共有アプレットは、Windows Explorer と同様の方法でナビゲーション操作を実行できるように作られており、既存ファイルの上書きやディレクトリのアップロードなど、HTML ベースのファイル共有では使用できない機能も備えています。

### トピック:

- [ファイル共有アプレットの使用 \(119 ページ\)](#)
- [HTML ベースのファイル共有の使用 \(121 ページ\)](#)

## ファイル共有アプレットの使用

ファイル共有アプレットは、Windows Explorer ツールに似た外観と操作性を持ち、ドラッグ アンド ドロップや複数ファイル選択などの機能を使用できます。また、ブックマークを設定して、ネットワークをポータル レベルから素早くナビゲートできるようにすることも可能です。この機能は、ネットワークやサーバパスの切り替えに要する時間の節約に役立ちます。このアプレットでは、HTTPS プロトコルの使用により、SMA/SRA 装置との間のファイルや情報の転送を暗号化された形で安全に実行できます。このアプライアンスは、リモート ネットワークにある個々のマシンとこのデータのやりとりを行います。

### トピック:

- [ユーザの前提条件 \(119 ページ\)](#)
- [設定の概要 \(120 ページ\)](#)

## ユーザの前提条件

Secure Mobile Access でサポートされるウェブ ブラウザの一覧は、[ブラウザの要件 \(9 ページ\)](#)に記載されています。最適なパフォーマンスを実現するには、この一覧の中の最新のバージョンを使用してください。

管理者は、ファイル共有アプレットを有効にしてユーザが使用できる状態にしておく必要があります。

いずれかのコンピュータを、Secure Mobile Access ファイル共有アプレットからのアクセスを許可するように設定して、アプレットによるログインが可能な状態にしておく必要があります。リモート コ

コンピュータに、コピーまたは移動する対象となる共有フォルダやファイルがある必要があります。共有ポリシーは、リモート コンピュータのオペレーティング システムで設定する必要があります。

## 設定の概要

ファイル共有アプレットは、直感的な操作で簡単に使用できます。しかし、その機能と制限を正しく理解しておくことは重要です。このセクションでは、ブックマークの設定とブラウザ インターフェイスについて説明し、ブラウザの概要といくつかの使用事例を紹介します。

### トピック:

- [ブックマークの設定 \(120 ページ\)](#)
- [HTML ベースのファイル共有の使用 \(121 ページ\)](#)

## ブックマークの設定

ブックマークはフォルダおよびファイルに対して設定できます。ファイル ブックマークを使用した場合はアプレットは起動されず、そのファイルが直接ダウンロードされて開かれます。ブックマークは、管理者によって有効化されている必要があります。

### 仮想オフィス ポータルからブックマークを設定するには:

- 1 ウェブ ブラウザを開き、Secure Mobile Access 仮想オフィスの URL を「場所」または「アドレス」バーに入力して Enter キーを押し、仮想オフィスのインターフェイスにログインします。ユーザ名を「ユーザ名」フィールドに、パスワードを「パスワード」フィールドに入力し、適切なドメインを「ドメイン」ドロップダウンから選択します。「ログイン」を選択します。
- 2 ポータル ページ中央の「編集コントロールを表示する」リンクを選択します。
- 3 ポータル ページの「新しいブックマーク」タブを選択します。

### Welcome to the SonicWall Virtual Office

SonicWall's Virtual Office provides easy and secure remote access to the corporate network from anywhere on the Internet.

Click a pre-defined bookmark or create your own to securely access a corporate network resource.

Launch NetExtender to create a secure network connection to the corporate network for full network access.

 **NetExtender** 切断  
選択すると接続します

 **ファイル共有**  
ネットワーク上の共有ファイルを操作します。

 **仮想アシスト**  
ユーザのコンピュータの制御を得ることでアシストします。

 **仮想ミーティング**  
ウェブ ミーティングを開催します。

ブックマークの表示:  [編集コントロールを表示する](#)

 **rdweb-2017**  
セキュア ウェブ (HTTPS)

 **Win2012\_broker@rdsfarm**  
ターミナル サービス (RDP)

### ヒント/ヘルプ

**自身のパスワードをどうやって変更できますか?**  
リモート デスクトップ セッションまたはウェブ ページを通してパスワードを変更できます。細かい手順については、管理者にお問い合わせください。

**NetExtender とは何ですか?**  
NetExtender は保護されたネットワーク接続を作成し、ローカル ネットワーク上でアクセスしているかのように、ネットワーク資源 (サーバおよびウェブ サイト) へのアクセスを可能にします。

**ファイル共有とは何ですか?**  
ファイル共有は、ローカル ネットワーク内のファイルへリモートからアクセスすることを可能にします。また、リモート コンピュータからローカル ネットワークにファイルをコピーすることもできます。

**セキュア仮想アシストとは何ですか?**  
セキュア仮想アシストは、顧客のコンピュータの制御を行うことで、顧客の監視下でのリモート サポートを可能にします。

**どうやってブックマークを追加できますか?**  
「編集コントロールを表示する」(ブックマーク テーブルの上の右側) を選択して、「新しいブックマーク」を選択します。これらのオプションが無い場合は、管理者がブックマークを追加する権限を与えていません。



- 4 「ブックマークの追加」画面が表示されます。ブックマークのわかりやすい名前を「ブックマーク名」フィールドに入力します。

ブックマークの追加

ブックマーク名: \* 10.0.61.62

名前または IP アドレス: \* 10.0.61.62

説明: CIFS

種別: Favorites

サービス: ファイル共有 (CIFS)

特定のファイルフォルダにアクセスするユーザを設定する

自動的にログインする

- SSL VPN アカウント認証情報を使用する
- SSO にログインドメインを使用する
- 個別認証情報を使用する

Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する

OK キャンセル

ヒント/ヘルプ

ヘルプ検索

ファイル共有 Java アプレットとは何ですか?

このアプレットは通常優先されるバージョンのファイル共有です。これは、ドラッグアンドドロップと複数ファイルの同時コピーといった機能をサポートします。Java をインストールしていない場合は、このアプレットを無効にして、代わりに基本的なブラウザベースのインターフェースを使用できます。

- 5 ファイル共有の IP アドレスとファイル ディレクトリパスを「名前または IP アドレス」フィールドに入力します。

**メモ:** 「名前または IP アドレス」フィールドにはファイル ディレクトリを入力し、最後に / または \ 文字を付加する必要があります。

- 6 「サービス」ドロップダウンメニューで、「ファイル共有 (CIFS)」オプションを選択します。
- 7 オプションで、「自動的にログインする」を選択すると、Secure Mobile Access 認証情報を使用するか、個別認証情報を指定してこのファイル共有にログインできます。
- 8 「追加」を選択します。

ブックマークは、さまざまなネットワーク ロケーションに素早くアクセスするための便利なショートカットとして利用できます。ブックマークの設定は、ファイル共有ブラウザにおいて、「ブックマーク」を選択する方法や、右クリックメニューのブックマーク オプションを使用する方法でも行えます。

## HTML ベースのファイル共有の使用

ファイル共有は、CIFS (Common Internet File System) プロトコルまたは SMB (Server Message Block) プロトコルを使用して、Microsoft ファイル共有への安全なウェブ インターフェースをリモート ユーザに提供します。ファイル共有では、Microsoft のネットワーク コンピュータやマイ ネットワークによく似たスタイルのウェブ インターフェースが採用されており、適切な権限を持つユーザがネットワーク共有を参照して、ファイルの名前変更、削除、取得、アップロードを行ったり、ブックマークを作成して後で参照したりすることができます。

**メモ:** サーバを指定するには名前か IP アドレスを用いて、たとえば、「\\moosedc」や「\\10.50.165.2」というように指定します。名前を使うためには、管理者が SMA/SRA 装置上で DNS または WINS を適切に設定してホスト名を解決できるようにしておく必要があります。

## ファイル共有を作成するには:

- 1 「ファイル共有」を選択します。ログイン プロンプトへのホット リンクを提供するダイアログボックスが表示されます。



**メモ:** ポップアップ遮断機能のためにファイル共有が正常に機能しないことがあります。Secure Mobile Access ポータル サイトでウィンドウのポップアップを許可するようにブラウザを設定してください。

- 2 新しい共有を指定するには、「アドレス」フィールドにパス (たとえば、\\moosedc) を入力します。共有名の先頭に2つの\を付ける必要があります。以下に例を示します。  
\\file-directory01.example.com
- 3 既存のファイル共有に接続するには、ファイル共有名の横にある「サーバにログインする」リンクを選択します。
- 4 「移動」プロンプトを選択して「ネットワーク パスワードの入力」ダイアログボックスを表示します。
- 5 有効なユーザ名を「ユーザ名」フィールドに、パスワードを「パスワード」フィールドに入力し、「ログイン」を選択します。

資格情報を入力してください:

ユーザ名:

パスワード:

ドメイン:

- 6 指定したファイル共有のホームが表示され、ネットワーク上でナビゲートできるフォルダが表示されます。



次の**ファイル共有のコントロール**表に、「ファイル共有」ウィンドウの上部にあるコントロールの説明を示します。

#### ファイル共有のコントロール

ボタン	説明
戻る	以前のファイル共有位置へ移動します。
進む	以前のファイル共有位置へ進みます (「戻る」を押した後で有効になります)。
再読み込み	現在のフォルダを再度読み込んで変更を反映させます。
上へ	移動
削除	選択したフォルダやファイルを削除します。フォルダは空の場合のみ削除できることに注意してください。フォルダ内にファイルがある場合は、エラーメッセージが表示されます。フォルダ内のファイルをすべて削除してから、フォルダを削除してください。
名前の変更	フォルダやファイルの名前を変更します。「 <b>選択</b> 」列の下の各項目のチェックボックスをオンにすると、その項目が選択されます。
ブックマーク	現在のファイル共有位置に新しいブックマークを作成します。
ログアウト	ファイル共有サービスからログアウトします。

- 7 Windows Explorer やその他のファイル管理システムと同じようにして、フォルダやファイルへ移動することができます。
- 8 現在のファイル共有位置に新しいフォルダを追加するには、フォルダの名前を「**フォルダの追加**」フィールドに入力し、「**実行**」を選択します。
- 9 現在のファイル共有位置にファイルを追加するには、「**参照**」を選択します。表示された「**ファイル選択**」ウィンドウ内でコンピュータ上のファイルの位置まで移動し、そのファイルを選択して「**OK**」を選択し、「ファイル共有」ウィンドウで「**実行**」を選択します。

## ブックマークの管理

ブックマークとは、特定の場所やアプリケーションに簡単に素早く接続できるようにするためのオブジェクトです。仮想オフィスのブックマークシステムでは、グループとユーザの両方のレベルでブックマークを作成できます。管理者は該当ユーザに適用されるグループブックマークとユーザブックマークを作成でき、各ユーザもユーザレベルで個人の専用ブックマークを作成することができます。

ブックマークはセキュリティ装置のローカル設定ファイルに保存されるので、グループおよびユーザのブックマークを定義済みのグループおよびユーザエンティティと対応づける必要があります。ローカルグループおよびユーザ (LocalDomain) を操作するときは、管理者が機器上のグループおよびユーザを手動で定義しなければならないので、対応づけが自動的に行われます。同様に、外部 (非 LocalDomain) グループを操作するときは、外部ドメインの作成によって対応するローカルグループが作成されるので、この対応づけが自動化されます。

しかし、外部のユーザを操作するときは、ユーザ作成 (個人) ブックマークを SMA/SRA 装置の設定ファイル内に保存できるように、ローカルユーザエンティティが存在していなければなりません。ブックマークを SMA/SRA 装置自体に保存する必要があるのは、LDAP、RADIUS、および NT 認証の外部ドメインが、ブックマークなどの情報を保存する仕組みを提供していないからです。

個人のブックマークを使いたい外部ドメインユーザのために管理者がローカルユーザを手動で作成しなくて済むように、Secure Mobile Access では、外部ドメインユーザが仮想オフィスにログインしたとき、対応するローカルユーザエンティティを自動的に作成します。

以下のセクションでは、ブックマークに関する基本的なタスクについて説明します。

- [ブックマークの追加 \(124 ページ\)](#)
- [ブックマークの編集 \(139 ページ\)](#)
- [ブックマークの削除 \(139 ページ\)](#)
- [ブックマークの使用 \(139 ページ\)](#)

## ブックマークの追加

ブックマークを使用すると、頻繁に接続するリモートネットワーク上のウェブ、FTP、その他のサービスに簡単にアクセスできます。

## ブックマークを定義するには:

- 1 「仮想オフィス」ウィンドウのブックマーク テーブル上部にある「新しいブックマークの作成」をクリックします。

**Welcome to the SonicWall Virtual Office**

SonicWall's Virtual Office provides easy and secure remote access to the corporate network from anywhere on the Internet.

Click a pre-defined bookmark or create your own to securely access a corporate network resource.

Launch NetExtender to create a secure network connection to the corporate network for full network access.

**NetExtender** ②  
切断  
選択すると接続します

**ファイル共有** ②  
ネットワーク上の共有ファイルを操作します。

**仮想アシスト** ②  
ユーザのコンピュータの制御を得ること  
でアシストします。

**仮想ミーティング** ②  
ウェブ ミーティングを開催します。

ブックマークの表示:

**rdweb-2017**  
セキュア ウェブ (HTTPS)

**Win2012\_broker@rdsfarm**  
ターミナル サービス (RDP)

**ヒント/ヘルプ**

ヘルプ検索

自身のパスワードをどうやって変更できますか?  
リモート デスクトップ セッションまたはウェブ ページを通してパスワードを変更できます。細かい手順については、管理者にお問い合わせください。

**NetExtender とは何ですか?**  
NetExtender は保護されたネットワーク接続を作成し、ローカル ネットワーク上でアクセスしているかのように、ネットワーク資源 (サーバおよびウェブ サイト) へのアクセスを可能にします。

**ファイル共有とは何ですか?**  
ファイル共有は、ローカル ネットワーク内のファイルリモートからアクセスすることを可能にします。また、リモートコンピュータからローカル ネットワークにファイルをコピーすることもできます。

**セキュア仮想アシストとは何ですか?**  
セキュア仮想アシストは、顧客のコンピュータの制御を行うことで、顧客の監視下でのリモート サポートを可能にします。

どうやってブックマークを追加できますか?  
「編集コントロールを表示する」(ブックマーク テーブルの上の右側) を選択して、「新しいブックマーク」を選択します。これらのオプションが無い場合は、管理者がブックマークを追加する権限を与えていません。

- 2 「ブックマークの追加」画面で、ブックマークのわかりやすい名前を「ブックマーク名」フィールドに入力します。

**ブックマークの追加**

ブックマーク名: \*

名前または IP アドレス: \*

説明:

権別:

サービス:

特定のファイル/フォルダにアクセスするユーザを設定する ②

自動的にログインする

- SSL VPN アカウント認証情報を使用する
  - SSO にログイン ドメインを使用する ②
- 個別認証情報を使用する

Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する ②

**ヒント/ヘルプ**

ヘルプ検索

**ファイル共有 Java アプレットとは何ですか?**  
このアプレットは通常優先されるバージョンのファイル共有です。これは、ドラッグアンドドロップと複数ファイルの同時コピーといった機能をサポートします。Java をインストールしていない場合は、このアプレットを無効にして、代わりに基本的なブラウザ ベースのインターフェースを使用できます。

- 3 LAN 上のホスト コンピュータのドメイン名、IP アドレス、または IPv6 アドレスを「名前または IP アドレス」フィールドに入力します。IPv6 アドレスは角かっこ ([ ]) で囲む必要があります。現在のユーザ名を表示するために、ワイルドカード変数 %USERNAME% を入力することもできます。変数は大文字と小文字が区別されます。
- 4 「説明」フィールドに、ブックマーク テーブル内に表示するわかりやすい説明を必要に応じて入力します。

- 5 必要に応じて、「種別」フィールドにブックマークを表示するタブを、コンマで区切って列挙します。標準のタブ (デスクトップ、ウェブ、ファイル、ターミナル、モバイル) は指定する必要がありません。たとえば、「お気に入り, タブ 1, タブ 2」と指定します。
- 6 「ユーザに編集/削除を許可」ドロップダウン リストからユーザの権限レベルを選択します。「ユーザポリシーを使用」、「許可」、または「拒否」を選択できます。
- 7 サービスの種類を「サービス」ドロップダウン リストで選択します。以下のサービスを選択できます。

#### デスクトップ

- ターミナル サービス (RDP)
- 仮想ネットワーク コンピューティング (VNC)
- Citrix Portal (Citrix)

#### Web

- ウェブ (HTTP)
- セキュア ウェブ (HTTPS)
- 外部ウェブ サイト
- Mobile Connect

#### ファイル

- ファイル共有 (CIFS)
- ファイル転送プロトコル (FTP)
- SSH ファイル転送プロトコル (SFTP)

#### ターミナル

- Telnet
- セキュア シェルバージョン 2 (SSHv2)

- 8 「OK」をクリックして新しいブックマークを作成します。

以下のセクションでは、各種ブックマークの追加について詳細に説明します。

- [RDP ブックマーク \(127 ページ\)](#)
- [VNC ブックマーク \(133 ページ\)](#)
- [Citrix ブックマーク \(135 ページ\)](#)
- [ウェブ ブックマーク \(137 ページ\)](#)
- [Mobile Connect ブックマーク \(138 ページ\)](#)
- [FTP ブックマーク \(138 ページ\)](#)
- [SSHv2 ブックマーク \(138 ページ\)](#)

設定が更新されると、仮想オフィスのブックマーク テーブルに新しいブックマークが表示されません。ブックマーク記述を選択すると、ブックマーク定義位置に移動します。

# RDP ブックマーク

RDP ブックマークは、その他のブックマークでは使用できない機能をいくつか備えています。

サービス:	ターミナル サービス (RDP) ▼ ⓘ
画面サイズ:	全画面 ▼
画面の色:	ハイカラー (16 ビット) ▼
アクセス種別の選択:	スマート <input checked="" type="radio"/> 手動 <input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> Wake on LAN を有効にする	
MAC/イーサネット アドレス:	<input type="text"/>
起動待ち時間 (秒):	<input type="text" value="90"/>
<input type="checkbox"/> WOL パケットをホスト名または IP アドレスに送信する ⓘ	
アプリケーションおよびパス:	<input type="text"/> ⓘ
次のフォルダから開始:	<input type="text"/>
コマンドライン引数: * HTML5 以外	<input type="text"/> ⓘ
クライアント コンピュータ名:	<input type="text"/> ⓘ
	* HTML5 用
<input type="checkbox"/> コンソール/管理者セッションとしてログインする	
<input type="checkbox"/> サーバは TS ファーム ⓘ * HTML5 以外	
負荷分散情報:	<input type="text"/> ⓘ
既定のキーボード レイアウト:	英語 (米国) ▼
	* HTML5 用
<input checked="" type="checkbox"/> 詳細な Windows オプションを表示 ⓘ	
<input type="button" value="RDP オプションのインポート"/> ⓘ	
<input checked="" type="checkbox"/> 自動的にログインする	
<input checked="" type="radio"/> SSL VPN アカウント認証情報を使用する	
<input type="checkbox"/> SSO にログイン ドメインを使用する ⓘ	
<input type="radio"/> 個別認証情報を使用する	
<input type="checkbox"/> Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する ⓘ	
<input type="button" value="OK"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>

リモート コンピュータを RDP アクセス可能に設定する方法については、次のセクションを参照してください。

- [リモート コンピュータのフルネームまたは IP アドレスを調べる \(132 ページ\)](#)
- [リモート コンピュータでリモート デスクトップ アクセスを設定する \(132 ページ\)](#)

## RDP ブックマークを作成するには:

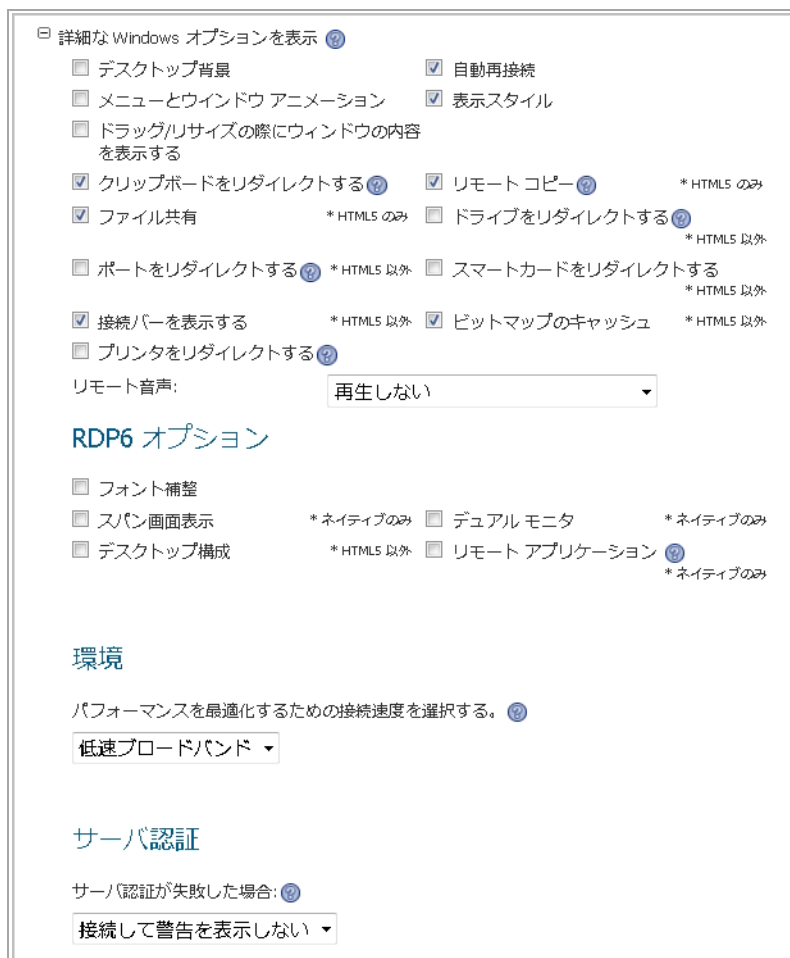
- 1 ブックマークに付ける名前を「**ブックマーク名**」フィールドに入力します。
- 2 アクセスするリソースの名前または IP アドレスを「**名前または IP アドレス**」フィールドに入力します。IPv6 アドレスを使用することもできます。
- 3 「**説明**」フィールドに、ブックマークの簡単な説明を入力します。
- 4 「**種別**」フィールドに、ブックマークを表示するタブを、コンマで区切って列挙します。

- 「サービス」リストから「ターミナル サービス (RDP)」を選択します。標準のタブ (デスクトップ、ウェブ、ファイル、ターミナル、モバイル) は指定する必要がありません。
- 続いて、RDP ブックマークに固有の設定を行います。RDP ブックマーク オプション 表に設定に関する情報を示します。

#### サービス / ブックマーク / ブックマークの追加

ブックマーク所有者:	グローバル ブックマーク
ブックマーク名: *	<input type="text"/>
名前または IP アドレス: *	<input type="text"/>
説明:	<input type="text"/>
種別:	<input type="text"/>
サービス:	ターミナル サービス (RDP)
画面サイズ:	全画面
画面の色:	ハイ カラー (16 ビット)
アクセス種別の選択:	スマート <input type="radio"/> 手動 <input checked="" type="radio"/> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">HTML5</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">Native</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 5px;"> <span>↑</span> <span>↓</span> </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; gap: 5px;"> <span>✖</span> <span>✓</span> </div> </div> <input type="checkbox"/> 起動時に選択する
<input type="checkbox"/> Wake on LAN を有効にする	
アプリケーションおよびパス:	<input type="text"/>
次のフォルダから開始:	<input type="text"/>
コマンドライン引数: * HTML5 以外	<input type="text"/>
クライアントコンピュータ名: * HTML5 用	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/> コンソール/管理者セッションとしてログインする	
<input type="checkbox"/> サーバは TS ファーム * HTML5 以外	
負荷分散情報:	<input type="text"/>
既定のキーボードレイアウト: * HTML5 用	英語 (米国)
<input checked="" type="checkbox"/> 詳細な Windows オプションを表示	
<div style="border: 1px solid gray; padding: 2px; display: inline-block;">RDP オプションのインポート</div>	
<input checked="" type="checkbox"/> 自動的にログインする	
<input checked="" type="radio"/> SSL VPN アカウント認証情報を使用する <input type="checkbox"/> SSO にログイン ドメインを使用する	
<input type="radio"/> 個別認証情報を使用する	
<input type="checkbox"/> Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する	





## RDP ブックマーク オプション

オプション	使用法
画面サイズ	このブックマークの実行時に使用する既定の画面サイズを選択します。現在のデスクトップ画面のサイズと同じかそれより小さいサイズを選択するとよいでしょう。RDP ブックマークには「全画面」のオプションもあり、これで RDP ウィンドウが全画面モードで表示されます。RDP ウィンドウからデスクトップに戻るには、 <b>Alt-Tab</b> を押します。
画面の色	このブックマークの実行時に使用する既定の色深度を選択します。
アクセス 種別の選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スマート」：ファームウェアにクライアントを起動するモードを決定させます。新しい統合ブックマークを作成する場合は、「スマート」がデフォルトで選択されています。ブックマークの起動時には、ブックマーク固有の既定モードを使用して自動検出の処理が行われます。</li> <li>「手動」：モードや優先順位を設定し、方法を選択するオプションを提供します。選択ボックスで、少なくとも 1 つのモードが有効になっている必要があります。</li> </ul>

## RDP ブックマーク オプション (続き)

オプション	使用法
Wake on LAN を有効にする	ホストに対して WoL パケットを送信する場合は、このオプションを選択します。このオプションでは、WOL で電源を投入する対象コンピュータの「MAC/イーサネット アドレス」(スペースで区切って複数指定可)、および「起動待ち時間」(WOL 操作を中止するまでの最大の待機時間) も指定できます。このブックマークのホスト名または IP アドレス宛に WOL パケットを送信する場合は、「WOL パケットをホスト名または IP アドレスに送信する」チェックボックスをオンにします。このオプションは Mac アドレスの指定と併用して適用することができます。
アプリケーションおよびパス	ブックマークの開始時に RDP セッションからアプリケーションが起動されるようにするには、アプリケーションへのパスを「アプリケーションおよびパス(オプション):」フィールドに入力します。たとえば、「C:\Program Files\Example\app.exe」と入力します(オプション)。
次のフォルダから開始	アプリケーション コマンドを実行するローカル フォルダを入力します(オプション)。
コマンドライン引数	リモート アプリケーションのアクセスに必要なコマンドライン引数があれば入力します。
クライアント コンピュータ名	クライアント コンピュータ名を入力します。
コンソール/管理者セッションとしてログインする	ログイン時にコンソール コマンドと admin コマンドを有効にする場合は、このチェックボックスをオンにします。
サーバは TS ファーム	ユーザが TS ファームまたは負荷分散サーバに接続する場合は、このオプションを有効にします。この機能を正しく動作させるには、インタラクティブ ログインを無効にしなければならない場合があります。
負荷分散情報	ターミナル サービス ブローカ情報を「負荷分散情報」ボックスに入力します(例: tsv://MS Terminal Services Plugin.1.SSLVPN)。最大 1024 文字まで入力できます。複雑なオプションを持つブックマーク(RDP など)では、すべてのモードのオプションが混在していますが、「*HTML5 以外」、「*HTML5 向け」のようなヒントによってオプションの区別が行われています。
既定のキーボードレイアウト	「RDP-HTML5」の場合は、ドロップダウン メニューから「既定の言語」を選択します。
詳細な Windows オプションを表示	「詳細な Windows オプションを表示」を展開して、いずれかのリダイレクト チェックボックスを選択し、このブックマークセッションで使用するその他の機能を選択します。 次のオプションも選択できます。フォント補正、スパン画面表示、デュアル モニタ、デスクトップ コンポジション、リモート アプリケーション。 補足: このオプションを使用できるのは、RDP がインストールされている Windows クライアントと Mac クライアント (Mac OS X 10.5 以降が稼働) です。
デスクトップ背景	リモート マシン上のデスクトップの壁紙を表示または非表示にするには、このオプションを選択します。

## RDP ブックマーク オプション (続き)

オプション	使用法
メニューとウィンドウアニメーション	リモートマシン上のメニュー/ウィンドウアニメーションを有効または無効にするには、このオプションを選択します。
ドラッグ/リサイズの際にウィンドウの内容を表示する	ドラッグまたはサイズ変更中にウィンドウの内容表示を有効または無効にするには、このオプションを選択します。
クリップボードをリダイレクトする	テキストをクリップボードに保存してデスクトップで使用する場合は、このオプションを選択します。  <b>メモ:</b> デスクトップ上でのテキストのコピーと貼り付けはHTML5だけがサポートしています。このオプションはモバイル機器では使用できません。
ファイル共有 (HTML5 のみ)	ローカルマシンとリモートマシンの間のファイル共有を有効にするには、このオプションを選択します。
ポートをリダイレクトする (HTML5 以外)	ローカルマシンとリモートマシンの間でテキストのコピーと貼り付けを行う場合は、このオプションを選択します。このオプションが選択されていない場合、コピーと貼り付けのオプションはリモートマシンでのみ使用できます。
接続バーを表示する (HTML5 以外)	リモートマシンの接続バーを表示または非表示にするには、このオプションを選択します。
プリンタをリダイレクトする	<b>Microsoft Print to PDF</b> プリンタドライバのリダイレクトを有効にするには、このオプションを選択します。使用可能なドライバは、 <b>MS Publisher Imagesetter</b> と <b>Microsoft Print to PDF</b> です。  <b>補足:</b> <b>Microsoft Print to PDF</b> ドライバオプションは、Windows 10 と Windows Server 2016 でのみ使用できます。
自動再接続	セッション切断時の自動再接続を有効にするには、このオプションを選択します。
表示スタイル	より良い画質を得るには、このオプションを選択します。この設定は、広帯域幅のネットワークに推奨されます。  <b>補足:</b> この設定はパフォーマンスに影響します。
リモートコピー (HTML5 のみ)	ローカルマシンとリモートマシンの間のテキストのコピーを有効にするには、このオプションを選択します。
ドライブをリダイレクトする (HTML5 以外)	ドライブをリダイレクトするには、このオプションを選択します。
スマートカードをリダイレクトする	スマートカードをリダイレクトするには、このオプションを選択します。
ビットマップのキャッシュ (HTML5 以外)	ビットマップのキャッシュを有効にするには、このオプションを選択します。
自動的にログインする	現在のSSL VPNセッションからアカウント情報を転送する場合は、このチェックボックスをオンにして、「 <b>SSL VPN アカウント認証情報を使用する</b> 」を選択します。このブックマーク用の個別のユーザ名、パスワード、およびドメインを入力する場合は、「 <b>個別認証情報を使用する</b> 」を選択します。
Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する	Mobile Connect 2.0 以降を実行する Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する場合は、このオプションを選択します。この機能を正しく動作させるために、サポートされているサードパーティアプリケーションが必要となる端末もあります。

## RDP ブックマーク オプション (続き)

オプション	使用法
モバイルでの起動	構成されているサードパーティのウェブ ブラウザではなく、Mobile Connect セキュア ウェブ ブラウザでこのブックマークを起動する場合は、このオプションを選択します。このオプションを有効にすると、ウェブブックマークに対する Mobile Connect クライアントのブックマーク設定が上書きされます。  メモ: バージョン 5.0 以降の Mobile Connect でのみ使用可能なオプションです。
セキュア ウェブ ブラウザにおける URL 編集を許可する	セキュア ウェブ ブラウザにおけるユーザの URL 編集を有効にするには、このオプションを選択します。

- 7 設定が終了したら、「追加」を選択して、このブックマークを仮想オフィスのリストに追加します。

## リモート コンピュータのフルネームまたは IP アドレスを調べる

### RDP ブックマークがポイントしているコンピュータのフルネームを調べるには:

- 1 リモート コンピュータのデスクトップにある「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 2 「リモート」タブを選択します。
- 3 「リモート デスクトップ」欄にコンピュータのフルネームが表示されます。

### コンピュータの IP アドレスを調べるには:

- 1 リモート コンピュータ上の Windows の「スタート」メニューで「ファイル名を指定して実行...」を選択します。
- 2 「cmd」と入力してコマンド インタープリタを開き、「OK」を選択します。
- 3 「ipconfig」と入力します。コンピュータの IP アドレスが表示されます。

## リモート コンピュータでリモート デスクトップ アクセスを設定する

### リモート デスクトップから RDP ブックマークのターゲットであるコンピュータにアクセスできるようにするには:

- 1 デスクトップ上にある「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。
- 2 「リモート」タブを選択します。
- 3 「リモート デスクトップ」の「どのバージョンのリモート デスクトップを実行しているコンピュータからも接続を許可 (安全性が低い)」チェックボックスをオンにします。既定では、RDP では Transport Layer Security (TLS) が有効になります。

RDP ブックマークを使用するコンピュータ用のセキュリティ拡張であるネットワークレベル認証 (NLA) を使用するには、「ネットワークレベル認証を使用してリモート デスクトップを実行しているコンピュータからのみ接続を許可 (安全性が高い)」チェックボックスをオンにします。

- 4 「OK」を選択します。

## VNC ブックマーク

VNC ブックマークについては、以下のオプションが選択できます。

**VNC ブックマークを作成するには、次の手順を実行します。**

- 1 ブックマークに付ける名前を「ブックマーク名」フィールドに入力します。
- 2 アクセスするリソースの名前または IP アドレスを「名前または IP アドレス」フィールドに入力します。ホスト名または IPv6 アドレスを使用することもできます。
- 3 ブックマークテーブル内に表示される、わかりやすい説明を「説明」フィールドに入力します。
- 4 ブックマークを表示する種別を「種別」フィールドにコンマで区切って列挙します。標準の種別 (デスクトップ、ウェブ、ファイル、ターミナル、モバイル) は指定する必要がありません。
- 5 「ユーザのブックマークの編集/削除を許可」を選択して、編集および削除機能をユーザが使用できるようにします。
- 6 「サービス」フィールドで、ドロップダウン メニューから「仮想ネットワーク コンピューティング (VNC)」を選択します。「VNC の HTML5 オプション」と「VNC の共通のオプション」のメニューが表示されます。

**VNC HTML5 オプション**

自動的にログインする

- SSL VPN アカウント認証情報を使用する
- 個別認証情報を使用する

**VNC 共通設定**

エンコード: Tight

圧縮レベル: 7

JPEG イメージ品質: 6

カーソル状態更新: 有効

リモート ペースト キー: Ctrl + V

CopyRect の使用

制限された色数 (256 色)

表示のみ

デスクトップ共有

リモート コピー

Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する

OK キャンセル

- 7 「VNC の HTML5 ブックマーク オプション」では、次のオプションを選択できます。

- 自動ログインの場合は、「自動的にログインする」を選択し、次の認証情報を選択します。

- SSL VPN アカウント認証情報を使用する - ユーザ資格情報でログインします。
- 個別認証情報を使用する - ログイン用に一意のパスワードを選択できます。

8 引き続き VNC の共通のブックマークオプションを構成します。「表 VNC の共通のオプション」に、これらの設定に関する情報を示します。

### VNC の共通のオプション

オプション	既定	オプションの説明
エンコード	Tight	高速ネットワークには「HexTile」が適していますが、接続の帯域幅が狭い場合は「Tight」を選択すべきです。相手から見て TightVNC Java ビューアの Tight デコーダは HexTile デコーダよりも効率的なので、この既定の設定でも高速ネットワークに対応できます。
圧縮レベル	既定	Tight および Zlib エンコーディングで指定の圧縮レベルを使用します。レベル 1 のときサーバの CPU 消費は最小で、圧縮率は低くなります。レベル 9 のとき圧縮率は高くなりますが、CPU 時間が消費されるためサーバの速度が低下することがあります。低速のネットワーク接続では高いレベルを使用し、高速のネットワークで作業するときは低いレベルを使用してください。「既定」値は、サーバの既定の圧縮率を使用することを意味します。
JPEG イメージ品質	6	0 ~ 9 の範囲で値を選択します。値 0 は最低の画質、値 9 は最高の画質を表します。  JPEG がオフに設定されている場合、JPEG 形式は画像に使用されません。
カーソル状態更新	有効	カーソル形状更新は、リモートカーソルの動作をクライアント側でローカルに処理することで帯域幅を節約すると共にマウスポインタの動作に遅れが生じないようにするプロトコル拡張機能です。現在実装されているカーソル形状更新では、クライアントがサーバ側のマウスカーソルの位置を追跡することを許可していません。これは、マウスがサーバ側でローカルに動かされた場合や別の VNC クライアントによって動かされた場合に、クライアントからマウスカーソルの動きが見えないことを意味します。  リモート側の実際のカーソル位置を常に見たいときは、このパラメータを「無効」に設定してください。このオプションを「無視」に設定すると、「有効」と似た状態になりますが、リモートカーソルは完全に見えなくなります。カーソルの形状に関心がなく、2 つのマウスカーソルが上下に現れるのを避けたいときは、この設定を選択するのがよいでしょう。
リモート ペースト キー	Ctrl + V	リモート貼り付けのショートカットキーの組み合わせを選択します。それぞれ Alt + V、Ctrl + V、Meta + V に設定するオプションがあります。
CopyRect の使用	はい	CopyRect は、リモートスクリーンの各部分が動き回っているとき、帯域幅と描画時間を節約します。この設定を変更することは普通ありません。

## VNC の共通のオプション (続き)

オプション	既定	オプションの説明
制限された色数(256色)	いいえ	「いいえ」に設定した場合、24ビット カラー フォーマットでピクセル データが表現されます。「はい」に設定した場合、各ピクセルが8ビットで表現されます。8ビット カラー フォーマットでは帯域幅が節約されますが、色が正確に見えないことがあります。
表示のみ	いいえ	「はい」に設定した場合、デスクトップ ウィンドウ内のすべてのキーボードおよびマウス イベントが無視され、リモート側に渡されなくなります。
デスクトップ共有	はい	「はい」に設定した場合、クライアント間でデスクトップを共有できます。「いいえ」に設定した場合、新しいユーザがデスクトップにアクセスしたとき、現在のユーザ セッションが終了します。
リモート コピー	はい	「はい」の場合、ユーザが VNC クライアントとサーバの間でテキストをコピーできます。
Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する	はい	このチェックボックスをオンにすると、 <b>Mobile Connect クライアント上にブックマークが表示されます</b> 。このブックマークの表示およびアクセスを行うには、Mobile Connect はバージョン 2.0 以降である必要があります。

- 9 [OK] をクリックします。仮想オフィス ホームページ上の利用可能なブックマークのリストにブックマークが追加されます。

## Citrix ブックマーク

Citrix のブックマークについては、以下のオプションが選択できます。

- SMA/SRA 装置は Citrix ブックマークを使用する場合、Citrix クライアント検知を必ず実行します。Citrix ブックマーク使用時にこの機能を無効にするには、「Citrix サーバによるクライアント検知を無効にする」チェックボックスをオンにします。この機能は、Citrix XenAPP 5.0 以降に対応していることに注意してください。
- セキュアな Citrix 接続を使用するには、「HTTPS モード」チェックボックスをオンにします。
- 「アクセス種別の選択」を選びます。「スマート」または「手動」のどちらかです。
  - 「スマート」: ファームウェアにクライアントを起動するモードを決定させます。

アクセス種別の選択:      スマート       手動

新しい統合ブックマークを作成する場合は、「スマート」がデフォルトで選択されています。ブックマークの起動時には、ブックマーク固有の既定モードを使用して自動検出の処理が行われます。

- 「手動」: モードや優先順位を設定し、方法を選択するオプションを提供します。選択ボックスで、少なくとも1つのモードが有効になっている必要があります。

アクセス種別の選択:      スマート       手動

HTML5       ↑      ×  
Native       ↓      ✓

起動時に選択する

起動シーケンスは、「HTML5」と「Native」です。「手動」を選択すると、起動方法を変更、有効化、または無効化できます。Citrix ブックマークの起動に「Native」を選択すると、SMA Connect Agent がローカル マシンの Citrix Receiver を起動して Citrix 接続を行います。「Native」を選択する前に両方をインストールする必要があります。「HTML5」として実行する場合は、Citrix HTML5 クライアントを使用して Citrix3 バックエンド ホストが表示されます。

「上」と「下」の矢印を使って起動順序を調整します。バツとチェックのアイコンを使ってモードの有効と無効を切り替えます。無効にしたモードはリストの下に移動し、グレー表示されます。

「手動」モードでは、デフォルトで「**起動中に選択**」オプションは有効ではありません。この設定では、ブックマークの起動時に、設定済みリストの先頭にある使用可能なモードが自動検出後に実行されます。

「**起動時に選択する**」オプションが有効になっていて、複数のモードがクライアントで使用可能な場合は、統合ブックマークの起動時にメニューが表示されます。このメニューでは、5 秒のカウントダウンが行われている間にモードを選択できます。使用可能なモードが 1 つしかない場合、ブックマークはただちに実行されます。

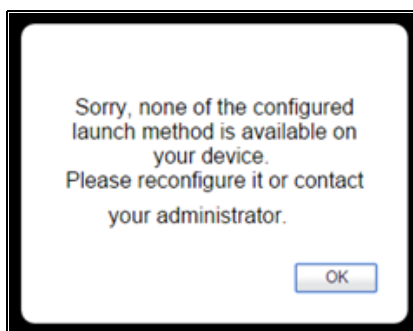


起動時に「**この選択を記憶する**」オプションが有効になっている場合は、選択されたモードが Cookie によって記憶されます。

その場合、次にブックマークを起動すると、記憶したモードが 2 秒以内に直接実行されます。HTML のどこかをクリックすると、記憶したモードを「忘れる」ので、再選択を行うことができます。



同じブラウザでブックマークの編集や削除しても、記憶したモードがリセットされます。設定されたクライアントでどのモードも実行できない場合、次の通知が表示されます。





- HTTPS を使用して Citrix ポータルに安全にアクセスするには、オプションで「HTTPS モード」を選択します。
- Citrix ICA セッション用の Citrix ICA サーバアドレスを明示的に指定する場合は、「指定した Citrix ICA サーバを常に使用する」を選択します。既定では、ブックマークは Citrix サーバ上の ICA 設定内で提供される情報を使用します。

サービス / ブックマーク / ブックマークの追加

ブックマーク所有者:

ブックマーク名: \*

名前または IP アドレス: \*

説明:

種別:

サービス:

リソース ウィンドウ サイズ:

アクセス種別の選択:  スマート  手動

起動時に選択する

Citrix サーバによるクライアント検知を無効にする  
 HTTPS モード  
 指定した Citrix ICA サーバを常に使用する  
 自動的にログインする
 

- SSL VPN アカウント認証情報を使用する
- 個別認証情報を使用する

 フォーム ベースの認証
 

ユーザフォームフィールド:

パスワードフォームフィールド:

 Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する

補足: Citrix ポータル ブックマークは、以下の Citrix Application Virtualization プラットフォームをサポートすることが Citrix StoreFront を通じて試験、確認されています:

- サーバ: Citrix XenApp 7.6、XenApp 6.5、XenApp 6.0、および XenApp 5.0
- クライアント: Citrix Receiver for Windows 4.4、4.2、4.1、および 4.0

Citrix ネイティブ ブックマークは、高度な機能をサポートしています。Windows と OS X プラットフォームに SMA Connect Agent と Citrix Receiver をインストールした後、Citrix ネイティブ ブックマークを起動することができます。

## ウェブブックマーク

HTTP(S) のブックマークについては、「SSL VPN アカウント認証情報を使用する」を選択するか、シングルサインオンで使用する個別認証情報を設定することができます。SSO の使用を無効にするには、「自動的にログインする」チェックボックスをオフにします。この方法を使用するには「フォームベースの認証」チェックボックスを選択し、次のフィールドに情報を入力します。

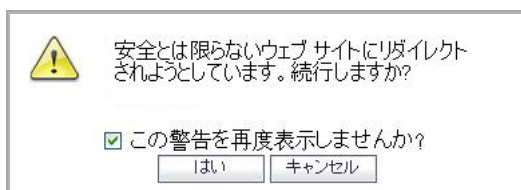
- 「ユーザフォームフィールド」は、ログイン フォーム内のユーザ名を表す HTML 要素の 'name' または 'id' 属性と同じになるように設定します。たとえば、次のようにします。

<input type=text name='userid'>

- 「パスワード フォーム フィールド」は、ログイン フォーム内のパスワードを表す HTML 要素の 'name' または 'id' 属性と同じになるように設定します。たとえば、次のようにします。

<input type=password name=PASSWORD id=PASSWORD maxlength=128>

外部ウェブサイトのブックマークについては、「HTTPS モード」を選択して、ウェブ通信を SSL で暗号化します。外部ウェブサイトのブックマークは、オフロードされたウェブ サイトまたはポータルにブックマークを使ってアクセスするのに使用されます。ユーザがこのブックマークを選択したときにセキュリティ警告ダイアログ ボックスが表示されないようにする場合は、「セキュリティ警告を無効にする」を選択します。これを選択しなかった場合、ユーザがこのブックマークの編集権限を持っていれば (これについては前述したとおりです)、警告ダイアログで「この警告を再度表示しませんか」オプションを選択できます。



オフロードされたアプリケーションの詳細については、『SonicWall Secure Mobile Access 管理ガイド』のアプリケーション オフローダに関するセクションを参照してください。

## Mobile Connect ブックマーク

Mobile Connect ブックマークにより、ユーザが接続した後に Mobile Connect に表示する個別ブックマークを定義できます。このブックマークは、社内アプリや、App Store または Google Play の公開アプリを含む、任意のサードパーティ アプリをサポートするためのものです。またこのブックマークにより、Google Earth に対する 'comgoogleearth://' といった、カスタム URL スキームが定義されているサードパーティ アプリを呼び出すことも可能です。Mobile Connect ブックマークは、通常のブラウザからの編集のみが可能で、モバイル機器上のみで使用します。

- ① **メモ** : Mobile Connect ブックマークは、'http://' または 'https://' の URL スキームに対しても使用できますが、SonicWall では、これらのスキームに対して HTTP または HTTPS ブックマークを使用することを推奨します。

## FTP ブックマーク

FTP のブックマークについては、「詳細なサーバ設定を表示」を選択して、文字のエンコードを選択します。「SSL VPN アカウント認証情報を使用する」を選択するか、シングルサインオンで使用する個別認証情報を設定することもできます。SSO の使用を無効にするには、「自動的にログインする」チェックボックスをオフにします。

## SSHv2 ブックマーク

SSHv2 のブックマークについては、SUN JRE 1.6.0\_10 以上が必要で、SSHv2 をサポートするサーバに接続することも必要です。「既定のフォント サイズ」オプションは、既定値を 15 に設定して構成できます。「自動的にログインする」のオプションでユーザは「SSL VPN アカウント認証情報を使用する」または「個別認証情報を使用する」を選択できます。

「自動的にホスト キーを受け入れる」、「Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する」(プラットフォームによって異なり、場合によってはサードパーティのアプリをインストールする必要がある)、「Mobile Connect セキュア ウェブ ブラウザで起動」(Mobile Connect 5.0 以降が必要)、「セキュア ウェブ ブラウザにおける URL 編集を許可する」(Mobile Connect 5.0 以降が必要)に対するオプションもあります。

## ブックマークの編集

既存のブックマークに関連付けられたサービスやその他の設定のほか、IP アドレス、ドメイン名、IPv6 アドレスを変更することができます。


- ① **メモ**：ユーザが編集したり削除したりできるのはユーザ作成ブックマークだけです。管理者によって事前に定義されたグローバルブックマークやグループブックマークを編集したり削除したりすることはできません。

**ブックマークの名前または関連IP アドレスを変更するには:**

- 1 IP アドレスやドメイン名、その他の設定を変更したいブックマークを、仮想オフィス ブックマーク リストから見つけます。
- 2 仮想オフィス ブックマーク リストで既存のブックマークの設定アイコンを選択します。「ブックマークの編集」ダイアログボックスが表示されます。
- 3 ブックマークのブックマーク名、ドメイン名、またはIP アドレスを変更するには、「ブックマーク名」フィールドか「名前またはIP アドレス」フィールドで名前を編集します。
- 4 サービスを変更するには、ドロップダウン メニューから新しいサービスを選択します。
- 5 必要に応じて、サービスの種類に対して特有の設定を変更します。
- 6 必要に応じて、「自動的にログインする」の設定を有効または無効にしたり、認証情報の設定を変更します。
- 7 「適用」を選択します。仮想オフィスのホーム ページに新しい IP アドレスまたはドメイン名が表示されます。

## ブックマークの削除

**ブックマークを削除するには:**

- 1 削除したいブックマークを仮想オフィス ブックマーク リストから見つけます。
- 2 ブックマーク リストで、削除したいブックマークの削除アイコン  を選択します。リストからブックマークが消去されます。

## ブックマークの使用

以下のセクションでは、各種ブックマークの使用方法を説明します。

- [リモート デスクトップ ブックマークの使用 \(140 ページ\)](#)
- [VNC ブックマークの使用 \(142 ページ\)](#)

- Citrix ブックマークの使用 (144 ページ)
- ウェブ ブックマークの使用 (145 ページ)
- Mobile Connect ブックマークの使用 (145 ページ)
- ファイル共有ブックマークの使用 (146 ページ)
- FTP ブックマークの使用 (147 ページ)
- Telnet ブックマークの使用 (149 ページ)
- SSHv2 ブックマークの使用 (149 ページ)
- グローバルブックマークのシングルサインオン オプション (151 ページ)
- ブックマークごとのシングルサインオン オプション (152 ページ)

## リモート デスクトップ ブックマークの使用

リモート デスクトップ プロトコル (RDP) ブックマークを使用すると、指定したデスクトップとの間でリモート接続を確立できます。Secure Mobile Access は、ActiveX クライアントと HTML5 クライアントで RDP5 標準をサポートします。RDP5 ActiveX は、Internet Explorer でのみ使用できます。両クライアントの基本的な機能は同じです。ただし、HTML5 クライアントはネイティブな RDP クライアントであり、ActiveX クライアントがサポートしていない以下の機能をサポートしています。

- プリンタをリダイレクトする
- ポートをリダイレクトする
- ドライブをリダイレクトする
- スマートカードをリダイレクトする
- クリップボードをリダイレクトする
- プラグ アンド プレイ機器をリダイレクトする
- 接続バーを表示する
- 自動再接続
- デスクトップ背景
- ビットマップのキャッシュ
- メニューとウインドウ アニメーション
- 表示スタイル
- ウィンドウドラッグ

HTML5 クライアント アプリケーションが RDP 6 である場合は、以下の機能もサポートします。

- デュアル モニタ
- スパン画面表示
- フォント補整
- デスクトップ構成
- リモート アプリケーション

Secure Mobile Access では、ターミナル サービス (トンネルを使用) のブックマークもサポートしています。このブックマークでは、NetExtender クライアントを使用して RDP データをトンネルし、動作に

ブラウザプラグインは必要ありません。このブックマークは、システムに RDP 切断/再接続の問題が発生している場合に使用する必要があります。この問題は、Windows 10 OS を使用している場合によく発生します。

この問題は、Windows 8 OS を使用している場合によく発生します。このブックマークは、既存の RDP ブックマークと同じように機能し、ブックマーク設定ページは、RDP ActiveX ブックマークと同じです。詳細オプションもすべてまったく同じですが、このブックマークは、ネイティブな RDC クライアントを起動する前に、先に NetExtender クライアントを起動します。したがってこのブックマークでは、ポータルへの NetExtender 接続が許可されている必要があります。

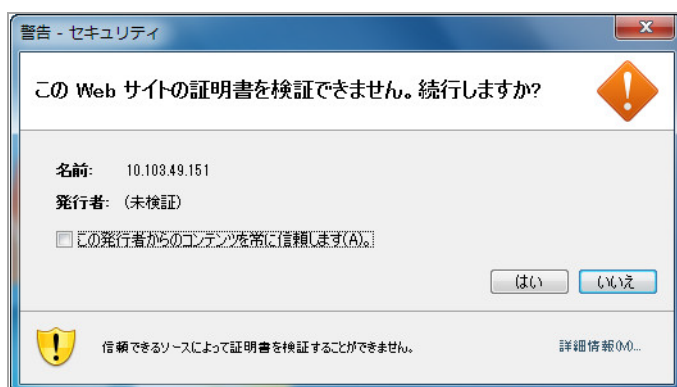
このブックマークは、NetExtender が接続されていなければ接続し、NetExtender アダプタにホストルートを追加します。この RDP ブックマークによって NetExtender を接続した場合は、RDP 接続の切断後に、NetExtender 接続を自動切断する必要があります。

① **メモ** : RDP ブックマークでは、サービスが既定のポートで実行されない場合に、ポート指定を使用できます。

② **ヒント** : リモート デスクトップ セッションを終了するためには、ターミナル サーバセッションから確実にログオフしてください。ターミナル サーバセッションを一時的に停止して後で再開できるようにしたいときは、リモート デスクトップ ウィンドウを閉じるだけにしておきます。

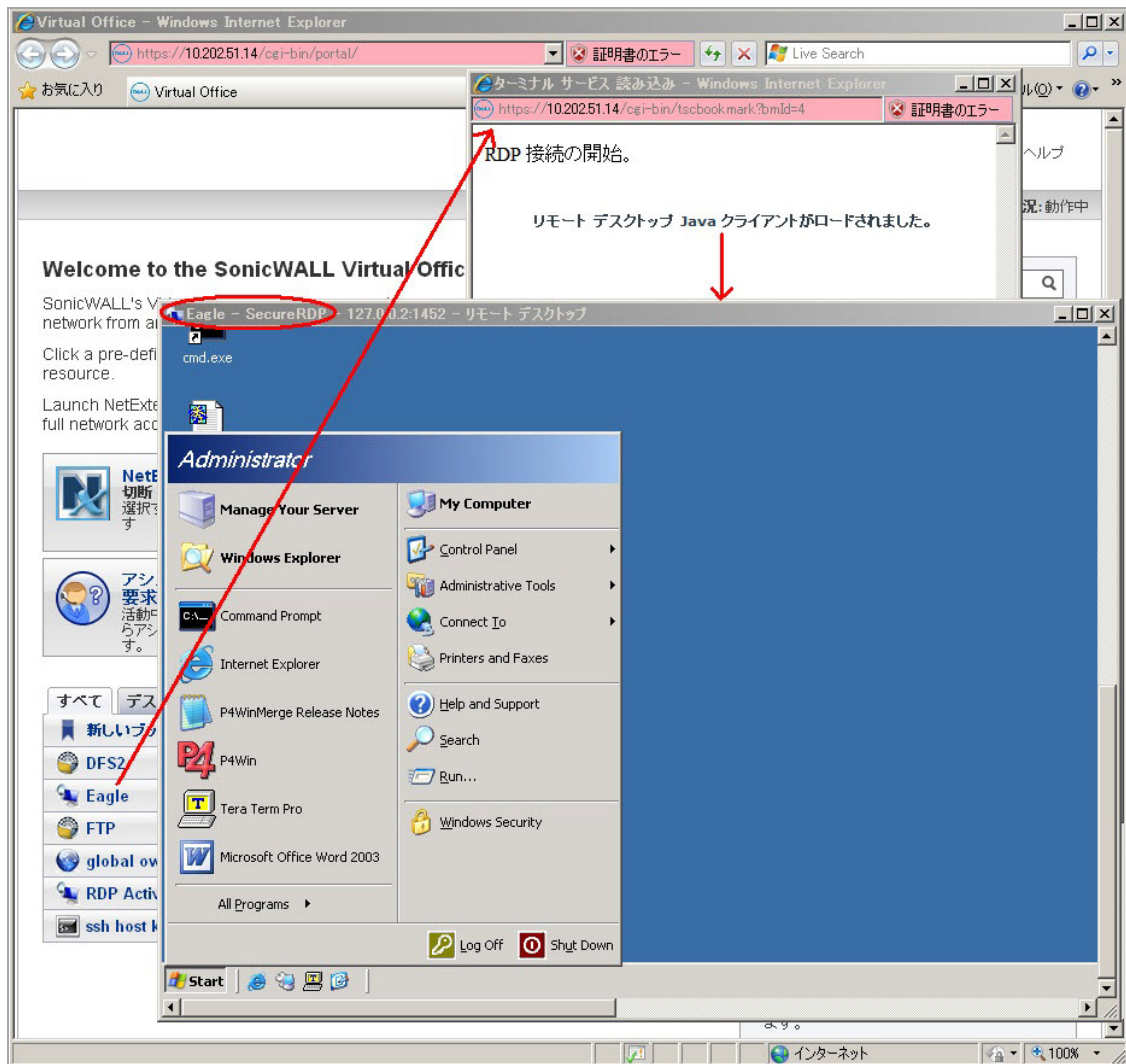
### RDP ブックマークを使用してシステムにアクセスするには:

- 1 RDP ブックマークを選択します。警告の画面が表示されても「はい」か「OK」を選択して先に進みます。



- 2 ログイン画面でユーザ名とパスワードを入力し、ドロップダウン メニューから適切なドメイン名を選択します。

- 3 リモート デスクトップ クライアントがロード中であることを示すウィンドウが表示されます。その後、専用のウィンドウでリモート デスクトップが開始されます。これで、リモート コンピュータ上のすべてのアプリケーションとファイルにアクセスできるようになります。



RDP ブックマークに対するオプションの設定方法については、[ウェブ ブックマーク \(137 ページ\)](#) を参照してください。

## VNC ブックマークの使用

VNC ブックマークを使用するには:

- 1 VNC ブックマークを選択します。次のウィンドウが表示され、VNC クライアントのロードが始まります。

**メモ** : VNC では、さまざまなポートで機能するサービスのためにポート指定を使用できます。

- 2 VNC クライアントのロードが完了すると、パスワードを「VNC 認証」ウィンドウに入力するよう要求されます。



- 3 VNC オプションは管理者が設定する必要があります。ブックマーク オプションを編集する権限がない場合は、管理者に問い合わせてください。

**VNC 共通設定**

エンコード:  ⓘ

圧縮レベル:

JPEG イメージ品質:

カーソル状態更新:

リモート ペースト キー:

CopyRect の使用

制限された色数 (256 色)

表示のみ

デスクトップ共有

リモートコピー ⓘ

Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する ⓘ

次のVNC オプション 表に、管理者が設定できる VNC のオプションの説明を示します。

### VNC オプション

オプション	既定	オプションの説明
エンコード	Tight	高速ネットワークには「HexTile」が適していますが、接続の帯域幅が狭い場合は「Tight」を選択すべきです。相手から見て TightVNC Java ビューアの Tightデコーダは HexTile デコーダよりも効率的なので、この既定の設定でも高速ネットワークに対応できます。
圧縮レベル	既定	Tight および Zlib エンコーディングで指定の圧縮レベルを使用します。レベル 1 のときサーバの CPU 消費は最小で、圧縮率は低くなります。レベル 9 のとき圧縮率は高くなりますが、CPU 時間が消費されるためサーバの速度が低下することがあります。低速のネットワーク接続では高いレベルを使用し、高速のネットワークで作業するときは低いレベルを使用してください。「既定」値は、サーバの既定の圧縮率を使用することを意味します。
JPEG イメージ品質	6	これを変更することはできません。

## VNC オプション (続き)

オプション	既定	オプションの説明
カーソル状態更新	有効	<p>カーソル形状更新は、リモートカーソルの動作をクライアント側でローカルに処理することで帯域幅を節約すると共にマウスポインタの動作に遅れが生じないようにするプロトコル拡張機能です。現在実装されているカーソル形状更新では、クライアントがサーバ側のマウスカーソルの位置を追跡することを許可していません。これは、マウスがサーバ側でローカルに動かされた場合や別のVNCクライアントによって動かされた場合に、クライアントからマウスカーソルの動きが見えないことを意味します。</p> <p>リモート側の実際のカーソル位置を常に見たいときは、このパラメータを「無効」に設定してください。このオプションを「無視」に設定すると、「有効」と似た状態になりますが、リモートカーソルは完全に見えなくなります。カーソルの形状に関心がなく、2つのマウスカーソルが上下に現れるのを避けたいときは、この設定を選択するのがよいでしょう。</p>
リモート ペーストキー	Ctrl + V	リモート貼り付けのショートカットキーの組み合わせを選択します。それぞれ Alt + V、Ctrl + V、Meta + V に設定するオプションがあります。
CopyRect の使用	はい	CopyRect は、リモートスクリーンの各部分が動き回っているとき、帯域幅と描画時間を節約します。この設定を変更することは普通ありません。
制限された色数(256色)	いいえ	「いいえ」に設定した場合、24ビットカラーフォーマットでピクセルデータが表現されます。「はい」に設定した場合、各ピクセルが8ビットで表現されます。8ビットカラーフォーマットでは帯域幅が節約されますが、色が正確に見えないことがあります。
表示のみ	いいえ	「はい」に設定した場合、デスクトップウィンドウ内のすべてのキーボードおよびマウスイベントが無視され、リモート側に渡されなくなります。
デスクトップ共有	はい	「はい」に設定した場合、クライアント間でデスクトップを共有できます。「いいえ」に設定した場合、新しいユーザがデスクトップにアクセスしたとき、現在のユーザセッションが終了します。
リモート コピー	はい	「はい」の場合、ユーザがVNCクライアントとサーバの間でテキストをコピーできます。
Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する	はい	このチェックボックスをオンにすると、 <b>Mobile Connect クライアント上にブックマークが表示されます</b> 。このブックマークの表示およびアクセスを行うには、Mobile Connect はバージョン 2.0 以降である必要があります。

## Citrix ブックマークの使用

Citrix は、RDP に似たりリモートアクセスのアプリケーション共有サービスです。これにより、ユーザはセキュアな接続を通して、中央のコンピュータにあるファイルやアプリケーションにリモートアクセスすることができます。次の2種類の Citrix ブックマークがあります。

- Native
- HTML5



# ウェブブックマークの使用

ウェブブックマークは、HTTP ブックマークまたは HTTPS ブックマークとも呼ばれます。

HTTP および HTTPS ブックマークは、以下のウェブ アプリケーションをサポートすることが試験され確認されています。

- Microsoft Outlook Web Access 2013、Outlook Web Access 2010、および Outlook Web Access 2007
- Windows SharePoint 2007 と Windows SharePoint Services 3.0
  - ① | **メモ** : SharePoint のクライアント統合機能はサポートされません。
- Lotus Domino Web Access 8.0.1、8.5.1、および 8.5.2
- Novell Groupwise Web Access 7.0

他のアプリケーションも動作しますが、不正な形式のページや高度な HTML 機能を使用したページ、サポート対象外の認証方式 (たとえば、Windows 統合認証) を使用しているページにアクセスしたり、Macromedia Flash または ActiveX に埋め込まれた URL にアクセスしたりすると、問題が起こることがあります。HTTP や HTTPS ブックマークを使ってウェブ アプリケーションが動作しない場合は、管理者に連絡してください。

- ① | **メモ** : バージョン 9.0.0.0 では、Java ベースのブックマーク アクセスが無効になっています。Java ブックマークを有効にする場合は、SonicWall サポートにお問い合わせください。

## ウェブブックマークを使用するには:

- 1 HTTP または HTTPS ブックマークを選択します。
  - ① | **メモ** : HTTP ブックマークでは、ポート指定とパスを使用できます。
- 2 ブックマークで指定したドメイン名または IP アドレスに接続される既定のブラウザで新しいウィンドウが開始されます。

# Mobile Connect ブックマークの使用

## Mobile Connect ブックマークを使用するには:

- 1 Mobile Connect ブックマークを選択します。
- 2 「ブックマーク名」と「ホスト名または IP アドレス」を入力します。「名前または IP アドレス」フィールドは、カスタム URL スキームです。

- 3 「**Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する**」をオンにして、Mobile Connect クライアントにブックマーク情報を送信します。「OK」を選択します。

### ブックマークの編集

ブックマーク名: \*

名前または IP アドレス: \*

説明:

種別:

サービス:

Mobile Connect クライアントにブックマークを表示する

OK キャンセル

Secure Mobile Access 上の Mobile Connect ブックマークが正しく設定されると、ブックマークがお使いのモバイル機器上に表示されます。



## ファイル共有ブックマークの使用

ファイル共有 (CIFS) ブックマークの使用方法については、[HTML ベースのファイル共有の使用 \(121 ページ\)](#) を参照してください。

# FTP ブックマークの使用

FTP ブックマークでは、サービスが既定のポートで実行されない場合に、ポート指定を使用できます。

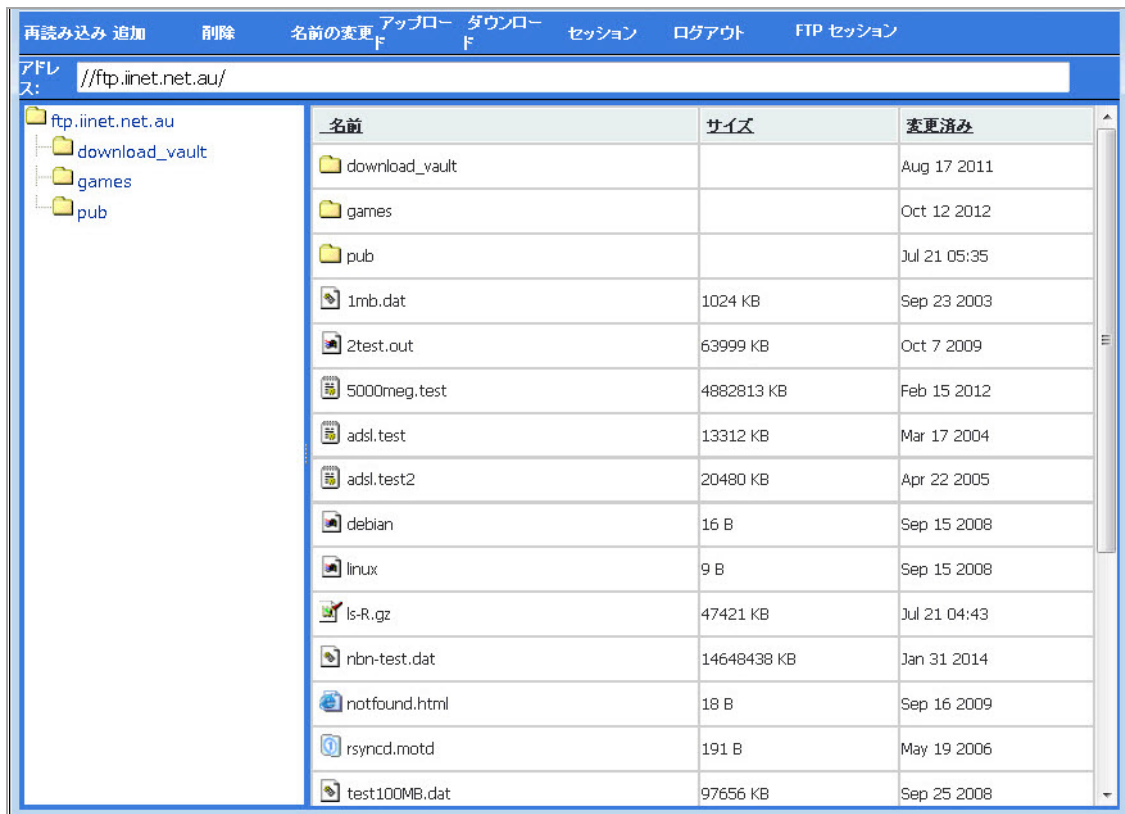
## FTP ブックマークを使用するには:

- 1 FTP ブックマークを選択します。「FTP セッション」ダイアログボックスが表示されます。

The screenshot shows a software interface with a menu bar at the top containing options like '再読み込み 追加', '削除', '名前の変更', 'アップロード', 'ダウンロード', 'セッション', 'ログアウト', and 'FTP セッション'. Below the menu bar is a text input field labeled 'アドレス:'. A dialog box titled 'FTP セッションの追加' is open in the center. It contains the following elements:

- サーバ名/アドレス: [input field]
- ユーザ名: [input field]
- パスワード: [input field]
- FTP 種別: [dropdown menu showing 'ファイル転送プロトコル (FTP)']
- ☑サーバ構成の詳細を表示する
- 補足: 標準のエンコード (UTF-8) はほとんどの FTP サーバに適合しています。
- \* ユーザ名とパスワードを利用する場合は入力しないでください。
- Buttons: OK, 閉じる

- 2 サーバ名または IP アドレスが表示されない場合は、サーバ名または IP アドレスを「サーバ名/アドレス」フィールドに入力します。
- 3 ユーザ名とパスワードを入力します。仮想オフィスのユーザ名とパスワードを使いたいときは、これらのフィールドを空白にしておきます。
- 4 オプションで、「サーバ構成の詳細を表示する」を展開し、必要な設定を選択します。
- 5 「OK」を選択します。FTP セッションが表示されます。



6 ページの上部のボタンを使用して、FTP サイト上で次の操作を実行します。

- ページの再読み込みを行うには、「再読み込み」を選択します。
- ファイルまたはフォルダを追加するには、「追加」を選択します。ファイルをページにドラッグアンドドロップすることもできます。
- ファイルまたはフォルダを削除するには、削除するファイルまたはフォルダを選択し、「削除」をクリックします。
- ファイルまたはフォルダの名前を変更するには、変更するファイルまたはフォルダを選択し、「名前の変更」をクリックします。名前を編集してから、緑色のチェックマークをクリックします。



- ファイルをアップロードするには、「アップロード」を選択します。「参照」をクリックし、ファイルを探して選択します。



- ファイルをダウンロードするには、「ダウンロード」をクリックし、ファイルの名前を選択します。ファイルダウンロードのセキュリティ警告が表示されたら、「実行」を選択してファイルを起動するか、「保存」を選択してファイルをコンピュータに保存します。
- 別の FTP セッションを開始するには、「セッション」を選択します。
- FTP セッションをログアウトするには、「ログアウト」を選択します。
- 複数の FTP セッション間を移動するには、「FTP セッション」を選択します。

## Telnet ブックマークの使用

**Telnet ブックマークを使用するには:**

- 1 Telnet ブックマークを選択します。

Telnet ブックマークでは、既定のポートで実行されないサーバのためにポート指定を使用できます。

- 2 警告メッセージが表示されても「OK」を選択します。

- 3 Telnet 先の装置が認証用に設定されている場合は、個別認証情報フィールドにユーザ名とパスワードを入力します。

## SSHv2 ブックマークの使用

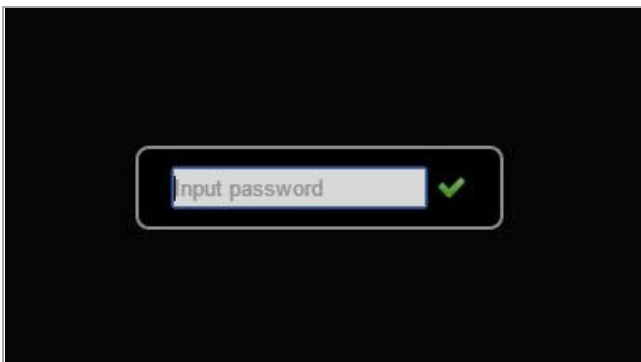
SSHv2 ブックマークでは、既定のポートで実行されないサーバのためにポート指定を使用できます。

## SSHv2 ブックマークを使用するには:

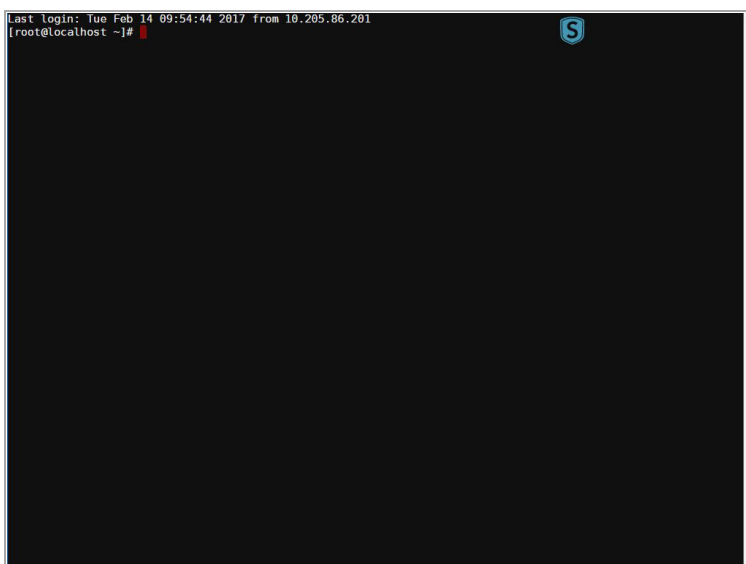
- 1 SSHv2 ブックマークを選択します。個別認証情報を使用するには、ユーザ名とパスワードを「ユーザ名」フィールドと「パスワード」フィールドに入力し、「OK」を選択します。



- 2 ホストキー ポップアップが表示されます。「はい」を選択し、ログインプロセスに進みます。
- 3 パスワードを入力し、「OK」を選択します。



- 4 SSH ターミナルが新しいスクリーンで開始されます。



# グローバルブックマークのシングルサインオンオプション

仮想オフィスのメイン ページ上の「オプション」を使用してシングルサインオンを設定できます。SSO の設定は、管理者がユーザ制御のシングルサインオン (SSO) を設定した場合にだけ有効になります。

## SSO ブックマーク オプションを設定するには:

- 1 仮想オフィスの右上にある「オプション」を選択します。「ユーザ オプション」ページが表示されます。

The screenshot shows the SonicWall Virtual Office interface. On the left, there are four main service options: NetExtender (切断), ファイル共有 (ネットワーク上の共有ファイル), 仮想アシスト (ユーザのコンピュータの制御), and 仮想ミーティング (ウェブ ミーティング). Below these are bookmark entries for 'rdweb-2017' and 'Win2012\_broker@rdsfarm'. On the right, a 'ヒント/ヘルプ' sidebar contains several FAQ-style questions and answers regarding password changes, NetExtender, file sharing, and secure remote assistance.

- 2 「シングルサインオン設定」の「自動的にブックマークにログイン」を選択してブックマークの SSO を有効にします。ブックマークで SSO を使いたくないときは、このボックスをオフにしておきます。

The 'ユーザ オプション' form contains a 'パスワードの変更' section with three input fields for '古いパスワード', '新しいパスワード', and '新しいパスワード再入力'. Below this is the 'シングルサインオン設定' section, which includes a checked checkbox for '自動的にブックマークにログイン'. At the bottom right, there are '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

- 3 [保存] をクリックして、変更を保存します。

ファイル共有ではユーザがメンバーとなっている設定済みのドメイン名を用いてバックエンドサーバへの提供が行われます。HTTP、HTTPS、FTP、RDP は、ログインに用いられたユーザ名とパスワード

を提供します。サーバがドメイン付きのユーザ名を求める場合、SSO は失敗します。サーバ側で既定のドメインを指定して、SSO を成功させることができる場合もあります。

## ブックマークごとのシングルサインオンオプション

Secure Mobile Access では、以下のブックマーク サービスにおいてブックマークごとのシングルサインオンをサポートします。

- ターミナル サービス (RDP)
- ウェブ (HTTP)
- セキュア ウェブ (HTTPS)
- ファイル共有 (CIFS)
- ファイル転送プロトコル (FTP)

ブックマークごとの SSO では、ユーザが個々のブックマークの SSO を有効または無効に設定することができます。この機能を使用すると、ログイン時のアカウント情報の指定方法を柔軟に設定できるようになるため、以下のような場合に便利です。

- 複数のアカウントを使用してさまざまなリソースにアクセスする場合
- Secure Mobile Access 仮想オフィスへのログインには 2 要素認証を使用し、その他のリソースへのアクセスには静的なパスワードを使用する場合
- 先頭にドメイン名が付いたユーザ名を要求するサーバへのアクセスが必要な場合

### ブックマークごとの SSO を設定するには:

- 1 個々のブックマークの SSO を有効にするには、[グローバルブックマークのシングルサインオンオプション](#) (151 ページ) の説明に従って、事前にグローバルな SSO を有効にしておく必要があります。
- 2 仮想オフィスのページで「**新しいブックマークの作成**」を選択します。
- 3 ブックマークごとの SSO をサポートしているサービス タイプのいずれかを選択します。選択できるサービスは、「**ターミナル サービス (RDP)**」、「**セキュア ウェブ (HTTPS)**」、「**ファイル共有 (CIFS)**」、「**ファイル転送プロトコル (FTP)**」です。
- 4 このブックマークで SSO を無効にするには、「**自動的にログインする**」チェックボックスをオフにします。
- 5 このブックマークで SSO を使用するには、「**自動的にログインする**」チェックボックスをオンにしたうえで、以下のラジオボタンから 1 つ選択します。
  - **SSL VPN アカウント認証情報を使用する** - SMA/SRA 装置上に設定されているローカルユーザの認証情報を使ってブックマークにログインすることを許可します。
  - **個別認証情報を使用する** - ここで入力した認証情報を使ってブックマークにログインすることを許可します。このオプションを選択すると、「**ユーザ名**」、「**パスワード**」、「**ドメイン**」のフィールドが表示されます。表示された「**ユーザ名**」、「**パスワード**」、「**ドメイン**」の各フィールドに、該当する個別認証情報を入力します。

個別認証情報は、テキスト、または、[SSO の認証情報: 動的変数](#) 表に示す動的な変数を使用して入力できます。



## SSO の認証情報: 動的変数

用途	変数	使用例
ログイン名	%USERNAME%	US\%USERNAME%
ドメイン名	%USERDOMAIN%	%USERDOMAIN%\%USERNAME%
グループ名	%USERGROUP%	%USERGROUP%\%USERNAME%
パスワード	%PASSWORD%	%PASSWORD% または空白フィールド

- ウェブ (HTTP) およびセキュア ウェブ (HTTPS) のブックマークの場合、この SSO 方法を使用するには「**フォームベースの認証**」チェックボックスを選択し、次のフィールドに情報を入力します。
  - 「**ユーザ フォーム フィールド**」は、ログイン フォーム内のユーザ名を表す HTML 要素の 'name' または 'id' 属性と同じになるように設定します。たとえば、次のようにします。  
`<input type=text name='userid'>`
  - 「**パスワード フォーム フィールド**」は、ログイン フォーム内のパスワードを表す HTML 要素の 'name' または 'id' 属性と同じになるように設定します。たとえば、次のようにします。  
`<input type=password name=PASSWORD id=PASSWORD maxlength=128>`
- 「**OK**」を選択します。
- サービスの**ユーザ名**と**パスワード**を入力します。

- 保証およびライセンス管理

# 保証およびライセンス管理

この付録は以下のセクションで構成されます。

- [GNU General Public License \(GPL\) のソースコード \(155 ページ\)](#)
- [ハードウェア限定保証 \(155 ページ\)](#)
- [エンドユーザーライセンス契約 \(156 ページ\)](#)

## GNU General Public License (GPL) のソースコード

SonicWall は、コンピュータで読み取り可能な GPL オープン ソースのコピーを CD でご提供します。コンピュータで読み取り可能なコピーを入手するには、"SonicWall, Inc." を受取人とする 25.00 米ドルの支払保証小切手または郵便為替と共に、書面による要求を以下の宛先までお送りください。

General Public License Source Code Request  
SonicWall, Inc. Attn: Jennifer Anderson

1033 McCarthy Blvd  
Milpitas, CA 95035

## ハードウェア限定保証

すべての SonicWall アプライアンス製品には、1 年間のハードウェア限定保証が付属しています。保証期間内に部品が故障した場合は、代替部品を提供いたします。お使いの製品の保証の詳細については、次の保証情報のページをご覧ください。

<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/essentials/support-offerings>

SonicWall は、お客様への納品日(ただし、SonicWall から最初に出荷されて 90 日を越えない範囲) から 12 か月の期間にわたって、通常の使用下で材料および出来栄えにおいて製品に欠陥が生じないことを保証します。この保証は、製品の原エンドユーザーにのみ適用され、その権利を他に譲渡することはできません。この限定保証のもとで SonicWall およびその製造業者の法的責任とお客様への唯一限定的な賠償は、代替製品の出荷によって全うされるものとします。SonicWall の判断により、代替製品は、故障した製品と同等もしくは同等以上の性能/機能の製品となります。また、未使用品に限定されません。この限定保証に基づく SonicWall の責任は、SonicWall の当時最新のサポート サービス ポリシーの条項に従って欠陥製品を返却したとき生じます。

製品に異常な電氣的ストレスを加えた場合、事故や誤用により製品を破損した場合、SonicWall に正式の許可を受けずに製品に変更を加えた場合、この保証は適用されません。

**保証に関する免責事項。**この保証で指定されている行為、明示的または暗黙的に示したすべての条件、表現、保証（暗黙的保証や販売条件を無制限に含む）を例外として、特定の目的、法遵守、十分な品質、または取引、法律、利用、商習慣による要件を満たすための行為は、この条項によって該当する法律で最大限許容される程度に除外されます。暗黙の保証を超えない範囲で、保証は当該保証期間の範囲に限定されます。関係国の法律や管轄裁判所が暗黙の保証への制限を認めていない場合、上記の制限が適用されないこともあります。この保証は特定の法的権利を与えるものであって、管轄裁判所によってはそれ以外の権利が与えられることもあります。この権利放棄・免責条項は上記に明示された保証がその本来の目的を果たせない場合にも適用されるものとします。

**責任に関する免責事項。**SonicWall では、上記の有限保証に記載されているとおり、交換用製品の発送についてのみ責任を負います。SonicWall およびその製造業者は、本製品を使用したため、または使用できなかったために生じた損失、業務の中断、情報の消失、あるいはそれによって直接または間接に生じた偶発的、懲罰的損害について、SonicWall またはその製造業者が損害の可能性を忠告したかどうかに関係なく、本製品の使用または不使用によって生じる一切の法的責任を免れるものとします。SonicWall およびその製造業者は、いかなる場合にもお客様に対して、契約上の不法行為や、お客様が支払った価格を超える責任を負わないものとします。以上の制限は、上記の保証書がその本来の目的を果たせない場合にも適用されるものとします。関係国の法律や管轄裁判所が間接または偶発的損害に対する制限・免責を認めていない場合、上記の制限が適用されないこともあります。

## エンド ユーザー ライセンス契約

本製品をご利用になる前に本契約を熟読して下さい。本製品をダウンロード、インストール、又は利用することにより、貴方（貴社）は本契約の条件を承諾しこれに同意します。米国外での提供については、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal/eupa.aspx> にアクセスして、該当する地域のエンド ユーザー製品契約をご覧ください。本契約に同意しない場合は、本製品のダウンロード、インストール、又は利用はお控え下さい。

This SonicWall End User Product Agreement (the "Agreement") is made between you, the Customer ("Customer" or "You") and the Provider, as defined below.

1. **Definitions.** Capitalized terms not defined in context shall have the meanings assigned to them below:

(a) "Affiliate" means any legal entity controlling, controlled by, or under common control with a party to this Agreement, for so long as such control relationship exists.

(b) "Appliance" means a computer hardware product upon which Software is pre-installed and delivered.

(c) "Documentation" means the user manuals and documentation that Provider makes available for the Products, and all copies of the foregoing.

(d) "Maintenance Services" means Provider's maintenance and support offering for the Products as identified in the Maintenance Services Section below.

(e) "Partner" means the reseller or distributor that is under contract with Provider or another Partner and is authorized via such contract to resell the Products and/or Maintenance Services.

(f) "Provider" means, (i) for the US, Europe, Middle East, Africa, Latin America, and Taiwan, SonicWall Inc., with its principal place of business located at 4 Polaris Way, Aliso Viejo, CA 92656 USA and (ii) for Asia (other than Taiwan) SonicWall International Ltd. City Gate Park Mahon, Cork, Ireland.

(g) "Products" means the Software and Appliance(s) provided to Customer under this Agreement.

(h) "Software" means the object code version of the software that is delivered on the Appliance and any other software that is later provided to Customer as well as any new versions and releases to such software that are made available to Customer pursuant to this Agreement, and all copies of the foregoing.

2. **Software License.**

(a) **General.** Subject to the terms of this Agreement, Provider grants to Customer, and Customer accepts from Provider, a non-exclusive, non-transferable (except as otherwise set forth herein) and non-sublicensable license to access and use the quantities of each item of Software purchased from Provider or a Partner within the parameters of the license type ("License Type(s)") described below in the quantities purchased ("License"). Except for MSP Licenses (as defined below), Customer shall only use the Software to support the internal business operations of itself and its worldwide Affiliates.

(b) **License Types.** The License Type for the Software initially delivered on the Appliance is "per **Appliance**." Software licensed per Appliance may be used only on the Appliance on which it is delivered, but without any other quantitative limitations. Software that is purchased on a subscription, or periodic basis is licensed by User or by Managed Node. A "User" is each person with a unique login identity to the Software. A "Managed Node" is any object managed by the Software including, but not limited to firewalls, devices, and other items sold by Provider.

(c) **Software as a Service.** When Customer purchases a right to access and use Software installed on equipment operated by Provider or its suppliers (the "SaaS Software"), (i) the License for such SaaS Software shall be granted for the duration of the term stated in the order (the "SaaS Term"), as such SaaS Term may be extended by automatic or agreed upon renewals, and (ii) the terms set forth in the SaaS Provisions Section of this Agreement shall apply to all access to and use of such Software. If any item of Software to be installed on Customer's equipment is provided in connection with SaaS Software, the License duration for such Software shall be for the corresponding SaaS Term, and Customer shall promptly install any updates to such Software as may be provided by Provider.

(d) **MSP License.**

"Management Services" include, without limitation, application, operating system, and database implementation, performance tuning, and maintenance services provided by Customer to its customers (each, a "Client") where Customer installs copies of the Software on its Clients' equipment or provides its Clients access to the Products. Customer shall be granted a License to use the Software and the associated Documentation to provide Management Services (the "MSP License"). Each MSP License is governed by the terms of this Agreement and any additional terms agreed to by the parties.

If the Product is to be used by Customer as a managed service provider, then Customer shall ensure that (i) Customer makes no representations or warranties related to the Products in excess of SonicWall's representations or warranties contained in this Agreement, (ii) each Client only uses the Products and Documentation as part of the Management Services provided to it by Customer, (iii) such use is subject to the restrictions and limitations contained in this Agreement, including, but not limited to those in the Export Section of this Agreement, and (iv) each Client cooperates with Provider during any compliance review that may be conducted by Provider or its designated agent. At the conclusion of any Management Services engagement with a Client, Customer shall promptly remove any Appliance and Software installed on its Client's computer equipment or require the Client to do the same. Customer agrees that it shall be jointly and severally liable to Provider for the acts and omissions of its Clients in connection with their use of the Software and Documentation and shall, at its expense, defend Provider against any action, suit, or claim brought against Provider by a Client in connection with or related to Customer's Management Services and pay any final judgments or settlements as well as Provider's expenses in connection with such action, suit, or claim.

**(e) Evaluation/Beta License.** If Software is obtained from Provider for evaluation purposes or in beta form, Customer shall be granted a License to use such Software and the associated Documentation solely for Customer's own non-production, internal evaluation purposes (an "Evaluation License"). Each Evaluation License shall be granted for an evaluation period of up to thirty (30) days beginning (i) five (5) days after the Appliance is shipped or (ii) from the date that access is granted to the beta Software or the SaaS Software, plus any extensions granted by Provider in writing (the "Evaluation Period"). There is no fee for an Evaluation License during the Evaluation Period, however, Customer is responsible for any applicable shipping charges or taxes which may be incurred, and any fees which may be associated with usage beyond the scope permitted herein. Beta Software licensed hereunder may include pre-release features and capabilities which may not be available in SonicWall's generally available commercial versions of the Software. SonicWall retains the right during the term of the Evaluation License to modify, revise, or remove SonicWall beta software from Customer's premises. Customer acknowledges that SonicWall owns all modifications, derivative works, changes, expansions or improvements to beta software, as well as all reports, testing data or results, feedback, benchmarking or other analysis completed in whole or in part in conjunction with usage of beta software. NOTWITHSTANDING ANYTHING OTHERWISE SET FORTH IN THIS AGREEMENT, CUSTOMER UNDERSTANDS AND AGREES THAT EVALUATION AND BETA SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS," WHERE IS, WITH ALL FAULTS AND THAT SONICWALL DOES NOT PROVIDE A WARRANTY OR MAINTENANCE SERVICES FOR EVALUATION OR BETA LICENSES, AND SONICWALL BEARS NO LIABILITY FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, PUNITIVE, SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM USE (OR ATTEMPTED USE) OF THE EVALUATION OR BETA SOFTWARE THROUGH AND AFTER THE EVALUATION PERIOD AND HAS NO DUTY TO PROVIDE SUPPORT TO CUSTOMER FOR SUCH SOFTWARE. BETA SOFTWARE MAY CONTAIN DEFECTS AND A PRIMARY PURPOSE OF LICENSING THE BETA SOFTWARE IS TO OBTAIN FEEDBACK ON THE BETA SOFTWARE'S PERFORMANCE AND THE IDENTIFICATION OF DEFECTS. CUSTOMER IS ADVISED TO SAFEGUARD IMPORTANT DATA, TO USE CAUTION AND NOT TO RELY IN ANY WAY ON THE CORRECT FUNCTIONING OR PERFORMANCE OF THE BETA SOFTWARE AND/OR ACCOMPANYING MATERIALS.

**(f) Use by Third Parties.** Customer may allow its services vendors and contractors (each, a "Third Party User") to access and use the Products and Documentation provided to Customer hereunder solely for purposes of providing services to Customer, provided that Customer ensures that (i) the Third Party User's access to or use of the Products and Documentation is subject to the restrictions and limitations contained in this Agreement, including, but not limited to those in the Export Section, (ii) the Third Party User cooperates with Provider during any compliance review that may be conducted by Provider or its designated agent, and (iii) the Third Party Users promptly removes any Software installed on its computer equipment upon the completion of the Third Party's need to access or use the Products as permitted by this Section. Customer agrees that it shall be liable to Provider for those acts and omissions of its Third Party Users which, if done or not done by Customer, would be a breach of this Agreement.

**3. Restrictions.** Customer may not reverse engineer, decompile, disassemble, or attempt to discover or modify in any way the underlying source code of the Software, or any part thereof unless and to the extent (a) such restrictions are prohibited by applicable law and (b) Customer has requested interoperability information in writing from Provider and Provider has not provided such information in a timely manner. In addition, Customer may not (i) modify, translate, localize, adapt, rent, lease, loan, create or prepare derivative works of, or create a patent based on the Products, Documentation or any part thereof, (ii) resell, sublicense or distribute the Products or Documentation, (iii) provide, make available to, or permit use of the Products, in whole or in part, by any third party (except as expressly set forth herein), (iv) use the Products or Documentation to create or enhance a competitive offering or for any other purpose which is competitive to Provider, (v) remove Software that was delivered on an Appliance from the Appliance on which it was delivered and load such Software onto a different appliance without Provider's prior written consent, or (vi) perform or fail to perform any other act which would result in a misappropriation or infringement of Provider's intellectual property rights in the Products or Documentation. Each permitted copy of the Software and Documentation made by Customer hereunder must contain all titles, trademarks, copyrights and restricted rights notices as in the original. Customer understands and agrees that the Products may work in conjunction with third party products and Customer agrees to be responsible for ensuring that it is properly licensed to use such third party products. Notwithstanding anything otherwise set forth in this Agreement, the terms and restrictions set forth herein shall not prevent or restrict Customer from exercising additional or different rights to any open source software that may be contained in or provided with the Products in accordance with the applicable open source software licenses which shall be either included with the Products or made available to Customer upon request. Customer may not use any license keys or other license access devices not provided by Provider, including but not limited to "pirate keys," to install or access the Software.

**4. Proprietary Rights.** Customer understands and agrees that (i) the Products are protected by copyright and other intellectual property laws and treaties, (ii) Provider, its Affiliates and/or its licensors own the copyright, and other intellectual property rights in the Products, (iii) the Software is licensed, and not sold, (iv) this Agreement does not grant Customer any rights to Provider's trademarks or service marks, and (v) Provider reserves any and all rights, implied or otherwise, which are not expressly granted to Customer in this Agreement.

**5. Title.** Provider, its Affiliates and/or its licensors own the title to all Software.

**6. Payment.** Customer agrees to pay to Provider (or, if applicable, the Partner) the fees specified in each order, including any applicable shipping fees. Customer will be invoiced promptly following delivery of the Products or prior to the commencement of any Renewal Maintenance Period and Customer shall make all payments due to Provider in full within thirty (30) days from the date of each invoice or such other period (if any) stated in an order. Provider reserves the right to charge Customer a late penalty of 1.5% per month (or the maximum rate permitted by law, whichever is the lesser) for any amounts payable to Provider by Customer that are not subject to a good faith dispute and that remain unpaid after the due date until such amount is paid.

**7. Taxes.** The fees stated in an order from Provider or a Partner may not include taxes. If Provider is required to pay sales, use, property, value-added or other taxes based on the Products or Maintenance Services provided under this Agreement or on Customer's use of Products or Maintenance Services, then such taxes shall be billed to and paid by Customer. This Section does not apply to taxes based on Provider's or a Partner's income.

#### **8. Termination.**

(a) This Agreement or the Licenses granted hereunder may be terminated (i) by mutual written agreement of Provider and Customer or (ii) by either party for a breach of this Agreement by the other party (or a Third Party User) that the breaching party fails to cure to the non-breaching party's reasonable satisfaction within thirty (30) days following its receipt of notice of the breach. Notwithstanding the foregoing, in the case of MSP Licenses, if Customer or its Client breaches this Agreement two (2) times in any twelve (12) consecutive month period, the breaching party shall not have a cure period for such breach and Provider may terminate this Agreement immediately upon providing written notice to the breaching party.

(b) Upon termination of this Agreement or expiration or termination of a License for any reason, all rights granted to Customer for the applicable Software shall immediately cease and Customer shall immediately: (i) cease using the applicable Software and Documentation, (ii) remove all copies, installations, and instances of the applicable Software from all Appliances, Customer computers and any other devices on which the Software was installed, and ensure that all applicable Third Party Users and Clients do the same, (iii) return the applicable Software to Provider together with all Documentation and other materials associated with the Software and all copies of any of the foregoing, or destroy such items, (iv) cease using the Maintenance Services associated with the applicable Software, (v) pay Provider or the applicable Partner all amounts due and payable up to the date of termination, and (vi) give Provider a written certification, within ten (10) days, that Customer, Third Party Users, and Clients, as applicable, have complied with all of the foregoing obligations.

(c) Any provision of this Agreement that requires or contemplates execution after (i) termination of this Agreement, (ii) a termination or expiration of a License, or (iii) the expiration of a SaaS Term, is enforceable against the other party and their respective successors and assignees notwithstanding such termination or expiration, including, without limitation, the Restrictions, Payment, Taxes, Termination,

Survival, Warranty Disclaimer, Infringement Indemnity, Limitation of Liability, Confidential Information, Compliance Verification, and General Sections of this Agreement. Termination of this Agreement or a License shall be without prejudice to any other remedies that the terminating party or a Partner may have under law, subject to the limitations and exclusions set forth in this Agreement.

9. **Export.** Customer acknowledges that the Products and Maintenance Services are subject to the export control laws, rules, regulations, restrictions and national security controls of the United States and other applicable foreign agencies (the "Export Controls") and agrees to abide by the Export Controls. Customer hereby agrees to use the Products and Maintenance Services in accordance with the Export Controls, and shall not export, re-export, sell, lease or otherwise transfer the Products or any copy, portion or direct product of the foregoing in violation of the Export Controls. Customer is solely responsible for obtaining all necessary licenses or authorizations relating to the export, re-export, sale, lease or transfer of the Products and for ensuring compliance with the requirements of such licenses or authorizations. Customer hereby (i) represents that Customer, and if Customer is providing services under the MSP License herein each of its Clients, is not an entity or person to which shipment of Products, or provision of Maintenance Services, is prohibited by the Export Controls; and (ii) agrees that it shall not export, re-export or otherwise transfer the Products to (a) any country subject to a United States trade embargo, (b) a national or resident of any country subject to a United States trade embargo, (c) any person or entity to which shipment of Products is prohibited by the Export Controls, or (d) anyone who is engaged in activities related to the design, development, production, or use of nuclear materials, nuclear facilities, nuclear weapons, missiles or chemical or biological weapons. Customer shall, at its expense, defend Provider and its Affiliates from any third party claim or action arising out of any inaccurate representation made by Customer regarding the existence of an export license, Customer's failure to provide information to Provider to obtain an export license, or any allegation made against Provider due to Customer's violation or alleged violation of the Export Controls (an "Export Claim") and shall pay any judgments or settlements reached in connection with the Export Claim as well as Provider's costs of responding to the Export Claim.

#### 10. Maintenance Services.

(a) **Description.** During any Maintenance Period, Provider shall:

(i) Make available to Customer new versions and releases of the Software, if and when Provider makes them generally available without charge as part of Maintenance Services.

(ii) Respond to communications from Customer that report Software failures not previously reported to Provider by Customer. Nothing in the foregoing shall operate to limit or restrict follow up communication by Customer regarding Software failures.

(iii) Respond to requests from Customer's technical coordinators for assistance with the operational/technical aspects of the Software unrelated to a Software failure. Provider shall have the right to limit such responses if Provider reasonably determines that the volume of such non-error related requests for assistance is excessive or overly repetitive in nature.

(iv) Provide access to Provider's software support web site at <https://www.sonicwall.com/ja-jp/support> (the "Support Site").

(v) For Customers that have purchased Maintenance Services continuously since the purchase of such License, provide the repair and return program described on the Support Site for the Appliance on which the Software is delivered.

Maintenance Services are available during regional business support hours ("Business Hours") as indicated on the Support Site, unless Customer has purchased 24x7 Support. The list of Software for which 24x7 Support is available and/or required is listed in the Global Support Guide on the Support Site.

The Maintenance Services for Software that Provider has obtained through an acquisition or merger may, for a period of time following the effective date of the acquisition or merger, be governed by terms other than those in this Section. The applicable different terms, if any, shall be stated on the Support Site.

(b) **Maintenance Period.** The first period for which Customer is entitled to receive Maintenance Services begins on the date of the registration of the Product at Provider's registration portal (the "Registration") and ends twelve (12) months thereafter (the "Initial Maintenance Period"). Following the Initial Maintenance Period, Maintenance Services for the Product(s) may then be renewed for additional terms of twelve (12) or more months (each, a "Renewal Maintenance Period") for purposes of this Agreement, the Initial Maintenance Period and each Renewal Maintenance Period shall be considered a "Maintenance Period." For the avoidance of doubt, this Agreement shall apply to each Renewal Maintenance Period. Cancellation of Maintenance Services will not terminate Customer's rights to continue to otherwise use the Products. Maintenance fees shall be due in advance of each Renewal Maintenance Period and shall be subject to the payment requirements set forth in this Agreement. The procedure for reinstating Maintenance Services for the Products after it has lapsed is posted at <https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/essentials/support-guide>. Maintenance Services are optional and only provided if purchased separately.

For SaaS Software, the Maintenance Period is equal to the duration of the applicable SaaS Term. For non-perpetual Licenses or for non-perpetual MSP Licenses, the Maintenance Period is equal to the duration of the License.

#### 11. Warranties and Remedies.

(a) **Software Warranties.** Provider warrants that, during the applicable Warranty Period (as defined in subsection (c) below),

(i) the operation of the Software, as provided by Provider, will substantially conform to its Documentation (the "Operational Warranty");

(ii) the Software, as provided by Provider, will not contain any viruses, worms, Trojan Horses, or other malicious or destructive code designed by Provider to allow unauthorized intrusion upon, disabling of, or erasure of the Software, except that the Software may contain a key limiting its use to the scope of the License granted, and license keys issued by Provider for temporary use are time-sensitive (the "Virus Warranty");

(iii) it will make commercially reasonable efforts to make the SaaS Software available twenty-four hours a day, seven days a week except for scheduled maintenance, the installation of updates, those factors that are beyond the reasonable control of Provider, Customer's failure to meet any minimum system requirements communicated to Customer by Provider, and any breach of this Agreement by Customer that impacts the availability of the SaaS Software (the "SaaS Availability Warranty").

(b) **Appliance Warranties.** Provider warrants that, during the applicable Warranty Period, the Appliance will operate in a manner which allows the SNWL Software, respectively, to be used in substantial conformance with the Documentation (the "Appliance Warranty").

(c) **Warranty Periods.** The "Warranty Period" for each of the above warranties (except for E-class appliances which do not include a Software warranty, shall be as follows: (i) for the Operational Warranty as it applies to Software and the Virus Warranty, ninety (90) days following the initial Registration of the Software; (ii) for the Operational Warranty as it applies to SaaS Software and the SaaS Availability Warranty, the duration of the SaaS Term; and (iv) for the Appliance Warranty, one (1) year following the date the Appliance is registered with Provider.

(d) **Remedies.** Any breach of the foregoing warranties must be reported by Customer to Provider during the applicable Warranty Period. Customer's sole and exclusive remedy and Provider's sole obligation for any such breach shall be as follows:

(i) For a breach of the *Operational Warranty* that impacts the use of Software, Provider shall correct or provide a workaround for reproducible errors in the Software that caused the breach within a reasonable time considering the severity of the error and its effect on Customer or, at Provider's option, refund the license fees paid for the nonconforming Software upon return of such Software to Provider and termination of the related License(s) hereunder.

(ii) For a breach of the *Operational Warranty* that impacts the use of SaaS Software, Provider shall correct or provide a workaround for reproducible errors in the Software that caused the breach and provide a credit or refund of the fees allocable to the period during which the Software was not operating in substantial conformance with the applicable Documentation.

(iii) For a breach of the *Virus Warranty*, Provider shall replace the Software with a copy that is in conformance with the Virus Warranty.

(v) For a breach of the *SaaS Availability Warranty*, Provider shall provide a credit or refund of the fees allocable to the period during which the SaaS Software was not available for use.

(e) **Warranty Exclusions.** The warranties set forth in this Section shall not apply to any non-conformance (i) that Provider cannot recreate after exercising commercially reasonable efforts to attempt to do so; (ii) caused by misuse of the applicable Product or by using the Product

in a manner that is inconsistent with this Agreement or the Documentation; or (iii) arising from the modification of the Product by anyone other than Provider.

(f) **Third Party Products.** Certain Software may contain features designed to interoperate with third-party products. If the third-party product is no longer made available by the applicable provider, Provider may discontinue the related product feature. Provider shall notify Customer of any such discontinuation, however Customer will not be entitled to any refund, credit or other compensation as a result of the discontinuation.

(g) **Warranty Disclaimer.** THE EXPRESS WARRANTIES AND REMEDIES SET FORTH IN THIS SECTION ARE THE ONLY WARRANTIES AND REMEDIES PROVIDED BY PROVIDER HEREUNDER. TO THE MAXIMUM EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW, ALL OTHER WARRANTIES OR REMEDIES ARE EXCLUDED, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED, ORAL OR WRITTEN, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE, NON-INFRINGEMENT, SATISFACTORY QUALITY, AND ANY WARRANTIES ARISING FROM USAGE OF TRADE OR COURSE OF DEALING OR PERFORMANCE. PROVIDER DOES NOT WARRANT UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE OPERATION OF THE PRODUCTS.

(h) **High-Risk Disclaimer.** CUSTOMER UNDERSTANDS AND AGREES THAT THE PRODUCTS ARE NOT FAULT-TOLERANT AND ARE NOT DESIGNED OR INTENDED FOR USE IN ANY HIGH-RISK OR HAZARDOUS ENVIRONMENT, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION, AIR TRAFFIC CONTROL, LIFE SUPPORT MACHINES, WEAPONS SYSTEMS, OR ANY OTHER APPLICATION WHERE THE FAILURE OR MALFUNCTION OF ANY PRODUCT CAN REASONABLY BE EXPECTED TO RESULT IN DEATH, PERSONAL INJURY, SEVERE PROPERTY DAMAGE OR SEVERE ENVIRONMENTAL HARM (A “**HIGH RISK ENVIRONMENT**”). ACCORDINGLY, (I) CUSTOMER SHOULD NOT USE THE PRODUCTS IN A HIGH RISK ENVIRONMENT, (II) ANY USE OF THE PRODUCTS BY CUSTOMER IN A HIGH RISK ENVIRONMENT IS AT CUSTOMER’S OWN RISK, (III) PROVIDER, ITS AFFILIATES AND SUPPLIERS SHALL NOT BE LIABLE TO CUSTOMER IN ANY WAY FOR USE OF THE PRODUCTS IN A HIGH RISK ENVIRONMENT, AND (IV) PROVIDER MAKES NO WARRANTIES OR ASSURANCES, EXPRESS OR IMPLIED, REGARDING USE OF THE PRODUCTS IN A HIGH RISK ENVIRONMENT.

**12. Infringement Indemnity.** Provider shall indemnify Customer from and against any claim, suit, action, or proceeding brought against Customer by a third party to the extent it is based on an allegation that the Software directly infringes any patent, copyright, trademark, or other proprietary right enforceable in the country in which Provider has authorized Customer to use the Software, including, but not limited to the country to which the Software is delivered to Customer, or misappropriates a trade secret in such country (a “**Claim**”). Indemnification for a Claim shall consist of the following: Provider shall (a) defend or settle the Claim at its own expense, (b) pay any judgments finally awarded against Customer under a Claim or any amounts assessed against Customer in any settlements of a Claim, and (c) reimburse Customer for the reasonable administrative costs or expenses, including without limitation reasonable attorneys’ fees, it necessarily incurs in responding to the Claim. Provider’s obligations under this *Infringement Indemnity* Section are conditioned upon Customer (i) giving prompt written notice of the Claim to Provider, (ii) permitting Provider to retain sole control of the investigation, defense or settlement of the Claim, and (iii) providing Provider with cooperation and assistance as Provider may reasonably request in connection with the Claim. Provider shall have no obligation hereunder to defend Customer against any Claim (a) resulting from use of the Software other than as authorized by this Agreement, (b) resulting from a modification of the Software other than by Provider, (c) based on Customer’s use of any release of the Software after Provider recommends discontinuation because of possible or actual infringement and has provided a non-infringing version at no charge, or (d) to the extent the Claim arises from or is based on the use of the Software with other products, services, or data not supplied by Provider if the infringement would not have occurred but for such use. If, as a result of a Claim or an injunction, Customer must stop using any Software (“**Infringing Software**”), Provider shall at its expense and option either (1) obtain for Customer the right to continue using the Infringing Software, (2) replace the Infringing Software with a functionally equivalent non-infringing product, (3) modify the Infringing Software so that it is non-infringing, or (4) terminate the License for the Infringing Software and (A) for non-SaaS Software, accept the return of the Infringing Software and refund the license fee paid for the Infringing Software, pro-rated over a sixty (60) month period from the date of initial delivery of such Software, or (B) for SaaS Software, discontinue Customer’s right to access and use the Infringing Software and refund the unused pro-rated portion of any license fees pre-paid by Customer for such Software. This Section states Provider’s entire liability and its sole and exclusive indemnification obligations with respect to a Claim and Infringing Software.

**13. Limitation of Liability.** EXCEPT FOR (A) ANY BREACH OF THE *RESTRICTIONS* OR *CONFIDENTIAL INFORMATION* SECTIONS OF THIS AGREEMENT, (B) AMOUNTS CONTAINED IN JUDGMENTS OR SETTLEMENTS WHICH PROVIDER OR CUSTOMER IS LIABLE TO PAY TO A THIRD PARTY UNDER THE *INFRINGEMENT INDEMNITY* SECTION OF THIS AGREEMENT AND CUSTOMER IS LIABLE TO PAY ON BEHALF OF OR TO PROVIDER UNDER THE *CONDUCT, EXPORT, MSP LICENSE, AND USE BY THIRD PARTIES* SECTIONS OF THIS AGREEMENT, OR (C) ANY LIABILITY TO THE EXTENT LIABILITY MAY NOT BE EXCLUDED OR LIMITED AS A MATTER OF APPLICABLE LAW, IN NO EVENT SHALL CUSTOMER OR ITS AFFILIATES, OR PROVIDER, ITS AFFILIATES OR SUPPLIERS BE LIABLE FOR (X) ANY INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL OR CONSEQUENTIAL LOSS OR DAMAGE OF ANY KIND OR (Y) LOSS OF REVENUE, LOSS OF ACTUAL OR ANTICIPATED PROFITS, LOSS OF BUSINESS, LOSS OF CONTRACTS, LOSS OF GOODWILL OR REPUTATION, LOSS OF ANTICIPATED SAVINGS, LOSS OF, DAMAGE TO OR CORRUPTION OF DATA, HOWSOEVER ARISING, WHETHER SUCH LOSS OR DAMAGE WAS FORESEEABLE OR IN THE CONTEMPLATION OF THE PARTIES AND WHETHER ARISING IN OR FOR BREACH OF CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), BREACH OF STATUTORY DUTY, OR OTHERWISE.

EXCEPT FOR (A) ANY BREACH OF THE *SOFTWARE LICENSE, RESTRICTIONS, OR CONFIDENTIAL INFORMATION* SECTIONS OF THIS AGREEMENT, OR ANY OTHER VIOLATION OF THE OTHER PARTY’S INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS; (B) PROVIDER’S EXPRESS OBLIGATIONS UNDER THE *INFRINGEMENT INDEMNITY* SECTION OF THIS AGREEMENT AND CUSTOMER’S EXPRESS OBLIGATIONS UNDER THE *CONDUCT, EXPORT, MSP LICENSE, AND USE BY THIRD PARTIES* SECTIONS OF THIS AGREEMENT, (C) PROVIDER’S COSTS OF COLLECTING DELINQUENT AMOUNTS WHICH ARE NOT THE SUBJECT OF A GOOD FAITH DISPUTE; (D) A PREVAILING PARTY’S LEGAL FEES PURSUANT TO THE *LEGAL FEES* SECTION OF THIS AGREEMENT; OR (E) ANY LIABILITY TO THE EXTENT LIABILITY MAY NOT BE EXCLUDED OR LIMITED AS A MATTER OF APPLICABLE LAW, THE MAXIMUM AGGREGATE AND CUMULATIVE LIABILITY OF CUSTOMER AND ITS AFFILIATES, AND PROVIDER, ITS AFFILIATES AND SUPPLIERS, FOR DAMAGES UNDER THIS AGREEMENT, WHETHER ARISING IN OR FOR BREACH OF CONTRACT, TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), BREACH OF STATUTORY DUTY, OR OTHERWISE, SHALL BE AN AMOUNT EQUAL TO (Y) THE GREATER OF THE FEES PAID AND/OR OWED (AS APPLICABLE) BY CUSTOMER OR ITS AFFILIATES FOR THE PRODUCTS THAT ARE THE SUBJECT OF THE BREACH OR FIVE HUNDRED DOLLARS (\$500.00), EXCEPT FOR (Z) MAINTENANCE SERVICES OR A PRODUCT SUBJECT TO RECURRING FEES, FOR WHICH THE MAXIMUM AGGREGATE AND CUMULATIVE LIABILITY SHALL BE THE GREATER OF THE AMOUNT PAID AND/OR OWED (AS APPLICABLE) FOR SUCH MAINTENANCE SERVICE OR PRODUCT DURING THE TWELVE (12) MONTHS PRECEDING THE BREACH OR FIVE HUNDRED DOLLARS (\$500.00). THE PARTIES AGREE THAT THESE LIMITATIONS OF LIABILITY ARE AGREED ALLOCATIONS OF RISK CONSTITUTING IN PART THE CONSIDERATION FOR PROVIDER PROVIDING PRODUCTS AND SERVICES TO CUSTOMER, AND SUCH LIMITATIONS WILL APPLY NOTWITHSTANDING THE FAILURE OF THE ESSENTIAL PURPOSE OF ANY LIMITED REMEDY AND EVEN IF A PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH LIABILITIES OR FAILURES.

Provider’s Affiliates and suppliers and Customer’s Affiliates shall be beneficiaries of this Limitation of Liability Section and Customer’s Clients and Third Party Users are entitled to the rights granted under the *MSP License and Use by Third Parties* Sections of this Agreement; otherwise, no third party beneficiaries exist under this Agreement. Provider expressly excludes any and all liability to Third Party Users, Clients and to any other third party.

#### 14. Confidential Information.

(a) **Definition.** “**Confidential Information**” means information or materials disclosed by one party (the “**Disclosing Party**”) to the other party (the “**Receiving Party**”) that are not generally available to the public and which, due to their character and nature, a reasonable person under like circumstances would treat as confidential, including, without limitation, financial, marketing, and pricing information, trade secrets, know-how, proprietary tools, knowledge and methodologies, the Software (in source code and/or object code form), information or benchmark test results regarding the functionality and performance of the Software, any Software license keys provided to Customer, and the terms and conditions of this Agreement.

Confidential Information shall not include information or materials that (i) are generally known to the public, other than as a result of an unpermitted disclosure by the Receiving Party after the date that Customer accepts the Agreement (the “**Effective Date**”); (ii) were known to the Receiving Party without an obligation of confidentiality prior to receipt from the Disclosing Party; (iii) the Receiving Party lawfully received from a third party without that third party’s breach of agreement or obligation of trust; (iv) are protected by Provider in accordance with its obligations under the Protected Data Section below, or (v) are or were independently developed by the Receiving Party without access to or use of the Disclosing Party’s Confidential Information.

(b)**Obligations.** The Receiving Party shall (i) not disclose the Disclosing Party's Confidential Information to any third party, except as permitted in subsection (c) below and (ii) protect the Disclosing Party's Confidential Information from unauthorized use or disclosure by exercising at least the same degree of care it uses to protect its own similar information, but in no event less than a reasonable degree of care. The Receiving Party shall promptly notify the Disclosing Party of any known unauthorized use or disclosure of the Disclosing Party's Confidential Information and will cooperate with the Disclosing Party in any litigation brought by the Disclosing Party against third parties to protect its proprietary rights. For the avoidance of doubt, this Section shall apply to all disclosures of the parties' Confidential Information as of the Effective Date, whether or not specifically arising from a party's performance under this Agreement.

(c)**Permitted Disclosures.** Notwithstanding the foregoing, the Receiving Party may disclose the Disclosing Party's Confidential Information without the Disclosing Party's prior written consent to any of its Affiliates, directors, officers, employees, consultants, contractors or representatives (collectively, the "Representatives"), but only to those Representatives that (i) have a "need to know" in order to carry out the purposes of this Agreement or to provide professional advice in connection with this Agreement, (ii) are legally bound to the Receiving Party to protect information such as the Confidential Information under terms at least as restrictive as those provided herein, and (iii) have been informed by the Receiving Party of the confidential nature of the Confidential Information and the requirements regarding restrictions on disclosure and use as set forth in this Section. The Receiving Party shall be liable to the Disclosing Party for the acts or omissions of any Representatives to which it discloses Confidential Information which, if done by the Receiving Party, would be a breach of this Agreement.

Additionally, it shall not be a breach of this Section for the Receiving Party to disclose the Disclosing Party's Confidential Information as may be required by operation of law or legal process, provided that the Receiving Party provides prior notice of such disclosure to the Disclosing Party unless expressly prohibited from doing so by a court, arbitration panel or other legal authority of competent jurisdiction.

**15. Protected Data.** For purposes of this Section, "Protected Data" means any information or data that is provided by Customer to Provider during this Agreement that alone or together with any other information relates to an identified or identifiable natural person or data considered to be personal data as defined under Privacy Laws, and "Privacy Laws" means any applicable law, statute, directive or regulation regarding privacy, data protection, information security obligations and/or the processing of Protected Data.

Except as permitted herein or to the extent required by Privacy Laws or legal process, Provider shall implement reasonable technical and organizational measures to prevent unauthorized disclosure of or access to Protected Data by third parties, and shall only store and process Protected Data as may be required to fulfill its obligations under this Agreement. If Provider complies with Customer's written instructions with respect to the Protected Data, Provider shall have no liability to Customer for any breach of this Section resulting from such compliance. Provider shall promptly notify Customer of any disclosure of or access to the Protected Data by a third party in breach of this Section and shall cooperate with Customer to reasonably remediate the effects of such disclosure or access. Provider further affirms to Customer that it has adequate agreements in place incorporating the EU standard contractual clauses for the transfer of Protected Data from the European Union ("EU") to a country outside the EU.

Customer hereby (i) represents that it has the right to send the Protected Data to Provider, (ii) consents for Provider to store and use the Protected Data worldwide for the sole purpose of performing its obligations under this Agreement, (iii) agrees that the Protected Data may be accessed and used by Provider and its Representatives worldwide as may be needed to support Provider's standard business operations, and (iv) agrees that Protected Data consisting of Customer contact information (e.g., email addresses, names) provided as part of Maintenance Services may be sent to Provider's third party service providers as part of Provider's services improvement processes.

**16. Compliance Verification.** Customer agrees to maintain and use systems and procedures to accurately track, document, and report its installations, acquisitions and usage of the Software. Such systems and procedures shall be sufficient to determine if Customer's deployment of the Software or, if applicable, use of the SaaS Software is within the quantities, terms, and maintenance releases to which it is entitled. Provider or its designated auditing agent shall have the right to audit Customer's deployment of the Software or, if applicable, use of the SaaS Software for compliance with the terms and conditions of this Agreement. Any such audits shall be scheduled at least ten (10) days in advance and shall be conducted during normal business hours at Customer's facilities. Customer shall provide its full cooperation and assistance with such audit and provide access to the applicable records and computers. Without limiting the generality of the foregoing, as part of the audit, Provider may request, and Customer agrees to provide, a written report, signed by an authorized representative, listing Customer's then current deployment of the Software and/or the number of individuals that have accessed and used SaaS Software. If Customer's deployment of the Software or, if applicable, use of the SaaS Software is found to be greater than its purchased entitlement to such Software, Customer will be invoiced for the over-deployed quantities at Provider's then current list price plus the applicable Maintenance Services and applicable over-deployment fees. All such amounts shall be payable in accordance with this Agreement. Additionally, if the unpaid fees exceed five percent (5%) of the fees paid for the applicable Software, then Customer shall also pay Provider's reasonable costs of conducting the audit. The requirements of this Section shall survive for two (2) years following the termination of the last License governed by this Agreement.

#### **17. SaaS Provisions.**

(a)**Data.** Customer may store data on the systems to which it is provided access in connection with its use of the SaaS Software (the "SaaS Environment"). Provider may periodically make back-up copies of Customer data, however, such back-ups are not intended to replace Customer's obligation to maintain regular data backups or redundant data archives. Customer is solely responsible for collecting, inputting and updating all Customer data stored in the SaaS Environment, and for ensuring that it does not (i) knowingly create and store data that actually or potentially infringes or misappropriates the copyright, trade secret, trademark or other intellectual property right of any third party, or (ii) use the SaaS Environment for purposes that would reasonably be seen as obscene, defamatory, harassing, offensive or malicious. Provider shall have the right to delete all Customer data stored in connection with the use of the SaaS Software thirty (30) days following any termination of this Agreement or any License to SaaS Software granted hereunder.

Customer represents and warrants that it has obtained all rights, permissions and consents necessary to use and transfer all Customer and/or third party data within and outside of the country in which Customer or the applicable Customer Affiliate is located (including providing adequate disclosures and obtaining legally sufficient consents from Customer's employees, customers, agents, and contractors). If Customer transmits data to a third-party website or other provider that is linked to or made accessible by the SaaS Software, Customer will be deemed to have given its consent to Provider enabling such transmission and Provider shall have no liability to Customer in connection with any claims by a third party in connection with such transmission.

(b)**Conduct.** In connection with the use of SaaS Software, Customer may not (i) attempt to use or gain unauthorized access to Provider's or to any third-party's networks or equipment; (ii) permit other individuals or entities to copy the SaaS Software; (iii) provide unauthorized access to or use of any SaaS Software or the associated access credentials; (iv) attempt to probe, scan or test the vulnerability of the SaaS Software, the SaaS Environment, or a system, account or network of Provider or any of Provider's customers or suppliers; (v) interfere or attempt to interfere with service to any user, host or network; (vi) engage in fraudulent, offensive or illegal activity of any nature or intentionally engage in any activity that infringes the intellectual property rights or privacy rights of any individual or third party; (vii) transmit unsolicited bulk or commercial messages; (viii) intentionally distribute worms, Trojan horses, viruses, corrupted files or any similar items; (ix) restrict, inhibit, or otherwise interfere with the ability of any other person, regardless of intent, purpose or knowledge, to use or enjoy the SaaS Software (except for tools with safety and security functions); or (x) restrict, inhibit, interfere with or otherwise disrupt or cause a performance degradation to any Provider (or Provider supplier) facilities used to provide the SaaS Environment. Customer shall cooperate with Provider's reasonable investigation of SaaS Environment outages, security issues, and any suspected breach of this Section, and shall, at its expense, defend Provider and its Affiliates from any claim, suit, or action by a third party (a "Third Party Claim") alleging harm to such third party caused by Customer's breach of any of the provisions of this Section. Additionally, Customer shall pay any judgments or settlements reached in connection with the Third Party Claim as well as Provider's costs of responding to the Third Party Claim.

(c)**Suspension.** Provider may suspend Customer's use of SaaS Software (a) if so required by law enforcement or legal process, (b) in the event of an imminent security risk to Provider or its customers, or (c) if continued use would subject Provider to material liability. Provider shall make commercially reasonable efforts under the circumstances to provide prior notice to Customer of any such suspension.

#### **18. General.**

(a)**Governing Law and Venue.** This Agreement shall be governed by and construed in accordance with the laws of the State of California, without giving effect to any conflict of laws principles that would require the application of laws of a different state. Any action seeking enforcement of this Agreement or any provision hereof shall be brought exclusively in the state or federal courts located in the Santa Clara County, California. Each party hereby agrees to submit to the jurisdiction of such courts. The parties agree that neither the United Nations



Convention on Contracts for the International Sale of Goods, nor the Uniform Computer Information Transaction Act (UCITA) shall apply to this Agreement, regardless of the states in which the parties do business or are incorporated.

(b)**Assignment.** Except as otherwise set forth herein, Customer shall not, in whole or part, assign or transfer any part of this Agreement, the Licenses granted under this Agreement or any other rights, interest or obligations hereunder, whether voluntarily, by contract, by operation of law or by merger (whether that party is the surviving or disappearing entity), stock or asset sale, consolidation, dissolution, through government action or order, or otherwise without the prior written consent of Provider. Any attempted transfer or assignment by Customer that is not permitted by this Agreement shall be null and void.

(c)**Severability.** If any provision of this Agreement shall be held by a court of competent jurisdiction to be contrary to law, such provision will be enforced to the maximum extent permissible by law to effect the intent of the parties and the remaining provisions of this Agreement will remain in full force and effect. Notwithstanding the foregoing, the terms of this Agreement that limit, disclaim, or exclude warranties, remedies or damages are intended by the parties to be independent and remain in effect despite the failure or unenforceability of an agreed remedy. The parties have relied on the limitations and exclusions set forth in this Agreement in determining whether to enter into it.

(d)**Use by U.S. Government.** The Software is a "commercial item" under FAR 12.201. Consistent with FAR section 12.212 and DFARS section 227.7202, any use, modification, reproduction, release, performance, display, disclosure or distribution of the Software or Documentation by the U.S. government is prohibited except as expressly permitted by the terms of this Agreement. In addition, when Customer is a U.S. government entity, the language in Subsection (ii) of the *Infringement Indemnity* Section of this Agreement and the *Injunctive Relief* Section of this Agreement shall not be applicable.

(e)**Notices.** All notices provided hereunder shall be in writing and may be delivered by email, in the case of Provider to [legal@sonicwall.com](mailto:legal@sonicwall.com) and in the case of Customer to the email address Provider has on file for Customer. All notices, requests, demands or communications shall be deemed effective upon delivery in accordance with this paragraph.

(f)**Disclosure of Customer Status.** Provider may include Customer in its listing of customers and, upon written consent by Customer, announce Customer's selection of Provider in its marketing communications.

(g)**Waiver.** Performance of any obligation required by a party hereunder may be waived only by a written waiver signed by an authorized representative of the other party, which waiver shall be effective only with respect to the specific obligation described therein. Any waiver or failure to enforce any provision of this Agreement on one occasion will not be deemed a waiver of any other provision or of such provision on any other occasion.

(h)**Injunctive Relief.** Each party acknowledges and agrees that in the event of a material breach of this Agreement, including but not limited to a breach of the *Software License, Restrictions* or *Confidential Information* Sections of this Agreement, the non-breaching party shall be entitled to seek immediate injunctive relief, without limiting its other rights and remedies.

(i)**Force Majeure.** Each party will be excused from performance for any period during which, and to the extent that, it is prevented from performing any obligation or service as a result of causes beyond its reasonable control, and without its fault or negligence, including without limitation, acts of God, strikes, lockouts, riots, acts of war, epidemics, communication line failures, and power failures. For added certainty, this Section shall not operate to change, delete, or modify any of the parties' obligations under this Agreement (e.g., payment), but rather only to excuse a delay in the performance of such obligations.

(j)**Equal Opportunity.** Provider is a federal contractor and Affirmative Action employer (M/F/D/V) as required by the Equal Opportunity clause C.F.R. § 60-741.5(a).

(k)**Headings.** Headings in this Agreement are for convenience only and do not affect the meaning or interpretation of this Agreement. This Agreement will not be construed either in favor of or against one party or the other, but rather in accordance with its fair meaning. When the term "including" is used in this Agreement it will be construed in each case to mean "including, but not limited to."

(l)**Legal Fees.** If any legal action is brought to enforce any rights or obligations under this Agreement, the prevailing party shall be entitled to recover its reasonable attorneys' fees, court costs and other collection expenses, in addition to any other relief it may be awarded.

(m)**Entire Agreement.** This Agreement is intended by the parties as a final expression of their agreement with respect to the subject matter thereof and may not be contradicted by evidence of any prior or contemporaneous agreement unless such agreement is signed by both parties. In the absence of such an agreement, this Agreement shall constitute the complete and exclusive statement of the terms and conditions and no extrinsic evidence whatsoever may be introduced in any proceeding that may involve the Agreement. Each party acknowledges that in entering into the Agreement it has not relied on, and shall have no right or remedy in respect of, any statement, representation, assurance or warranty (whether made negligently or innocently) other than as expressly set out in the Agreement. In those jurisdictions where an original (non-faxed, non-electronic, or non-scanned) copy of an agreement or an original (non-electronic) signature on agreements such as this Agreement is required by law or regulation, the parties hereby agree that, notwithstanding any such law or regulation, a faxed, electronic, or scanned copy of and a certified electronic signature on this Agreement shall be sufficient to create an enforceable and valid agreement. This Agreement, may only be modified or amended by a writing executed by a duly authorized representative of each party. No other act, document, usage or custom shall be deemed to amend or modify this Agreement.

## SonicWall サポート

有効なメンテナンス契約が付属する SonicWall 製品をご購入になったお客様や、トライアルバージョンをお持ちのお客様は、テクニカルサポートを利用できます。

サポート ポータルには、問題を自主的にすばやく解決するために使用できるセルフヘルプ ツールがあり、24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート ポータルにアクセスするには、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support> に移動します。

サポート ポータルでは、次のことができます。

- ナレッジ ベースの記事や技術文書を閲覧する。
- ビデオ チュートリアルを視聴する。
- MySonicWall にアクセスする。
- SonicWall のプロフェッショナル サービスに関して情報を得る。
- SonicWall サポート サービスおよび保証に関する情報を確認する。
- トレーニングや認定プログラムに登録する。
- テクニカル サポートやカスタマー サービスを要求する。

SonicWall サポートへの連絡方法は、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/support/contact-support> をご覧ください。

# このドキュメントについて

## 凡例



**警告：** 物的損害、けが、または死亡に至る可能性があることを示しています。



**注意：** 手順に従わないとハードウェアの破損やデータの消失が生じるおそれがあることを示しています。



**重要、メモ、ヒント、モバイル、またはビデオ：** 補足情報があることを示しています。

SMA ユーザガイド  
更新日 - 2018 年 12 月  
ソフトウェアバージョン - 9.0  
232-004630-00 Rev A

Copyright © 2018 SonicWall Inc. All rights reserved.

SonicWall は、SonicWall Inc. および/またはその関連会社の米国および/またはその他の国における商標または登録商標です。その他の商標または登録商標は、各社の所有物です。

本文書の情報は SonicWall Inc. およびその関連会社の製品に関して提供されています。明示的、黙示的、または禁反言などを問わず、本書または SonicWall 製品の販売に関連して、いかなる知的所有権のライセンスも供与されません。本製品のライセンス契約で定義される契約条件で明示的に規定される場合を除き、SonicWall および/またはその関連会社は一切の責任を負わず、商品性、特定目的への適合性、あるいは権利を侵害しないことの暗示的な保証を含む(ただしこれに限定されない)、製品に関する明示的、暗示的、または法定的な責任を放棄します。いかなる場合においても、SonicWall および/またはその関連会社が事前にこのような損害の可能性を認識していた場合でも、SonicWall および/またはその関連会社は、本文書の使用または使用できないことから生じる、直接的、間接的、結果的、懲罰的、特殊的、または付随的な損害(利益の損失、事業の中断、または情報の損失を含むが、これに限定されない)について一切の責任を負わないものとします。SonicWall および/またはその関連会社は、本書の内容に関する正確性または完全性についていかなる表明または保証も行いません。また、事前の通知なく、いつでも仕様および製品説明を変更する権利を留保するものとします。SonicWall Inc. および/またはその関連会社は、本書に記載されている情報を更新する義務を負わないものとします。

詳細については、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal> を参照してください。

## エンド ユーザ製品契約

SonicWall エンド ユーザ製品利用規約を参照する場合は、<https://www.sonicwall.com/ja-jp/legal/license-agreements> に移動してください。お客様の地域に適用される EUPA を表示するには、地理的位置に応じて言語を選択してください。

## オープン ソース コード

SonicWall では、該当する場合は、GPL、LGPL、AGPL のような制限付きライセンスによるオープン ソース コードについて、コンピュータで読み取り可能なコピーをライセンス要件に従って提供できます。コンピュータで読み取り可能なコピーを入手するには、"SonicWall Inc." を受取人とする 25.00 米ドルの支払保証小切手または郵便為替と共に、書面による要求を以下の宛先までお送りください。

General Public License Source Code Request  
SonicWall Inc. Attn: Jennifer Anderson  
1033 McCarthy Blvd  
Milpitas, CA 95035